

資料 1

平成 27 年度～令和 3 年度「第 3 期和泉市男女共同参画行動計画（オアシスプラン）」推移
1 ページ～12 ページ

令和 3 年度

「第 3 期和泉市男女共同参画行動計画（オアシスプラン）」
推進状況調査報告書
13 ページ～116 ページ

令和 3 年度

「和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する
基本計画（DV 防止基本計画）」推進状況調査報告書
117 ページ～136 ページ

令和 4 年 6 月

第3期和泉市男女共同参画行動計画（オアシスプラン）計画の体系

基 本 標 目	施策の方向	施策
I 男女平等の意識を育む	(1) 学校・園における男女平等教育の推進	①男女平等教育の推進 ②一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進 ③教職員・保育士等の男女平等意識の向上 ④家庭での男女平等・男女共同参画の推進
	(2) 地域における男女平等学習の推進	⑤多様な選択を可能にする学習機会の提供 ⑥女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実
	(3) 男性にとっての男女共同参画の推進	⑦家庭・地域への男性の参加・参画の推進
	※女性活躍推進計画	⑧固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ ⑨市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上 ⑩性に捉われない人権の尊重 ⑪男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供
	(4) 男女平等意識の浸透	
II 男女平等の参加・参画で社会を活性化	(5) 人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立	⑫市の刊行物等の表現の配慮 ⑬メディア・リテラシーの向上
	(6) 意思決定の場への女性の参画推進	⑭ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方の推進 ⑮審議会等への女性の参画の推進 ⑯女性職員・女性教員の管理職への登用 ⑰事業所や地域における意思決定の場への女性の参画促進 ⑱女性の人材育成
	(7) 男女共同参画で進める就労支援	⑲男女が共に働きやすい職場づくりのための支援 ⑳女性の就労支援
	※女性活躍推進計画	㉑性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援 ㉒男女共同参画の視点に立った防災体制の整備 ㉓高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり
	(8) 男女共同参画で進める地域づくり	

基本 目 標	施策の方向	施策
Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる	(9)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援 ※女性活躍推進計画	②④ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進 ②⑤男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備
	(10)自立した暮らしのための支援	②⑥ひとり親家庭への支援 ②⑦困難を抱える人々が安定して生活できるための支援
	(11)生涯を通じた心身の健康づくりの支援	②⑧生涯を通じた心身の健康保持・増進
Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる	(12)あらゆる暴力の根絶	②⑨暴力を容認しない社会風土の醸成 ③⑩性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知 ③⑪セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進
	(13)安心して相談できる相談体制の充実	③⑫相談・支援体制の充実 ③⑬相談員の研修の充実 ③⑭人権侵害の相談・救済の充実
	(14)DV防止基本計画の推進	③⑮DV防止対策の推進

和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画（DV防止基本計画）の体系

施策の方向

(1) DVについての正しい理解の普及

(2) 安心して相談できる体制の充実

(3) 一時保護支援と自立支援の充実

(4) 関係機関との連携・協力体制の強化

令和3年度「第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)」推進状況調査報告書(13ページ～116ページ)

1. 調査の概要

第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)の施策体系に基づき作成した「施策評価シート」により、令和3年度の推進状況を取りまとめるとともに、関係課(室)自ら評価を行い事業の改善点や今後の方向性について整理をするために調査を行いました。

2. 評価項目

下記の項目について関係各課(室)自ら調査を行いました。

◆事業実施度

1～5を選択し評価

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた
2. 男女共同参画の視点を持ちながら、おおむね取り組むことができた
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった
4. 実施していない
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった

◆「施策」に掲げた事項の進捗度

1～4を選択し評価

1. 進んだ
2. やや進んだ
3. 現状維持
4. 進まなかった

◆事業の企画や実施にあたり配慮したこと

①している ②部分的にしている ③していない で評価

1. 事業の企画立案において対象となる人や現状を男女別に把握した
2. 事業の方向性において男女共同参画に配慮した
3. 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした

◆今後の方向性

1～5を選択し評価

1. 強化・充実
2. 継続
3. 改善・見直し
4. 縮小
5. 廃止

令和3年度 和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画(DV防止基本計画)推進状況調査報告書 (117ページ～136ページ)

和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画(DV防止基本計画)の施策体系に基づき作成した「施策評価シート」により、令和3年度の推進状況を取りまとめました。

3. 第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)令和3年度の進捗状況

(事業実施状況の集計結果)

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む

◆事業実施度

	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた	32	37%	25	29%	-7	-8
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。	44	51%	53	62%	+9	+11
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった	1	1%	1	1%	0	0
4. 実施していない	1	1%	1	1%	0	0
5. 予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	8	10%	6	7%	-2	-3
合計	86	100%	86	100%	0	0

◆「施策」に掲げた事項の進捗度

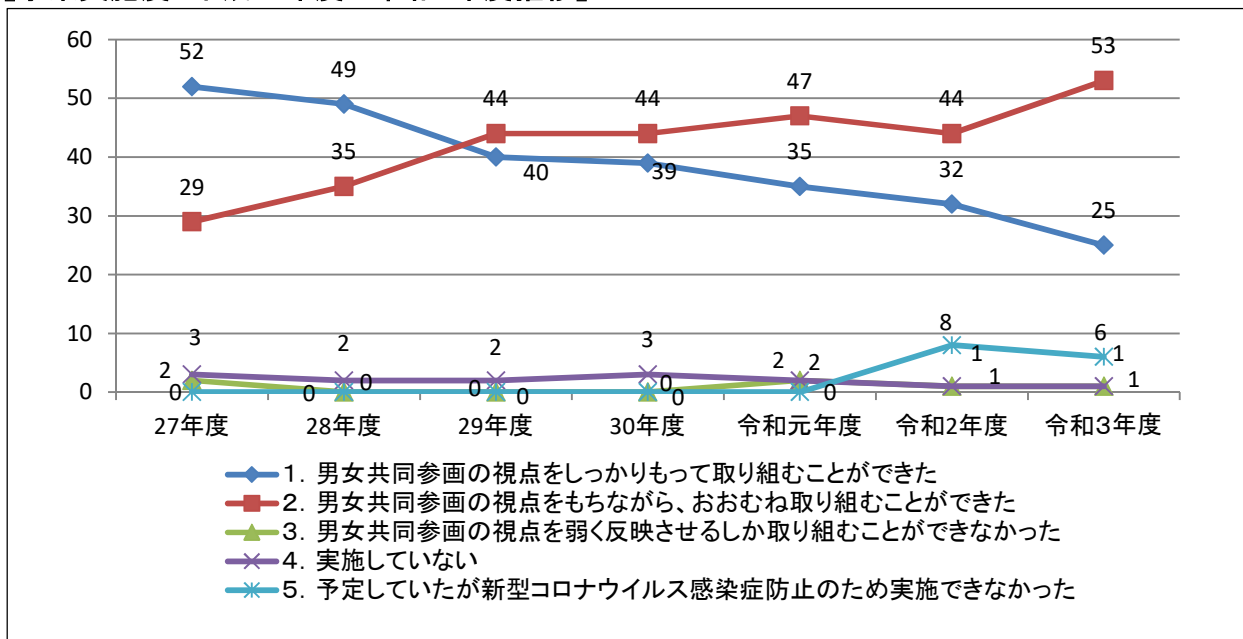
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 進んだ	5	6%	14	16%	+9	+10
2. やや進んだ	11	13%	27	31%	+16	+18
3. 現状維持	69	80%	37	43%	-32	-37
4. 進まなかった	1	1%	8	10%	+7	+9
合計	86	100%	86	100%	0	0

◆今後の方向性

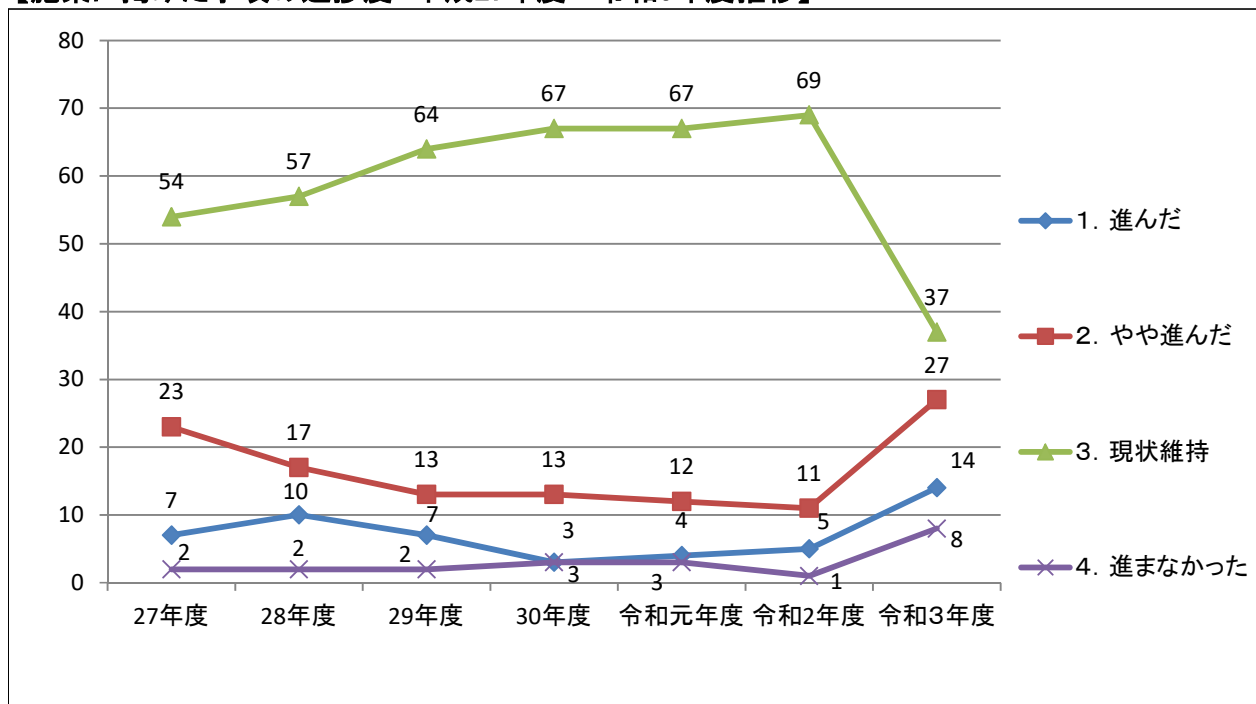
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 強化・充実	3	4%	12	14%	+9	+10
2. 継続	81	94%	64	75%	-17	-19
3. 改善・見直し	2	2%	10	11%	+8	+9
4. 縮小	0	0%	0	0%	0	0
5. 廃止	0	0%	0	0%	0	0
合計	86	100%	86	100%	0	0

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む

【事業実施度 平成27年度～令和3年度推移】



【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～令和3年度推移】



基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する

◆事業実施度

	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた	23	32%	31	42%	8	10
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。	41	56%	37	51%	-4	-5
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった	1	1%	0	0%	-1	-1
4. 実施していない	0	0%	0	0%	0	0
5. 予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	8	11%	5	7%	-3	-4
合計	73	100%	73	100%	0	0

◆「施策」に掲げた事項の進捗度

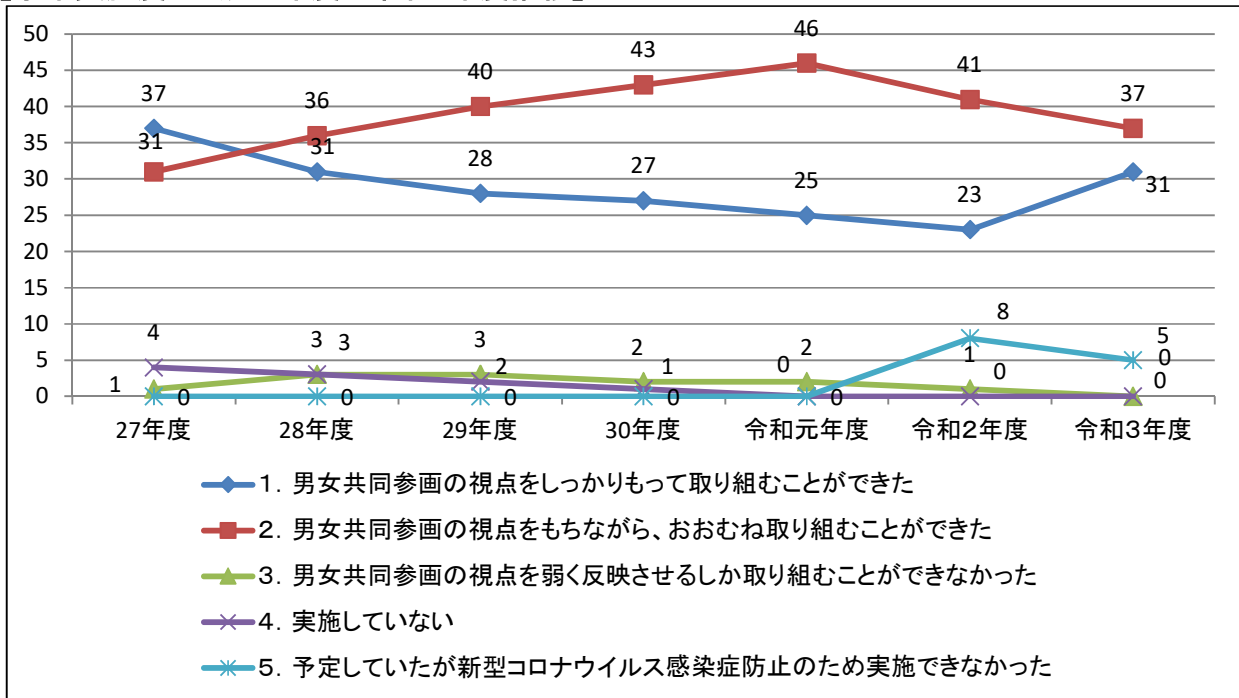
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 進んだ	4	5%	15	21%	+11	+16
2. やや進んだ	19	27%	11	15%	-8	-12
3. 現状維持	49	67%	42	58%	-7	-9
4. 進まなかった	1	1%	5	6%	+4	+5
合計	73	100%	73	100%	0	0

◆今後の方向性

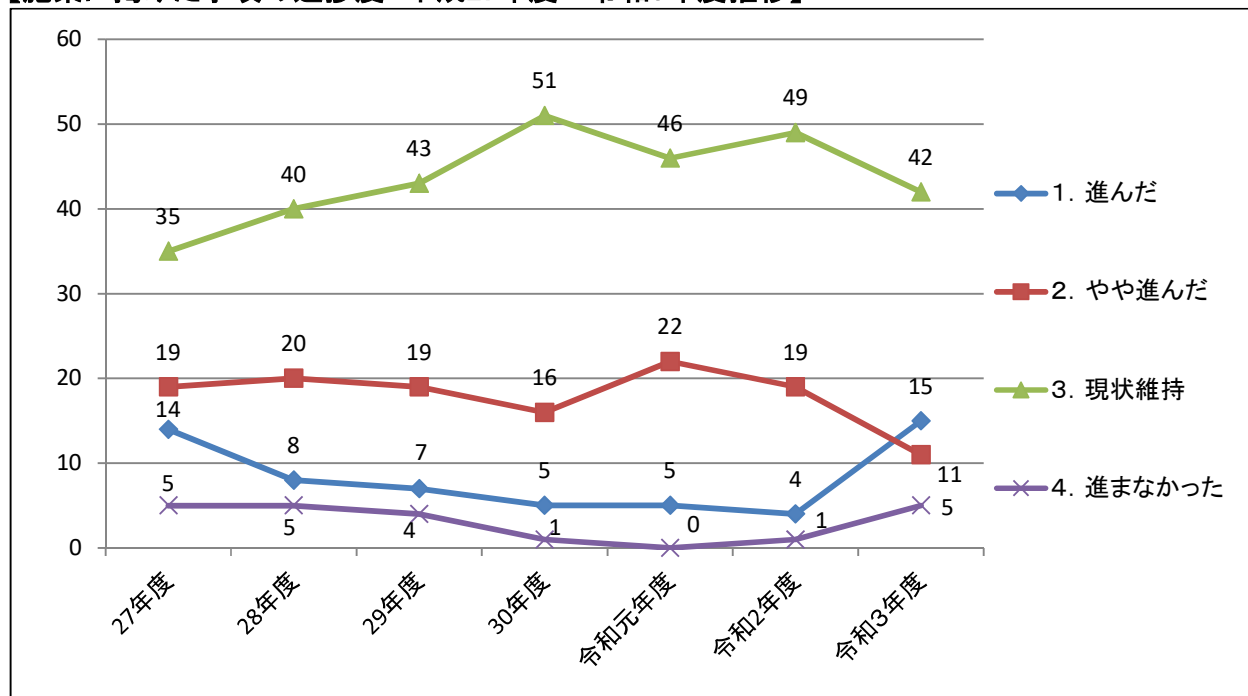
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 強化・充実	6	8%	13	18%	+7	+10
2. 継続	62	85%	44	60%	-18	-25
3. 改善・見直し	5	7%	16	22%	+11	+15
4. 縮小	0	0%	0	0%	0	0
5. 廃止	0	0%	0	0%	0	0
合計	73	100%	73	100%	0	0

基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する

【事業実施度 平成27年度～令和3年度推移】



【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～令和3年度推移】



基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる

◆事業実施度

	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた	11	23%	11	23%	0	0
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。	34	73%	36	77%	+2	+4
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった	1	2%	0	0%	-1	-2
4. 実施していない	0	0%	0	0%	0	0
5. 予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	1	2%	0	0%	-1	-2
合計	47	100%	47	100%	0	0

◆「施策」に掲げた事項の進捗度

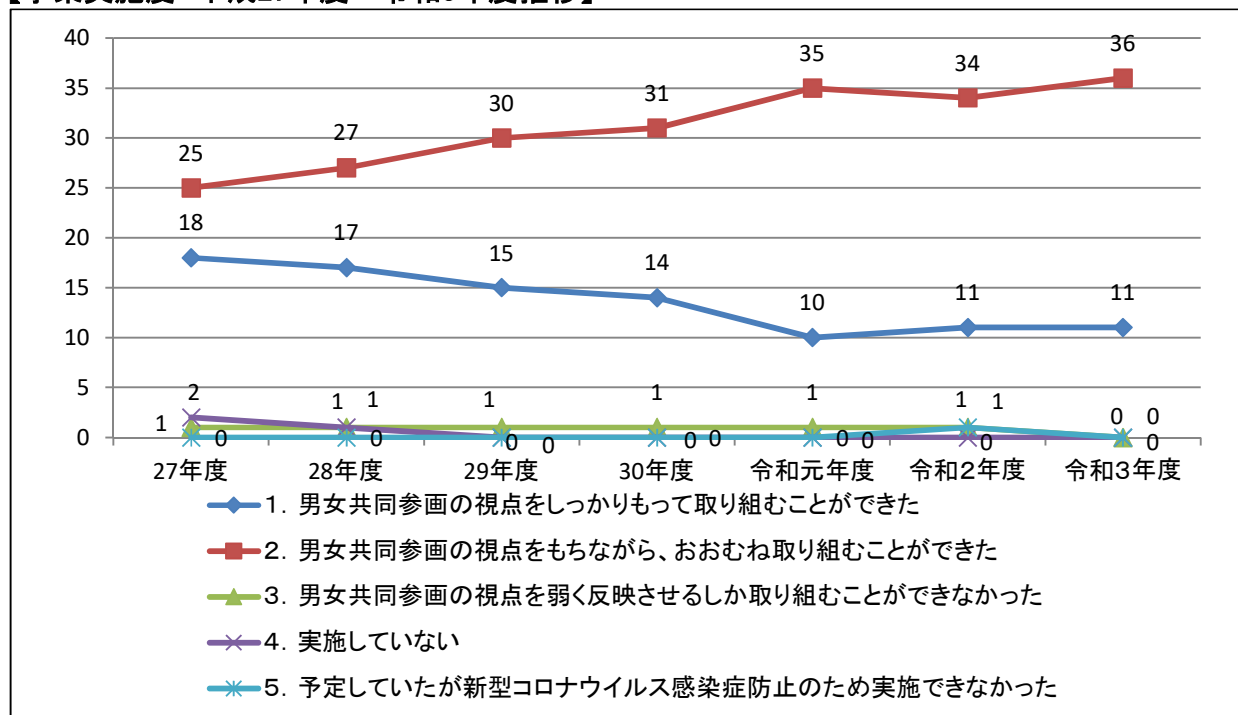
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 進んだ	1	2%	3	6%	+2	+4
2. やや進んだ	10	21%	15	32%	+5	+11
3. 現状維持	36	77%	29	62%	-7	-15
4. 進まなかった	0	0%	0	0%	0	0
合計	47	100%	47	100%	0	0

◆今後の方向性

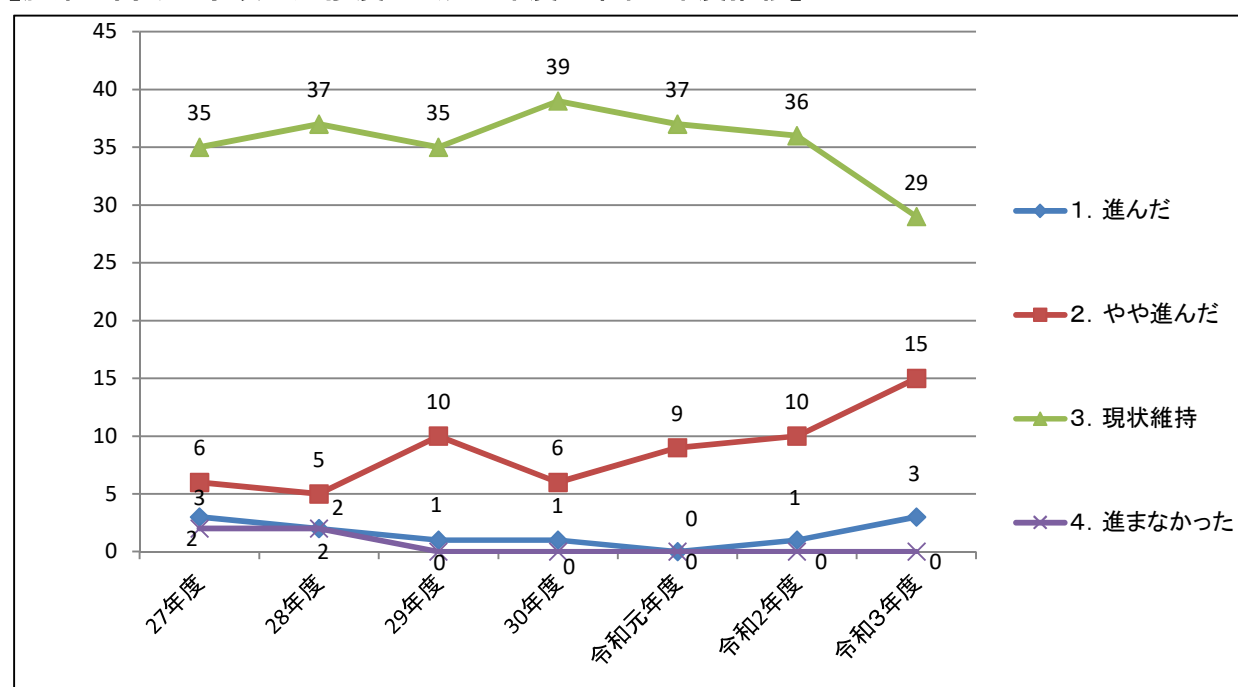
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 強化・充実	1	2%	9	19%	+8	+17
2. 継続	46	98%	34	72%	-12	-26
3. 改善・見直し	0	0%	3	7%	+3	+7
4. 縮小	0	0%	1	2%	+1	+2
5. 廃止	0	0%	0	0%	0	0
合計	47	100%	47	100%	0	0

基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる

【事業実施度 平成27年度～令和3年度推移】



【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～令和3年度推移】



基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる

◆事業実施度

	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた	25	53%	16	33%	-9	-20
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おむね取り組むことができた。	19	40%	28	60%	+9	+20
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった	0	0%	0	0%	0	0
4. 実施していない	0	0%	0	0%	0	0
5. 予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	3	7%	3	7%	0	0
合計	47	100%	47	100%	0	0

◆「施策」に掲げた事項の進捗度

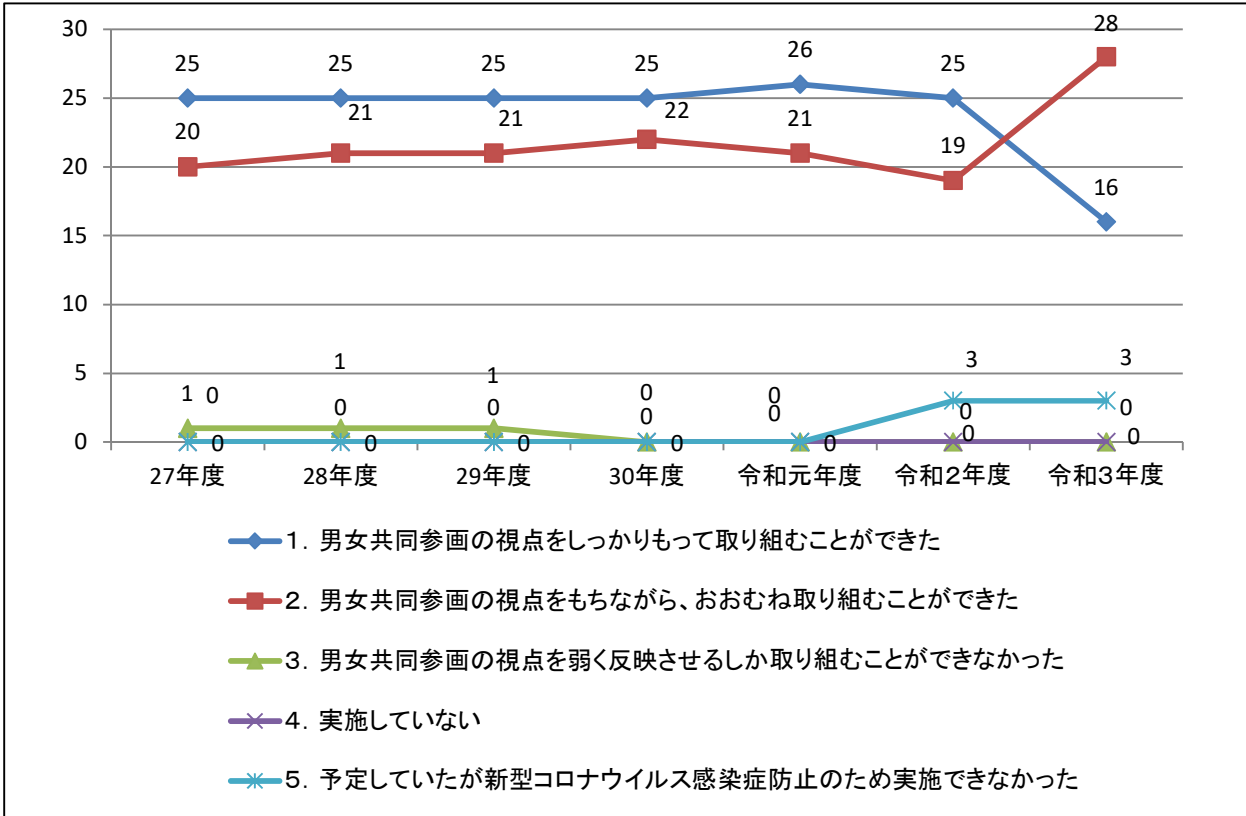
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 進んだ	7	15%	9	19%	+2	+4
2. やや進んだ	11	23%	10	21%	-1	-2
3. 現状維持	29	62%	25	53%	-4	-9
4. 進まなかった	0	0%	3	7%	+3	+7
合計	47	100%	47	100%	0	0

◆今後の方向性

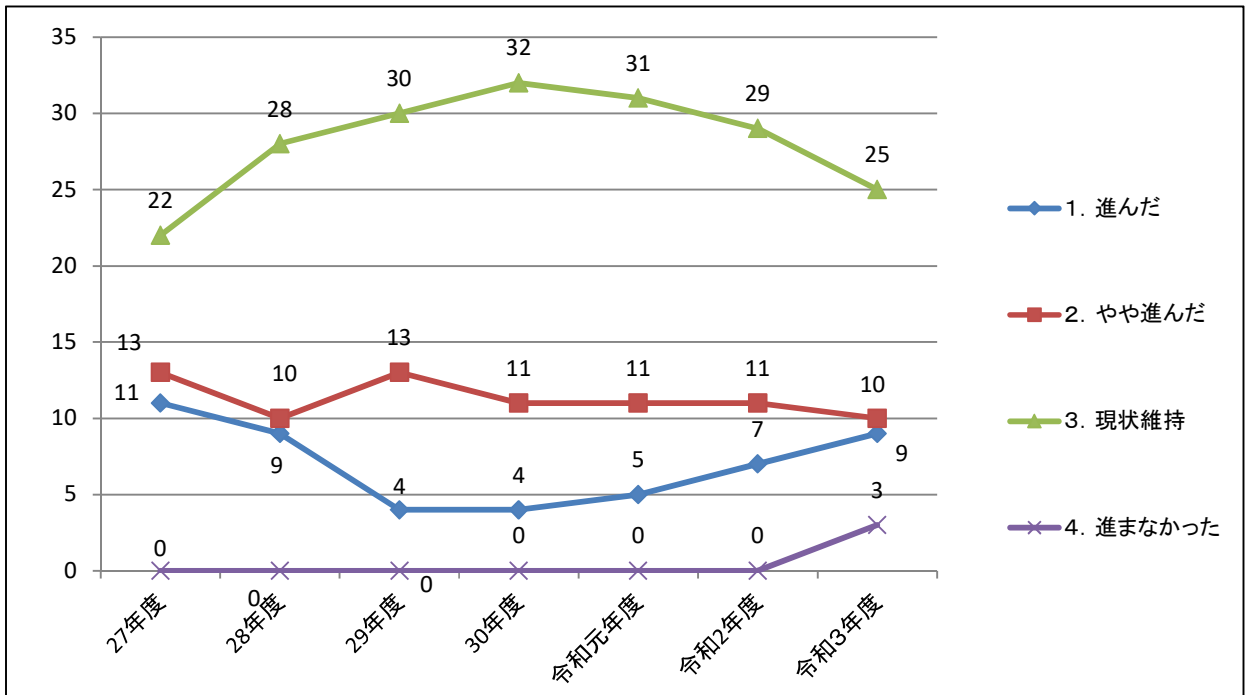
	R2年度		R3年度		増減	
	シート数	割合(%)	シート数	割合(%)	シート数	割合
1. 強化・充実	3	6%	4	8%	+1	+2
2. 継続	42	90%	40	86%	-2	-4
3. 改善・見直し	2	4%	3	6%	+1	+2
4. 縮小	0	0%	0	0%	0	0
5. 廃止	0	0%	0	0%	0	0
合計	47	100%	47	100%	0	0

基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる

【事業実施度 平成27年度～令和3年度推移】



【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～令和3年度推移】



令和3年度 男女共同参画行動計画(オアシスプラン)活動指標一覧

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	1 男女平等教育の推進	1	学校教育室	人権教育推進計画に基づく教育活動の取組とその評価・公表	市内小中学校に対する策定・取組を推進している学校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	1 男女平等教育の推進	3	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(女性に対する暴力をなくす啓発事業)	定員に対する参加率	82%	100%	50.0%	100%
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	1 男女平等教育の推進	5	学校教育室	保健体育や総合的な時間を利用して性教育を実施	市内小中学校数に対する取組をしている学校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	1 男女平等教育の推進	6	学校教育室	子ども対象の「犯罪防止教室」の実施	市内小中学校数に対して学習機会を実施している学校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	1 男女平等教育の推進	6	こども未来室	保育所・幼稚園における「不審者侵入対処訓練」の実施	不審者侵入対処訓練の実施回数	(保)年12回 (幼)年9回	(保)年12回 (幼)年9回	(保)年12回 (幼)年10回	(保)年12回 (幼)年11回
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	3 教職員・保育士等の男女平等意識の向上	12	学校教育室	各校に男女平等教育の担当教員の配置	市内小中学校数に対する男女平等教育担当教員の配置校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	3 教職員・保育士等の男女平等意識の向上	12	学校教育室	男女平等教育実践事例や指導事例集(府)を活用した校内研修	市内小中学校数に対する男女平等教育に関する研修を行った学校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	3 教職員・保育士等の男女平等意識の向上	13	学校教育室	各校の管理職・担当職員へのセクシュアル・ハラスメント防止や今日的課題に関する研修の実施	市内小中学校数に対するセクシュアル・ハラスメント防止研修を行った学校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	4 家庭での男女平等・男女共同参画の推進	14	学校教育室	モデル校(園)の実践の発信	市内小中学校で学習会が行われた学校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	上昇
基本目標Ⅰ	1 学校・園における男女平等教育の推進	4 家庭での男女平等・男女共同参画の推進	14	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(子育て応援講座・子どもサイエンスキャンパス)	定員に対する参加率	40%	100%	33.9%	100%
基本目標Ⅰ	2 地域における男女平等学習の推進	5 多様な選択を可能にする学習機会の提供	16	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(アドバイザー養成講座)	定員に対する参加率	83%	100%	89.0%	100%

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標Ⅰ	2 地域における男女平等学習の推進	5 多様な選択を可能にする学習機会の提供	16	青少年センター	青少年男女共同参画事業	定員に対する参加率	79%	100%	52%	100%
基本目標Ⅰ	2 地域における男女平等学習の推進	5 多様な選択を可能にする学習機会の提供	17	広報・協働推進室	市政情報発信事業 いずみメール登録者数	いずみメール登録者数	10,000人	10,000人	10,000人	6,500人
基本目標Ⅰ	2 地域における男女平等学習の推進	6 女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実	19	人権・男女参画室	和泉市男女共同参画センターの図書コーナーの充実	図書コーナーの年間貸出冊数	298冊	550冊	508冊	600冊
基本目標Ⅰ	2 地域における男女平等学習の推進	6 女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実	21	人権・男女参画室	・いきいきライフ講座 ・いずみワクワク講座の開催	各講座の定員に対する参加率	70%	100%	93.3%	100%
基本目標Ⅰ	3 男性にとっての男女共同参画の推進	7 家庭・地域への男性の参加・参画の推進	22	人権・男女参画室	・「子育て応援講座」 ・「男性学講座」の開催	各講座の定員に対する参加率	38%	100%	41.3%	100%
基本目標Ⅰ	3 男性にとっての男女共同参画の推進	7 家庭・地域への男性の参加・参画の推進	23	人権・男女参画室	男性学講座	定員に対する参加率	38%	100%	61.5%	100%
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	8 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ	24	人権・男女参画室	・「男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)」 ・「モアいずみフォーラム」	「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業」の定員に対する参加率	73人 ※オンデマンド配信のみ実施。申込人数を記入。	100%	60.3%	100%
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	8 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ	25	人権・男女参画室	男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施	助成金事業応募団体数	2団体	10団体	2団体	15団体
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	8 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ	27	人権・男女参画室	モアいずみフォーラム」「男女共同参画週間事業ミニフォーラム」の開催	定員に対する参加率	73人 ※オンデマンド配信のみ実施。申込人数を記入。	100%	60.3%	100%
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	9 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上	28	人事課	男女共同参画研修	新採研修受講率	81%	100%	63%	100%
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	9 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上	28	人権・男女参画室	男女共同参画施策推進員の研修の実施	定員に対する参加率	81%	100%	120.8%	100%
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	11 男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供	33	生涯学習推進室	男女共同参画に関する資料収集	シティプラザ図書館における男女共同参画コーナーの資料購入点数	39点	購入20点以上	34点	継続

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	11 男女共同参画にかかわる資料等の充実と積極的提供	33	生涯学習推進室	男女共同参画に関する資料提供	シティプラザ図書館における男女共同参画コーナーの資料貸出し点数	691点	貸出し1,000点以上	727点	1,500点
基本目標Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	11 男女共同参画にかかわる資料等の充実と積極的提供	33	人権・男女参画室	図書館における男女共同参画に関する資料の収集	図書コーナーの年間貸し出し冊数	298冊	500冊	508冊	600冊
基本目標Ⅰ	5 人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立	13 メディア・リテラシーの向上	35	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(アドバイザー養成講座)	定員に対する参加率	77%	100%	73.3%	100%
基本目標Ⅰ	5 人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立	13 メディア・リテラシーの向上	36	生涯学習推進室	「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強化月間」の取組	巡回パトロール(令和2年度から)広報車での市内啓発(令和元年度まで)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	全校区	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	全校区
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	14 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方の推進	37	人事課	女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大	和泉市の女性管理職の割合	19.0%	20.0%	20.1%	20%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	38	人権・男女参画室	女性委員の参画率	関係各課と連携して早期目標値の達成に努める(達成率)	30.2%	35.0%	31.9%	40%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	39	人権・男女参画室	事前協議の強化	女性委員がいない審議会等の解消	4件	0件	4件	0件
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	41	人権・男女参画室	事前協議	和泉市審議会等への女性委員の参画率	30.2%	35.0%	31.9%	40%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	42	人権・男女参画室	市民啓発	和泉市審議会等への女性委員の参画率	30.2%	35.0%	31.9%	40%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	43	人事課	女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大	和泉市の女性管理職の割合(再掲Ⅱ-6-14-37)	19.0%	20.0%	20.1%	20%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	43	人事課	残業の見直し、サポート体制の整備	H26年度比20%以上の時間外削減	28%	20%以上	16%	20%以上
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	44	人事課	女性リーダー養成のための研修	職階別研修の女性職員参加者数	22人	30人	22人	30人

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	44	人事課	係長級昇任試験の受験者数向上	女性職員の係長級昇任試験受験率	10%	30%	12%	30%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	44	学校教育室	学校におけるミドルリーダー研修の実施	ミドルリーダー研修における女性教職員の参加率	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	40%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	55%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	45	人事課	女性職員の管理職登用	和泉市の女性管理職の割合(再掲Ⅱ-6-14-37)	19.0%	20.0%	20.1%	20%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	45	学校教育室	女性教職員の管理職任用の積極的な推進	小中学校の教職員における女性の管理職率	16%	20%	16%	30%
基本目標Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	18 女性の人材育成	48	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施	修了生(1期からの累計)(平成26年度累計544人)→講座生(令和元年度からの累積)	57人	20人	78人	644人(平成30年度まで)120人(令和元年度から)
基本目標Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	57	くらしサポート課	若者支援セミナー・職業能力開発事業	女性の参加率	65%	50%	59%	50%
基本目標Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	57	人権・男女参画室	再就職チャレンジ支援講座の実施	定員に対する参加率	98%	100%	78.3%	100%
基本目標Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	58	くらしサポート課	和泉市無料職業紹介センター事業	女性の就職率	52%	50%	28%	50%
基本目標Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	59	くらしサポート課	就職情報フェア事業	参加者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	80人	114人	300人
基本目標Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	62	産業振興室	和泉ファームステイ	女性のファームステイの参加率(令和2年度まで)	20%	-	-	50%
基本目標Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	63	くらしサポート課	求人開拓事業	求人受理件数	927件	950件	955件	950件
基本目標Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	63	高齢介護室	シルバー人材センター運営補助事業の実施	シルバー人材センターの女性会員数の増加	1,764人(うち、女性565人)	1,800人(うち女性570人)	1,771人(うち女性580人)	1,942人(うち女性上昇)
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	64	広報・協働推進室	和泉ボランティア・市民活動センター アイ・あいロビー 管理運営事業	市民活動の推進のために開催した講座や交流会等参加者数	175人	770人	1461人	800人

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	65	広報・協働推進室	市民活動推進支援事業	制度参加団体数	37団体 (当初支援対象団体として決定したのは37団体だが、新型コロナウイルスの影響により事業中止、事業規模縮小をする団体が多かった。)	33団体	33団体	55団体
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	65	人権・男女参画室	男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施	助成金事業の応募団体数	2団体	12団体	2団体	15団体
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	66	広報・協働推進室	和泉ボランティア・市民活動センター アイ・あいロビー 管理運営事業	アイ・あいロビー登録ボランティア男性比率 男性÷全登録人数×100	33%	50%	27%	50%
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	66	福祉総務課	和泉市地域福祉推進事業	協議の場(地域懇談会)の開催小学校区数	10校区	21校区/21校区	5校区/21校区	全校区
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	67	危機管理課	市民防災啓発事業	出前講座の参加人数	295人	1,200人	253人	1,200人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	68	危機管理課	市民防災啓発事業	出前講座の参加人数(Ⅱ-8-22-67再掲)	295人	1,200人	253人	1,200人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	68	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施(H30年度で終了) 男女共同参画社会づくり講座の実施(令和元年度から)	定員に対する参加率	80%	100%	43.3%	100%
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	69	危機管理課	市民防災育成事業	防災リーダー認定者数(平成30年度まで) 自主防災組織設立数(令和元年度から)	79団体	79団体	80団体	100人(平成30年度まで) 109団体(令和元年度から)
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	71	高齢介護室	街かどデイハウス	街かどデイハウス利用者数	4,072人	2,200人	2,246人	4,895人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	71	高齢介護室	ふれあい食事サービス助成事業	食事サービス受給者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	70人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	490人

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	71	高齢介護室	老人クラブ活動補助事業	老人クラブの女性会員数の増加	12,660人(うち、女性7,442人)	13,100人(うち女性7,450人)	12,034人(うち女性7,042人)	16,566人(うち女性上昇)
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	73	建築住宅室	市営住宅建替事業	バリアフリー化戸数	市営住宅プロジェクトチームを結成し住宅プランの検討を行う。	建替事業に向けて引き続き検討	0戸 市営住宅の集約建替に係る基本計画を策定	523戸(令和元年度まで) 450戸(令和2年度から)
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	73	都市整備室	交通安全施設整備事業	整備路線数	1路線整備完了	1路線整備予定	1路線工事完了	8路線
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	24 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進	76	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(ワーク・ライフ・バランスに関する講座)	定員に対する参加率	60%	100%	70.0%	100%
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	24 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進	77	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(子どもサイエンスキャンパス)	定員に対する参加率	38%	100%	26.9%	100%
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	24 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進	77	人権・男女参画室	男性学講座の実施	定員に対する参加率	38%	100%	61.5%	100%
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	25 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備	79	子ども未来室	一時預かり、障がい児保育、延長保育、休日保育、夜間保育	保育所等運営事業所数	77か所	83か所	88か所	74か所
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	25 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備	81	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(子育て応援講座)	定員に対する参加率	38%	100%	26.9%	100%
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	25 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備	82	高齢介護室	地域出張型在宅医療介護セミナー(H27年度まで入退院支援家族教室)	地域出張型在宅医療介護セミナー開催数(H27年度まで入退院支援家族教室)平成30年度より第7期介護保険計画に合わせて目標値を開催数から受講者数に変更(平成28年からのべ数)	874人	1,100人	911人	12回(平成29年度まで) 785人(平成30年度から)
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	25 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備	83	人事課	職員が子育てや介護しやすい勤務環境を整備する	男性の育児休暇取得率	8.0%	10%	13.8%	10%

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標Ⅲ	10 自立した暮らしのための支援	27 困難を抱える人々が安定して生活できるための支援	88	高齢介護室	シルバー人材センター運営補助事業の実施	シルバー人材センターの登録者数	1,764人	1,800人	1,771人	1,942人
基本目標Ⅲ	10 自立した暮らしのための支援	27 困難を抱える人々が安定して生活できるための支援	90	福祉総務課	生活困窮者自立支援	自立支援計画策定件数	120件	120件	134件	180件
基本目標Ⅲ	11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身の健康保持・増進	91	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(女性の健康保持に関する講座)	定員に対する参加率	90%	100%	97.5%	100%
基本目標Ⅲ	11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身の健康保持・増進	92	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(女性の健康保持に関する講座)(再掲Ⅲ-11-28-91)	定員に対する参加率	90%	100%	97.5%	100%
基本目標Ⅲ	11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身の健康保持・増進	93	健康づくり推進室	各種検診(健診)、健康教育・相談事業	①乳がん検診受診率 ②子宮がん検診受診率	①25.4%(5.6%減少) ②30.2%(2.3%減少)	①,②上昇	①29.0%(3.6%増加) ②30.0%(0.2%減少)	①40%②35%
基本目標Ⅲ	11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身の健康保持・増進	95	健康づくり推進室	自殺予防対策事業	人口10万人おける自殺による死者数	16.08人	減少	14.62人	減少
基本目標Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない社会風土の醸成	99	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(女性に対する暴力をなくす啓発事業)	定員に対する参加率	82%	100%	50.0%	100%
基本目標Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない社会風土の醸成	100	人権・男女参画室	男女共同参画週間事業の実施	定員に対する参加率	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	100%	49.0%	100%
基本目標Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない社会風土の醸成	101	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(女性に対する暴力をなくす啓発事業)(再掲Ⅳ-12-29-99)	定員に対する参加率	82%	100%	50.0%	100%
基本目標Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない社会風土の醸成	101	学校教育室	暴力によらない解決ブックレットの活用	市内小中学校数に対する学習機会を実施している学校数	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校

基本目標番号	施策の方向	施策	事業番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	2年度実績	3年度目標予定	3年度実績	令和8年度目標
基本目標IV	12 あらゆる暴力の根絶	30 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知	104	危機管理課	地域防犯対策事業	性犯罪・ひったくり・路上強盗・自動車関連犯罪の件数(28年度までは街頭犯罪7手口・強制わいせつの件数となる。)	379件	250件	328件	1,123件(28年度まで)300件(平成29年度から)
基本目標IV	12 あらゆる暴力の根絶	30 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知	105	危機管理課	地域防犯対策事業	防犯キャンペーン実施回数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	25回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	22回
基本目標IV	12 あらゆる暴力の根絶	30 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知	105	危機管理課	地域防犯対策事業	防犯教室開催回数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	15回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	14回
基本目標IV	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進	106	人事課	セクハラ防止対策相談窓口の周知	セクハラ事案の発生件数	0件	0件	0件	0件
基本目標IV	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進	108	人事課	セクハラ防止研修	セクハラ事案の発生件数	0件	0件	0件	0件
基本目標IV	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進	108	消防総務課	研修等への参加促進	研修等への参加率	100%	100%	48%	50%
基本目標IV	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進	108	上下水道部経営総務課	職員研修への参加促進	職員研修への参加率	50%	50%	50%	50%以上

第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)施策及び実績報告 令和2年度及び令和3年度経年比較表

基本目標 I 男女平等の意識を育む施策の方向 施策の方向 (1) 学校・園における男女平等教育の推進

施策① 男女平等教育の推進

事業番号	事業
1	各幼稚園・学校や保育所で、男女平等教育推進計画並びに保育計画を策定し、園や学校、保育活動での取組、教職員等の研修、保護者への働きかけ等を積極的に推進し、教育・保育環境を整備します。 ◆保育計画に基づく人権の視点からの男女平等教育の実践と共有 ◆人権教育推進計画に基づく教育活動の取組とその評価・公表 ◆ユニバーサル・デザインに基づく学校施設の整備・改善

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
保育計画を性別にかかわらず一人一人の個性が発揮される環境を意識して立案した。市で計画された「性の多様性と人権」の研修を受けその内容を踏まえ、意識して保育することや保護者への働きかけを行った。子どもたちが性の区別ではなく「自分らしさ」を大切にできる保育を行った。	・環境(色・玩具等)や色々な遊びにおいて、男女による区別がないように取り組み、子どもたちが思いのまま感じられるよう保育活動や環境を整えた。(色の選択、遊びの選択、順番決定時、劇遊びの配役等) ・生活の中で、「男は・・・」「女は・・・」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に、男女の区別なく「自分らしく」と考える場を持ち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようした。	2	2	1	1	1	日常の保育、教育の場面で子どもにかかわる大人が男女平等の意識を持つことが大切と考える。その上であらゆる場面での子どもや保護者へのかかわりを通して男女平等教育を推進していく。	2	こども未来室
各学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づき教育活動を推進した。	各学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づき教育活動を推進した。	2	1	3	1	1	ジェンダー平等教育を推進するため、引き続き人権教育推進計画を策定するとともに、実績報告の内容を分析し、次年度の計画に反映させる。	2	学校教育室
少額改修として一部トイレの洋式化を行った。公共施設の観点から児童・生徒の施設利用だけに特化するものではなく、年齢・性別・障がいの有無に関係なく誰でも使用しやすいような施工をこころがけている。	少額改修としてトイレの洋式化を一部の学校にて行った。【小・中を含め前年度より増】公共施設の観点から児童・生徒の設備利用だけに特化するものではなく、年齢・性別・障がいの有無に関係なく誰でも使用しやすいような施工をこころがけている。	2	2	1	1	1	学校施設を利用する市民にとって、利用しやすい環境整備を優先する必要があり、ユニバーサル・デザインに基づく視点をどの程度取り入れるかが課題である。	2	学校園管理室

事業番号	事業
2	「男女平等教育推進モデル校(園)」においては、当事者である子どもと教職員への振り返り調査を実施し、男女平等教育モデル校(園)での成果を1年ごとにまとめ、公表するとともに、次年度の取組に活かします。 ◆モデル校の実践の発信

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課	
各学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づき教育活動を推進した。	令和3年度は富秋中学校区3校をジェンダー平等教育推進モデル校として指定。1年間の実践報告を作成し、市HPに掲載した。また、各学校に周知することで実践の共有をした。	2	2	3	1	1	2	学校教育室

事業番号	事業
3	教職員や保護者等が、デートDVや性犯罪(児童ポルノや児童虐待等)等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆教職員、保護者、子どもなど対象者に応じて選択し、大阪府から提供のポスター、パンフレット、データを提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課	
大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策主催の「府内学校教職員のための研修」の周知を12月に行った。2月には府民文化部男女参画・府民協働課より依頼があった中学生向けのデートDVパンフレットを配付した。また、庁内のDV防止研修会の情報提供も行い、教職員が参加した。	庁内のDV防止動画研修の情報提供を行い、教職員が参加した。また、3月にドーンセンターに依頼し、デートDVに関する研修動画を各学校に配付し、来年度の研修や授業への活用を周知した。	2	2	1	1	1	2	学校教育室
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。また今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、オンライン講義形式で実施した。 タイトル: 自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～ 開催日: 令和2年11月18日(水) 参加人数: 180人/定員: 200人(桃大生) 1人/定員 20人(一般参加者)	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。新型コロナウイルス感染予防対策のため、一般参加者にはオンラインのライブ配信形式で実施した。 タイトル: 自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～ 開催日: 令和3年11月24日(水) 参加人数: 107人/定員: 200人(桃大生) 3人/定員 20人(一般参加者)	1	3	1	1	1	3	人権・男女参画室

事業 番号	事 業
4	教職員や保護者等が、性的マイノリティ等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆学校に向けて文部科学省等からの啓発物等を提供 ◆男女共同参画センターの図書コーナー等での啓発

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
・令和2年1月に改訂した「職場におけるセクシュアル・ハラスメント防止指針」及び「教職員による児童生徒に対するセクシュアルハラスメント防止指針」を4月に各学校に周知。その中で性的マイノリティに関する項目に関しては校長ヒアリングや校長会・教頭会で繰り返し周知を行った。 ・3月には学校の全教職員対象に「ハラスメント防止研修」を実施した。コロナウイルス対策のため研修動画を作成し、オンデマンド配信での研修を行った。	・令和2年6月に大阪府が改訂したハラスメント防止指針等や性的マイノリティに関する情報を校長ヒアリングで周知した。 ・4月には学校の全教職員対象に「ハラスメント防止研修」を実施した。コロナウイルス対策のため研修動画を作成し、オンデマンド配信での研修を行った。	2	2	1	1	1	適切に情報提供及び情報共有できた。また、性的マイノリティ当事者と子どもが出会う場面を設定した学校もあった。今後も性的マイノリティに対するハラスメントに限らず、あらゆるハラスメントをなくしていく取組みをすすめていく。	2	学校教育室
性的マイノリティ関連情報を収集し、モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)の掲示板に掲示し、啓発を行った。 また、男女共同参画センター図書コーナーにおいて、性的マイノリティをテーマに取り上げた図書「愛と性と存在のはなし」「きみはせかいでただひとり親子で話す はじめてのLGBTs」やDVD「パレードへようこそ！」などの貸出を行った。	性的マイノリティ関連情報を収集し、モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)の掲示板に掲示し、啓発を行った。 また、男女共同参画センター図書コーナーにおいて、性的マイノリティをテーマに取り上げた図書「あいつはゲイだって アウティングはなぜ問題か」の貸出を行い、DVDでは男女共同参画社会づくり講座「わくわくシネマ」にて、「グリーンブック」、「さよならくちびる」の上映会を実施した後、貸出を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報収集等に努め、LGBTの理解促進に一層の啓発を図る。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事業
5	自らの身体と相手方の身体について正しい理解を深め、性に関する適切な態度や行動の選択ができるよう、発達段階に応じた性教育に取り組みます。 ◆保健体育や総合的な時間を利用して性教育を実施 ◆小中生活指導協議会でのアンケートの実施

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった				
<p>養護教諭・担任・学年集団等での指導はもとより、医療機関や外部専門機関等の講師による講義を子どもたちに実施し、事前アンケートや日頃の様子をもとに子どもたちの実態に応じた指導を実施することができた。</p>	<p>養護教諭・担任・学年集団等での指導はもとより、医療機関や外部専門機関等の講師による講義を子どもたちに実施し、事前アンケートや日頃の様子をもとに子どもたちの実態に応じた指導を実施することができた。</p>	2	1	1	1	1	<p>今年度は、コロナ禍のため、集合しての講義が難しかった時期もあったため、医療機関等から各教室へのリモート講義等への実施方法を工夫して行った。生活指導事案の中には性に関する事案もあり、今後も継続して、より一層充実した指導体制の構築が必要である。</p>	2	学校教育室	
<p>和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「安全意識」のアンケートを平成24年度から平成29年度まで実施した。その結果を踏まえて、携帯電話・スマートフォンを利用する時に気をつけなければならないことをまとめ、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で周知した。</p>	<p>和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「安全意識」のアンケートを平成24年度から平成29年度まで実施した。その結果を踏まえて、携帯電話・スマートフォンを利用する時に気をつけなければならないことをまとめ、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で周知した。</p>	2	3	3	1	1	<p>市内全学校で小学4年生から中学3年生の児童生徒と保護者を対象に6年間アンケートを実施してきた。アンケート結果が固定化されてきたので、平成30年度からアンケートは実施していない。来年度以降も、6年間のアンケート結果から得た実態をもとに、携帯電話・スマートフォンの利用の方法について啓発を続けていく。</p>	2	学校教育室	

事業番号	事業
6	市民活動等と連携し、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもなることを防ぐための情報や学習機会の提供を定期的に行います。 ◆教職員対象に人が本来持っている生きる力を湧き出させる研修の実施 ◆子ども対象の「犯罪防止教室」の実施 ◆「被害者救済システム」の周知 ◆保育所・幼稚園における「不審者侵入対処訓練」の実施 ◆保育所・幼稚園における「こどもたちに伝える5つの約束」の徹底

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	2	3	1	1	1	携帯電話・スマートフォン等の使用によりトラブルに巻き込まれないように新たな情報を提供していく。	2	学校教育室
全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。小学校では、警察と少年サポートセンターと連携して「非行防止教室」を小5・小6対象に全小学校で実施した。中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」が「非行防止教室」を全中学校で実施した。「薬物乱用防止教室」についても、警察や薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。	全学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。小学校では、警察と少年サポートセンターと連携して「非行防止教室」を小5・小6対象に全小学校で実施した。中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」が「非行防止教室」を全中学校で実施した。「薬物乱用防止教室」についても、警察や薬剤師会等と連携して全学校で実施した。	2	1	3	2	2	今後も全学校で取組んでいく。	2	学校教育室
校長会や研修の場で、「被害者救済システム」について周知した。学校では「被害者救済システム」に基づく「子ども家庭相談室」の広報用カードを小学1年生と中学1年生全員に配付した。	校長会や研修の場で、「被害者救済システム」について周知した。学校では「被害者救済システム」に基づく「子ども家庭相談室」の広報用カードを小学1年生と中学1年生全員に配付した。	2	3	1	1	1	今後も全学校で取組んでいく。	1	学校教育室
・年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるか分からない不審者侵入を想定して訓練を実施し、見えてきた課題などを職員間で話し合う時間を作った。 ・送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	・年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるか分からない不審者侵入を想定して訓練を実施し、見えてきた課題などを職員間で話し合う時間を作った。 ・送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	2	2	1	1	1	コロナ感染防止対策をしながら様々な職員体制、場面で実施した。自分の身を守る方法を知らせてきたが、加害者にならないような保育も考えていきたい。	3	こども未来室
・「5つの約束」のDVDを各園に配布しており、視聴した。 ・不審者対処訓練の一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすいように伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	・「5つの約束」のDVDを各園に配布しており、視聴した。 ・コロナ禍により合同集会には行えず、各クラス工夫しながら不審者対処訓練を実施した。その一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすいように伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	2	1	1	1	1	子どもたちが被害者にならないように取り組んできたが加害者にならないような取り組みも必要であると感じている。	2	こども未来室

施策② 一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進

事業番号	事業
7	キャリア教育をする上で重要な取組という観点に立って職場体験学習を実施するために、教職員に対してキャリア教育に関する情報や学習機会を提供します。 ◆キャリア教育担当者の研修の実施

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・令和3年2月22日に、「キャリア・パスポートについて」をテーマとして、各校担当者を対象に、オンライン研修を実施し、キャリア教育並びにキャリア・パスポートの重要性を再確認した。	令和4年2月7日に、「キャリア・パスポートを活用した一人ひとりの生き方に寄り添うキャリア教育に向けて」と題して、各校のキャリア教育担当者を対象にオンライン研修を実施し、キャリア教育並びにキャリア・パスポートの重要性を再確認した。	2	3	1 1 1	実施形態を工夫しながら、来年度も引き続き教職員対象のキャリア教育に係る研修を実施する。	2	学校教育室

事業番号	事業
8	子どもの発達段階に応じて、性別に捉わられることなく自らの生き方を考え、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身につけることができるよう、キャリア教育の指導計画を作成し、それに基づいた進路指導を行います。 ◆中学校区における「キャリア教育全体指導計画」の策定 ◆中学校への職場体験学習実施のための情報提供

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・各中学校区及び義務教育学校区で策定した「キャリア教育全体指導計画」や「キャリア・パスポート」を活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、可能な範囲でキャリア指導の取組を行った。	各中学校区及び義務教育学校区で策定した「キャリア教育全体指導計画」や「キャリア・パスポート」を活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、可能な範囲でキャリア教育の取組を行った。	2	3	3 1 1	男女共同参画の視点を取り入れながら「キャリア教育全体指導計画」のPDCAサイクルを回し、取組を進める。	2	学校教育室
・新型コロナウイルスの影響により、今年度は職場体験を実施することができなかった。	新型コロナウイルスの影響により、今年度は職場体験を実施することができなかった。	5	4	3 1 1	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、職場体験の実施について検討していく。	2	学校教育室

事業	
9	特に、女子や障がいのある人について、厳しい就業状況を踏まえ一人ひとりに対応した支援をします。 ◆支援学校や障がい者施設との連携の充実 ◆日中活動系事業所の情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	2	3	1	1	1	支援学校への進学にあたり、学校見学・学校体験を十分するように指示し、中学校(義務教育学校)と支援学校との間で、生徒の情報共有も行った。	2	学校教育室
市、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターにおいて、日中活動事業所に通所を希望する障がい者に情報提供等を行った。また、就労を希望する場合には、公共職業安定所(ハローワーク)を紹介したり、その他就労に関する様々な相談については、障害者就業・生活支援センターを紹介するなどの支援を行った。さらに、支援学校等から要望があれば、学校での進路懇談会に参加し、個別の情報提供を行った。障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計679人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,255件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が800件(延べ件数)等である。	市、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターにおいて、日中活動事業所に通所を希望する障がい者に情報提供等を行った。また、就労を希望する場合には、公共職業安定所(ハローワーク)を紹介したり、その他就労に関する様々な相談については、障害者就業・生活支援センターを紹介するなどの支援を行った。さらに、支援学校等から要望があれば、学校での進路懇談会に参加し、個別の情報提供を行った。障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計460人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が1,924件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が763件(延べ件数)等である。	2	3	3	1	1	引き続き、障がい者が日中活動系事業所に通所を希望する場合は、適切に支援を行う。	2	障がい福祉課

事業	
10	市役所においてインターンシップを受け入れます。 ◆インターンシップ事業 ◆桃山学院大学生インターンシップの受け入れ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
新型コロナウイルス感染拡大防止のためインターンシップの受け入れを実施できなかった。	コロナのため未実施	5	4	3	3	3	インターンシップの拡充を予定 感染状況の拡大などを踏まえて、適切に実施判断を行う。	2	人事課

新型コロナ感染拡大防止に伴い、和泉シティプラザ内のインターンシップの受け入れを管轄する生涯学習センターより、今年度の桃山学院大学からの受け入れは中止	新型コロナ感染拡大防止に伴い、和泉シティプラザ内のインターンシップの受け入れを管轄する生涯学習センターより、今年度の桃山学院大学からの受け入れは中止	5	4	1	1	1	受け入れ体制を整え、業務に携わってもらいながら、男女共同参画について学ぶ機会の提供を行う。	2	人権・男女参画室
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターンシップの受け入れを実施せず。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターンシップの受け入れを実施せず。	5	4	2	2	2	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度は実施できなかったが、今後も引き続き、公共施設管理公社と連携し、事業を行う。	2	生涯学習推進室

施策③ 教職員・保育士等の男女平等意識の向上

事業番号	事業
11	<p>教職員や保育士等が固定的な性別役割分担意識に捉われず、男女平等の意識を持って子どもたちを指導できるよう、研修の充実を図ります。</p> <p>◆校内推進体制確立のための校長会での意識づけ</p> <p>◆乳幼児人権教育研究会による研修の実施</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	今年度の事業実施度	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
全学校において、男女平等教育についての研修(職員会議等)での伝達、資料の周知を含む)を行った。	各学校において、ジェンダー平等教育についての研修(職員会議等)での伝達、資料の周知を含む)を行った。また、12月には当事者を招いての講演会を各校人権教育担当者等研修として実施した。各校の校内研修を市内の全学校で共有した。	2	2	3 1 1	各学校で行っている研修内容を把握し、全校に共有することができた。今後もジェンダー平等教育推進の指導・助言をしていく。	2	学校教育室

乳幼児人権教育研究会による研修を予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。	乳幼児人権教育研究会による研修の実施 大阪府子ども家庭サポーター 辻 由起子氏「子どもの貧困問題や養育困難家庭への支援について」と題し、子育ての難しさや実際に悩んでいる保護者の求めていること、困っていることを考えて、保護者の目線に立った支援の大切さを学んだ。	2	3	1	1	1	昨年度は研修を実施することができなかったため、回数は少ないが対面での研修だけでなくWeb等の研修も企画し、子どもの人権や子育て支援の研修を実施した。	2	子ども未来室
--	--	---	---	---	---	---	--	---	--------

事業番号	事業
12	小中学校に男女平等教育・人権教育担当者を置き、男女平等の視点に立った実践事例研修や男女平等教育の研修を推進します。 ◆各校に男女平等教育の担当教員の配置 ◆男女平等教育実践事例や指導事例集(府)を活用した校内研修

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点もあながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	各学校で、人権教育担当教員とは別にジェンダー平等教育の担当教員(1名以上)を配置するよう指示した。	2	1	1	1	1	今後も各学校にジェンダー平等教育の担当者を配置するよう指示する。	2	学校教育室
男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	ジェンダー平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	2	1	3	1	1	今後も研修をしていくように指示する。	2	学校教育室

事業番号		事業													
13	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪に関する研修並びに今日的な課題に対して研修を実施します。 ◆各校の管理職・担当職員へのセクシュアル・ハラスメント防止や今日的課題に関する研修の実施	【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。													
令和2年度 実施状況(事業報告)		令和3年度 実施状況(事業報告)				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。			【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止		担当課				
各学校に研修の周知をし、市主催の研修もオンライン配信で全職員がみられる工夫をしながら取組んだ。		各学校に研修の周知をするともに、市主催の研修についてもオンライン配信で全職員が受講することができるよう工夫をしながら取り組んだ。				2	1	1	1	1	1	成果・課題・今後の対応	コロナ禍で例年より講座や研修会を減らさざるを得なかったが、オンライン配信することにより、より多くの方に研修を受けてもらえた。今後もハラスメント防止等研修を実施する。	2	学校教育室

施策④ 家庭での男女平等・男女共同参画の推進

事業番号		事業													
14	固定的な性別役割分担意識に捉われない家庭運営や子育てができるよう、保護者を対象に、男女平等や男女共同参画について学べる家庭教育に関する学習機会を提供します。 ◆モデル校(園)の実践の発信 ◆保護者に対し、保育所・幼稚園における男女平等・男女共同参画推進のための保育の取組について積極的に情報提供を実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施	【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。													
令和2年度 実施状況(事業報告)		令和3年度 実施状況(事業報告)				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。			【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止		担当課				
各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。また、男女平等教育推進モデル校(富秋校区)の取組を市ホームページに掲載し、すべての人に見てもらえるようにした。		各校のPTAに人権啓発委員会等を組織し、ジェンダー平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。また、ジェンダー平等教育推進モデル校(富秋中学校区)の取組を市ホームページに掲載し、すべての人が閲覧できるようにした。				2	1	2	2	2	2	成果・課題・今後の対応	今後もPTA活動における男女共同参画の視点について、学校に指示する。	2	学校教育室

<p>送迎時や保育参観の時などの機会をとらえて固定的な役割分担意識にとられない家庭運営や子育てについて話をする機会を作った。また園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。コロナ感染防止対策で集まって学習する機会は持てなかったが個別に話をする機会を持つことができた。</p>	<p>送迎時や保育参観の時などの機会をとらえて固定的な役割分担意識にとられない家庭運営や子育てについて話をする機会を作った。また園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。コロナ感染防止対策で集まって学習する機会は持てなかったが個別に話をする機会を持つことができた。</p>	2	3	1	1	1	<p>個別に対応することで相手の考え方などに合わせて対応することができた。</p>	2	こども未来室
<p>①「好き」を追求したら理系だった！ ～これから理系分野をめざす女の子たちのために、大人ができること～ 開催日：3月21日(日) 参加人数：12人/定員：20人 ②「スポーツとジェンダー～女性スポーツの今～」 開催日：11月24日(火) 参加人数：4人/定員：20人</p>	<p>①春の子育て応援セミナー 開催日(1)3月2日(水)、(2)3月9日(水) (1)「思春期の子との向き合い方」 参加人数：3人/定員：20人 (2)「小学生の子を持つママとパパへ～子育てを楽しむヒント～」 参加人数：3人/定員：20人 ②「女の子のための理科実験室＋保護者交流会 手作り発電機で豆電球を光らせよう！」 開催日：11月20日(土) 参加人数：5組(13人)/定員：8組(16人)</p>	1	3	1	1	1	<p>女の子の理系分野の進学促進や新学期・新入学を迎える子どもの変化をどのように受け止めるかなど、幅広い子育てをテーマに、親子と保護者を対象に、男女共同参画について学べる学習機会を提供できた。来年度も引き続き、親子と保護者を対象に、講座を実施する。</p>	3	人権・男女参画室

事業 番号	事業
15	家庭教育における悩み・問題について、男女平等・男女共同参画の視点を持ちつつ、解決に導く「教育相談」を充実します。 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用

【今年度の事業の実施状況】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
家庭教育での悩み・問題についての相談に応じ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、子育て支援室や子ども家庭センターと連携して必要な支援を行った。スクールカウンセラーは、小学校全20校や義務教育学校1校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、2753件、相談人数4220人。中学校での相談人数は、5666人である。スクールソーシャルワーカーは、4名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	家庭教育での悩み・問題についての相談に応じ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、子育て支援室や子ども家庭センターと連携して必要な支援を行った。スクールカウンセラーは、小学校全20校や義務教育学校1校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、2058件、相談人数3116人。中学校での相談人数は、4970人である。スクールソーシャルワーカーは、4名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	2	1	2	1	1	教育相談や支援体制の充実のため、スクールカウンセラーを市内全小学校及び義務教育学校に配置し、チーフ・スクールソーシャルワーカーやスクールソーシャルワーカーの活動時間を増やしていく。	1	学校教育室

施策の方向(2)地域における男女平等学習の推進

施策⑤ 多様な選択を可能にする学習機会の提供

事業番号	事業
16	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆校区別人権研修会 ◆市民カレッジ(指定管理業者が実施) ◆成人教室(琴、茶道、華道) ◆青少年男女共同参画事業 ◆出前講座

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
男女共同参画の視点で社会のさまざまな課題やトピックスについて、テーマ別で講師をお迎えし、地域や職場等、あらゆる場面に参画できるリーダー的役割を担い、社会のニーズに応じたさまざまな課題解決につながる人材育成を目的として、和泉市男女共同参画推進市民実行委員会とモアいずみの共催で下記の内容で実施 モアいずみ塾 『『Go To モアいずみ!!』覗いてみよう!身近な問題・知らない世界!(連続5回シリーズ)』 開催日:1月15日(金)、1月23日(土)、1月29日(金)、2月5日(金)、2月12日(金) 定員30人/申込人数 33人/延べ参加人数124人	男女共同参画の視点で社会のさまざまな課題やトピックスについて、テーマ別で講師をお迎えし、地域や職場等、あらゆる場面に参画できるリーダー的役割を担い、社会のニーズに応じたさまざまな課題解決につながる人材育成を目的として、和泉市男女共同参画推進市民実行委員会とモアいずみの共催で下記の内容で実施 モアいずみ塾 『『Go To モアいずみ Part2』覗いてみよう!身近な問題・知らない世界!(連続5回)』 開催日:11月7日(日)、11月11日(木)、11月17日(水)、12月11日(土)、12月19日(日) 定員 20人/申込人数 21人/延べ参加人数89人	1	2	1	1	今年度はグループワークを取り入れながら、より多くの市民を対象に地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、男女共同参画推進市民実行委員会とともに、様々な内容を企画し、モアいずみ塾として実施した。 来年度も引き続き、上記の形を継承しつつ実施していく。	1	人権・男女参画室
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため研修会は実施することはできなかったが、女性の人権やLGBT課題などを含む啓発用広報物を配布し啓発を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、研修会は21校区中1校区の実施となったが、研修会のかわりに女性の人権やLGBT課題などを含む啓発用広報物を配布し啓発を行った。	2	3	3	1	今後、LGBTの課題を重点に各団体と連携して人権啓発事業に取り組んでいく。	2	人権・男女参画室
平成28年度に開学した市民大学は、5年目の開講となり、引き続きまちづくり学部と教養学部を設置した。まちづくり学部には35人、教養学部には235人の申込があった。教養学部は前期がコロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となり、後期6講座を実施し、文化財や歴史、宇宙など専門的な分野を楽しく、分かりやすく学び、自らの知識を広げる講座を展開した。	平成28年度に開学した市民大学は、6年目の開講となり、引き続きまちづくり学部と教養学部を設置した。まちづくり学部には32人、教養学部には611人の申込があった。教養学部は前後期各6講座を実施し、歴史や日本遺産、歌謡曲など専門的な分野を楽しく、分かりやすく学び、自らの知識を広げる講座を展開した。	2	3	2	2	平成28年度からスタートした市民大学は6年目を終えた。今後も委託先の管理会社と連携し、事業を継続・発展する。	2	生涯学習推進室
成人教室(琴、茶道、華道)を開講。市民の生涯学習の推進に努めた。 琴 :女性7人、男性1人 茶道:女性15人、男性0人 華道:女性13人、男性0人	成人教室(琴、茶道、華道)を開講。市民の生涯学習の推進に努めた。 琴 :女性4人、男性0人 茶道:女性18人、男性0人 華道:女性9人、男性1人	2	3	2	2	日本の伝統文化を学ぶ機会を提供するため、引き続き事業を実施する。	2	生涯学習推進室
楽しく手軽にでき、性別に関わりなく自身の個性と能力が発揮できるスポーツ(ニュースポーツ)としてポケットボール遊びを夏のユースゼネレーションで実施。春のユースゼネレーションで室内ホッケー(ピロポロ)を実施し、目標(定員各12名)で24名に対し22名(男10名・女12名)の参加があった。	楽しく手軽にでき、性別に関わりなく自身の個性と能力が発揮できるスポーツ(ニュースポーツ)としてダーツとポケット遊び、ポッチャ遊びを春・夏のユースゼネレーションで実施。春・夏のユースゼネレーションでパラリンピック種目ポッチャを実施し、目標(定員各12名)で42名に対し22名(男10名・女12名)の参加があった。	2	3	1	1	性別・学年の枠を超えて共に競技し、男女共同意識の育成へ繋がりました。今後子ども達が参加する中で、楽しみながら自然と男女共同参画の意識が育まれる取り組みをめざす。	3	青少年センター

出前講座の依頼がなく未実施	依頼なく未実施	3	4	3	2	2	事業実施依頼がなく、未実施となった。依頼を受ければ実施する。	3	広報・協働推進室
---------------	---------	---	---	---	---	---	--------------------------------	---	----------

事業番号	事業								
17	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆広報いずみやホームページ等での周知の充実 ◆シティプラザ通信の発行、モアいずみ通信、広報いずみやHPでの周知の充実 ◆市政情報発信事業								

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった			
親学習講座など、男女に関わらず参加してもらいたいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。	親学習講座など、男女に関わらず参加してもらいたいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。	2	3	2	2	2	今後も多様な媒体を活用し、事業を継続する。	2	生涯学習推進室
<ul style="list-style-type: none"> ・モアいずみ通信、広報いずみ、和泉シティプラザ通信、HP、いずみメールでイベントや講座の情報を提供を行った。 ・講座のチラシ・ポスターを関係施設に配架した。モアいずみフォーラムや一部の講座については、LINEやFacebookを使用して周知した。 ・他部署がイベント等開催時にチラシの配布協力依頼を行い連携し、周知に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モアいずみ通信、広報いずみ、和泉シティプラザ通信、HP、いずみメールでイベントや講座の情報を提供を行った。 ・講座のチラシ・ポスターを関係施設に配架した。モアいずみフォーラムや男女共同参画週間事業については、LINEやFacebookを使用して周知した。 ・他部署がイベント等開催時にチラシの配布協力依頼を行い連携し、周知に努めた。 	1	3	1	1	1	今後も引き続き、広く市民に情報提供を行う。より多くに市民が参加できるよう、情報提供の手法について今後も考えていく。他部署と連携し、より一層の周知を図る。	2	人権・男女参画室
市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・LINE@・いずみメールでも情報を配信しSNS関係の情報発信を強化した。	市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・LINE@・いずみメールでも情報を配信しSNS関係の情報発信を強化した。	2	1	1	1	1	普及率が高いLINEについて友達数を増やしていくことが課題である。	1	広報・協働推進室

事業番号	事業									
18	生涯を通じた経済的自立の観点からの消費者行政を充実します。 ◆消費者生活啓発出前講座 ◆消費者月間事業									

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった			
複雑多様化している消費者トラブルに対応し、被害の未然防止と自立した消費者を育成するため、地域住民向け(1回)、小・中学生向け(2回)、大学生向け(1回)の出前講座を4回(参加者397人)実施した。(令和3年3月末時点)	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、リアルの出前講座の要望が少ないものであったが、学校関係を中心にオンライン講座の要望が多かった。今後、感染拡大防止に十分配慮し、オンラインも含め消費者教育・啓発に努める。	2	2	3	1	1	2022年4月1日より「成年年齢引き下げ」により小学校・中学校での指導要領が改正されたことを受けて、従来のSNS講座だけでなくキャッシュレスの講座などに取組みたい	2	くらしサポート課
5月の消費者月間において、市公式SNS等を活用し、啓発活動を行った。	令和2年度に引き続き駅前街頭啓発ができなかったため、SNSを活用した市民啓発を行った。今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、より効果的な啓発活動に努める。	2	3	3	1	1	SNS活用した情報提供、成年年齢引き下げの注意喚起のホームページにおける啓発を行う。	2	くらしサポート課

施策⑥ 女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実

事業番号	事業									
19	女性のチャレンジを支援するための情報提供や各種講座を実施します。 ◆和泉市男女共同参画センターの図書コーナーの充実									

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった			
女性が自分らしく生きるために美容の切り口から描いた『美容は自尊心の筋トレ』の図書購入、日本酒の世界で先駆者の三人の女性たちを描いた『カンバイ！日本酒に恋した女たち』や産業の新たな扉をひらいた若き女性たちの活躍を描いた『紅い櫻』などのDVDを購入し、図書の充実に努めた。	一人一人が自分らしい選択をする力、知恵や感性を磨くことを目的とした『女の子はどう生きるか』の図書購入、現代女性が担う重圧と生きづらさを描いた『82年生まれ、キム・ジョン』や過酷な車上生活を送りながら、誇りを持って自由を生きる女性を描いた『ノマドランド』などのDVDを購入し、図書の充実に努めた。	1	2	1	1	1	引き続き、図書コーナーの広報に努めるとともに、図書・DVDの充実を図る。	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
20	「女と男のフォーラム」の企画・運営等を通して女性のエンパワメントを支援します。 ◆「女と男のフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
和泉市男女共同参画推進市民実行委員会と共同で企画・運営を協働で行い、「モアいずみフォーラム」を実施した。今年度は緊急事態宣言発令のため、会場開催は中止し、オンデマンド配信のみで実施。 テーマ:新しい社会を私らしく生きていく 講師:牧野丹奈子さん 撮影日:2月14日(日) 配信期間:3月4日(木)~7日(日) 申込人数:73人/再生回数:215回	和泉市男女共同参画推進市民実行委員会委員10名と共同で企画・運営を協働で行い、「モアいずみフォーラム」を実施した。今年度は会場およびオンデマンド配信で実施。 テーマ:スポーツ×和泉~誰もがチャレンジできる社会に~ 出演者:関めぐみさん、和泉テクノFC選手・GM、嵯峨根望さん 開催日:2月20日(日) 配信期間:3月15日(火)~21日(月) 会場参加者:49人/定員60人 オンデマンド申込人数:21人/再生回数:87回	1	3	1 1 1	今年度は会場開催とオンデマンド配信にて企画し、ジェンダー論が専門の気鋭の研究者をまじえて、本市で活躍する女子サッカーチームやパラリンピック選手を招き、体験談を聞くことで、ロールモデルが少ない中で挑戦し続ける姿をアピールすることができた。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
21	モアいずみ通信やホームページ、さらには「いきいきライフ講座」等を通じて、様々な分野で活躍する女性をロールモデルとして紹介します。 ◆いきいきライフ講座、いずみワクワク講座の開催

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
①「地域に広げる私たちの輪~東日本大震災被災地のコミュニティビジネスから学ぶ~」 開催日:10月10日(土) 参加人数:16人/定員:20人 ②「好き」を追求したら理系だった! ~これから理系分野をめざす女の子たちのために、大人ができること~」 開催日:3月21日(日) 参加人数:12人/定員:20人	①いきいきライフ講座「人生100年時代の終活~慣習・しきたりから自由に、そして自分らしく~」 開催日:10月29日(金) 参加人数:30人/定員:20人 ②いずみワクワク講座「体感&参加型で楽しい♪「魔法のシート」」 開催日:(1)10月20日(水)、(2)10月27日(水) (1)「コロナを乗り切ろう!魔法の質問ライブ」 参加人数:13人/20人定員 (2)「失敗しない怒りの伝え方を知ろう」 参加人数:13人/20人定員	1	2	1 1 1	「終活」という身近な関心事から、ジェンダーの視点で人生100年時代の自分らしく生きるきっかけを作りや、キャリアコンサルタントカウンセラーとしてコロナ自粛の中で自分を見つめ、時間をどのように過ごすか受講者に考えてもらうなど、様々な分野で活躍する女性を講師に迎え、ロールモデルとして紹介することができた。引き続き、講師をロールモデルとした講座を実施し、受講者の気づきにつなげる。	1	人権・男女参画室

施策の方向(3)男性にとっての男女共同参画の推進

施策⑦ 家庭・地域への男性の参加・参画の推進

事業番号	事業
22	男性が仕事中心の生き方を振り返り、家庭や地域に参画するきっかけづくりとして、学習や交流機会の充実を図ります。 ◆親学習講座 ◆エンゼルハウス運営事業 ◆行事や半日保育参加への呼びかけ ◆「子育て応援講座」「男性学講座」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
男女にかかわらず参加してほしいイベントのチラシを関係会報にて配布および和泉市ホームページに掲載した。親学習講座実績：第1回～第4回はコロナ感染拡大防止のため中止、第5回-13人、第6回-5人、第7回-11人、第8回-6人、第9回-6人、第10回-5人、第11回-2人、第12回-8人 ※学校園向け講座(全3回)は中止	親学習講座実績：第2回・第3回はコロナ感染拡大防止のため中止、第1回-4人、第4回-3人、第5回-18人、第6回-13人、第7回-6人、第8回-10人、第9回-7人、第10回-8人、第11回-9人、第12回-2人 ※学校園向け講座(全3回)は中止	2	3	2	2	2	親に限定せず、小中学校の児童生徒も対象とした親学習講座を継続する。	2	生涯学習推進室
エンゼルハウスでの親学習を通じて、父親の子育て参加を促し、家族で参加する「Family day」及び「お父さんデー」毎月1回実施。 市内にエンゼルハウス5ヶ所を設置し、運営。 【年間エンゼルハウス参加人数】 ・鶴山台：6,815名 ・府中：5,271名 ・北松尾：5,587名 ・和泉中央：7,470名 ・青葉台：8,125名	エンゼルハウスでの親学習を通じて、父親の子育て参加を促し、家族で参加する「Family day」及び「お父さんデー」毎月1回実施。 市内にエンゼルハウス5ヶ所を設置し、運営。 【年間エンゼルハウス参加人数】 ・鶴山台：6,881名 ・府中：5,212名 ・和泉中央：5,144名 ・青葉台：9,559名	2	3	2	2	2	参加者に対しておおむね支援を行うことができた。今後も引き続き支援体制を図る。	2	子育て支援室
予定はしていたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事や半日保育ができなかったり参加人数を制限するような結果となったりしたため十分に実施できなかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、半日保育参加の実施が難しく、送迎時に父親へも積極的に子どもの様子や子育てについての話をし、園と共に子育てをできるようにしている。	2	2	1	1	1	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施出来なかったが、実施できるような内容の工夫をしていきたい。また参加しやすいように行事日程を工夫していく。	3	こども未来室

<p>【男性学講座】 「パパとレクリエーションゲームをしよう！～親子の時間を楽しもう～」 開催日：3月27日(土) 参加人数：3組(8人)/定員：8組</p>	<p>①【子育て応援講座】 春の子育て応援セミナー 開催日(1)3月2日(水)、(2)3月9日(水) (1)「思春期の子との向き合い方」 参加人数：3人/定員：20人 (2)「小学生の子を持つママとパパへ～子育てを楽しむヒント～」 参加人数：3人/定員：20人 ②【男性学講座】 ●「野外活動のプロに教わるパパごはん～夏の鶏肉料理と炊き込みご飯～」 開催日：7月10日(土) 参加人数：8人/定員：12人 ●「人生100年時代をしなやかに生きる定年男性応援セミナー」 開催日：6月24日(木)、29日(火) (1)「定年不調、男性更年期、パートナー(妻)との関係・・・定年後の新生活、まずは不安を「見える化」しましょう！」 参加人数：15人/20人定員 (2)「まだまだ働きたい、でもそろそろ社会貢献も・・・地域デビューは自分のペースで始めましょう！」 参加人数：9人/20人定員</p>	1	2	1	1	1	<p>子育て世代を対象に、新入学・新学期を迎える子どもの変化を親がどのように受け止めたらいいか、またコロナ禍で人気が高まっているアウトドア料理の作り方を学び、家事育児の参加への機会を提供ができた。また、定年男性向けに定年前後の男性が仕事中心の生き方を振りかえり、家庭や地域に参画する機会を提供ができた。 引き続き、男性が仕事中心の生き方を振り返り、家庭や地域に参画するきっかけづくりとして、子どもと接したり、学習する機会を提供する。</p>	1 人権・男女参画室
---	--	---	---	---	---	---	--	---------------

事業番号	事業
23	<p>男性の意識改革や生活自立のための実践的な家事講座等を実施します。 ◆男性学講座</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちなから、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
<p>【男性学講座】 「パパとレクリエーションゲームをしよう！～親子の時間を楽しもう～」 開催日：3月27日(土) 参加人数：3組(8人)/定員：8組</p>	<p>【男性学講座】 ●「野外活動のプロに教わるパパごはん～夏の鶏肉料理と炊き込みご飯～」 開催日：7月10日(土) 参加人数：8人/定員：12人 ●「人生100年時代をしなやかに生きる定年男性応援セミナー」 開催日：6月24日(木)、29日(火) (1)「定年不調、男性更年期、パートナー(妻)との関係・・・定年後の新生活、まずは不安を「見える化」しましょう！」 参加人数：15人/20人定員 (2)「まだまだ働きたい、でもそろそろ社会貢献も・・・地域デビューは自分のペースで始めましょう！」 参加人数：9人/20人定員</p>	1	2	1	1	1	1	<p>コロナ禍で人気が高まっているアウトドア料理の作り方を学び、家事育児の参加への機会を提供ができた。また、定年男性向けに定年前後の男性が仕事中心の生き方を振りかえり、家庭や地域に参画する機会を提供ができた。引き続き、男性の意識改革や生活自立のための実践的な講座を提供する。</p>	1	人権・男女参画室

施策の方向(4) 男女平等意識の浸透

施策⑧ 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ

事業番号	事業
24	<p>「何について(男女平等に関する課題)」「誰に向かって(例えば「男性に」等、対象者を絞り込む)」「どんな方法で(広報紙、ホームページ、講演会、「男女共同参画週間」「人権週間」の時に、等)」を的確に判断し、体系的、段階的に市民への啓発活動を進めます。</p> <p>◆市政情報発信事業 ◆「男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)」「女と男のフォーラム」 ◆男女共同参画週間等に合わせた資料展示 ◆市こども会育成連絡協議会や青少年問題協議会への啓発紙の配布 ◆男女共同参画等に関する資料展示 ◆男女平等の意識を育む ◆中学校区における人権研修会や講演会等の地域への啓発活動の実施 ◆広報・ホームページ</p>

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・LINE@・いずみメールでも情報を配信しSNS関係の情報発信を強化した。	市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・LINE@・いずみメールでも情報を配信しSNS関係の情報発信を強化した。	2	2	1	1	1	普及率が高いLINEについて友達数を増やしていくことが課題である。	2	広報・協働推進室
①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日:令和2年6月27日(土) 内容:映画「カノン」上映 定員:600人 ②モアいずみフォーラム 撮影日:2月14日(日) 配信期間:3月4日(木)～7日(日) 内容:新しい社会を私らしく生きていく 講師:牧野丹奈子さん 申込人数:73人/再生回数:215回 ※①は新型コロナウイルス感染症予防のため中止、②は緊急事態宣言発令のため、会場開催を中止し、オンデマンド配信のみ実施	①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日:6月26日(土) 内容:映画「カノン」上映 参加人数:147人/300人定員 ②モアいずみフォーラム テーマ:スポーツ×和泉～誰もがチャレンジできる社会に～ 出演者:関めぐみさん、和泉テクノFC選手・GM、嵯峨根望さん 開催日:2月20日(日) 配信期間:3月15日(火)～21日(月) 会場参加者:49人/定員60人 オンデマンド申込人数:21人/再生回数:87回	1	2	1	1	1	男女共同参画の視点を取り入れた作品選びやコロナ対策など工夫し、男女共同参画週間の時に、今を生きる女性たちの愛と葛藤を描いた家族再生の物語として映画「カノン」の上映や、モアいずみフォーラムの時に、ロールモデルが少ない中で挑戦し続ける本市の女子サッカーチームやパラリンピック選手の体験談を聞く機会などを提供することで、男女共同参画社会への認識と理解を深めるための啓発を市民に行うことができた。来年度も引き続き、上記の形を継承しつつ実施していく。	1	人権・男女参画室
①男女共同参画週間事業は中止となったが、今年度のキャッチフレーズ「ワーク・ライフ・バランス」に合わせた図書の展示をモアいずみの図書コーナーで実施した。 ②モアいずみフォーラムのオンデマンド配信講演会の配布資料として、モアいずみやモアいずみ登録団体の紹介を掲載した冊子を作成し、参加者に送付した。	①令和3年度男女共同参画週間のキャッチフレーズ「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」に合わせた図書の展示をモアいずみの図書コーナーで実施した。 ②モアいずみフォーラムにて、講演会開始前にモアいずみやモアいずみ登録団体の紹介をするパワーポイントを上映したり、会場の入口付近で、登録団体を紹介するパネル展示を行った。	1	3	1	1	1	引き続き、男女共同参画週間事業に合わせた資料展示や、登録団体の活動内容等を市民に対し周知を行い、協働して参画することの必要性を発信していく。	2	人権・男女参画室

毎年「モアいずみフォーラム」について、各種団体へ情報提供を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から人権・男女参画室からの依頼が無かった。	毎年「モアいずみフォーラム」について、各種団体へ情報提供を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から人権・男女参画室からの依頼が無かった。	5	4	2	2	2	今後も引き続き、積極的な情報提供を行う。	2	生涯学習推進室
シティプラザ図書館において、男女共同参画週間コーナーを設け展示を行った。POPの作成や資料の表紙を見せながら展示するなど、手に取りやすい工夫を行った。	シティプラザ図書館及び和泉図書館において、男女共同参画週間コーナーを設け展示を行った。資料の表紙を見せながら展示するなど、手に取りやすい工夫を行った。	2	3	2	2	2	シティプラザ図書館に加え、今年度は和泉図書館でも展示を実施した。今後も引き続き展示を実施する。	2	生涯学習推進室
広報紙、ホームページ、講演会を常に保育者が認識し、機会をとらえて保護者に向けて啓発活動を行った。保育内容を伝えるときにも男女平等の意識をもって保護者対応をすることを心掛けた。また、性別役割分担意識を解消するため、父親の育児参加の呼びかけも行った。男性保育士が日々の保育をしたり育児を担当することや、父親の育児参加を呼びかけることで市民に対する性別役割分担意識を解消するための働きかけとなっていると思う。	男性保育士が保育をしたり家庭育児を担当したり、父親の育児参加を呼びかけることで市民に対する性別役割分担意識を解消するための働きかけとなっていると考える。また広報紙やホームページ、講演会などの情報を常に保育者が認識し、機会をとらえて保護者に向けて啓発活動を行った。保育内容を伝えるときにも男女平等の意識をもって保護者対応をすることを心掛けた。	2	2	1	1	1	日頃から送迎時にコミュニケーションを図り、様々な話題ができるような関係づくりを心掛けた。その中で男女平等に関する話をする事ができた。	2	こども未来室
今年度は参集型の講演会はできなかったが、地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するよう、各校PTAの人権啓発活動(性教育について等)を実施するよう指示した。	地域においてジェンダー平等・男女共同参画の考え方が定着するよう、各校PTAの人権啓発活動(性教育について等)を実施するよう指示した。	2	3	3	2	2	PTA新聞や学校通信によって人権啓発を行うことができた。今後もPTA活動に男女共同参画の視点を取入れるよう学校に指示する。	2	学校教育室
高齢介護室のイベント・講座・高齢者福祉サービスなどの情報を広報いずみやホームページ・いずみメールで人権に関することや男女共同参画について視点に合った適切な表現であるか文言に注意し、作成発信を行った。	高齢介護室のイベント・講座・高齢者福祉サービスなどの情報を広報いずみやホームページ・いずみメールで人権に関することや男女共同参画について視点に合った適切な表現であるか文言に注意し、作成発信を行った。	2	3	3	1	1	福祉サービスや社会資源を市民が活用できるように引き続き、広報や市のホームページに掲載する。福祉サービスのパンフレットやちらしを作成し情報提供する。	2	高齢介護室

事業番号	事業
25	地域活動において、男女共同参画社会の理解を深めるための出前講座等の内容の充実と広報の強化を図ります。 ◆出前講座での広報の工夫 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
窓口やホームページ等において、出前講座の募集を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年に比べて講座件数は減少した。 令和2年度出前講座件数 24件(3/1現在)	窓口やホームページ等において、出前講座の募集を行った。 令和3年度出前講座件数 23件	2	3	2 2 2	今後も引き続き、出前講座の周知に努める。	2	生涯学習推進室
令和2年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体 ①モア21「パパと一緒に発酵食品づくり！自家製大豆で白みそを作ろう」 「お父さんと楽しむ わくわく科学実験 細胞って何だろう？〈生物と細胞〉の研究」 ②NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学ぼう♪わたしと子どものための「性」講座」 ※①は大阪モデルレッドステージおよび緊急事態宣言発令に伴い中止	令和3年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体 ①和泉ここあり「労協法で新しい働き方～女性視点で思いを形にしよう～」 ②NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学ぼう♪自分のための「性」講座(中学生)」 「ちゃんと学ぼう♪わたしと子どものための「性」講座(一般)～自分を大切に、相手のことも大切にするために～」	1	3	1 1 1	新型コロナウイルス感染拡大のため、今年度も募集が少なかったが、初めて申請した団体もあり、事業を実施した団体は男女共同参画の視点を持って実施することができた。助成金制度については、引き続き積極的に周知し、目標達成に努める。	3	人権・男女参画室

事業番号	事業
26	男女共同参画社会づくりのために啓発冊子を定期的に発行します。 ◆啓発冊子作成業務

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
下記内容を盛り込んだ和泉市男女共同参画カレンダーを作成し、令和3年1月号広報いずみにて全戸配布(全戸配布部数 73,000部)を行い啓発を行った。 (冊子内容) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、男女共同参画国際比較、男女共同参画の視点で考える防災、セクシュアル・マイノリティ、相談窓口案内(DV、モアいずみ(男女共同参画センター)施設案内、DV及び女性総合相談、セクシュアル・マイノリティ相談等)	下記内容を盛り込んだ和泉市男女共同参画カレンダーを作成し、市内関連施設や他市女性関連施設に送付し、令和3年1月号広報いずみにて全戸配布(全戸配布部数 73,500部)を行い啓発を行った。 (冊子内容) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、男女共同参画国際比較、男女共同参画の視点で考える防災、セクシュアル・マイノリティ、相談窓口案内(DV、モアいずみ(男女共同参画センター)施設案内、DV及び女性総合相談、セクシュアル・マイノリティ相談等)	1	3	2 1 1	コロナ禍における「新しい生活様式」での男女共同参画の視点をカレンダーに盛り込み、市民に対し意識向上を図った。 次年度の啓発冊子作成についても、啓発内容を現在のニーズをふまえて作成する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
27	市民との協働のもと、男女共同参画社会づくりの認識と理解を深めるための啓発イベントを定期的に開催します。 ◆「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業ミニフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
①モアいずみフォーラム 撮影日:2月14日(日) 配信期間:3月4日(木)~7日(日) 内容:新しい社会を私らしく生きていく 講師:牧野丹奈子さん 申込人数:73人/再生回数:215回 ②男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日:令和2元年6月27日(土) 内容:映画「カノン」上映 定員:600人 ※①は緊急事態宣言発令のため、会場開催を中止し、オンデマンド配信のみ実施。②は新型コロナウイルス感染症予防のため中止。	①モアいずみフォーラム テーマ:スポーツ×和泉~誰もがチャレンジできる社会に~ 出演者:関めぐみさん、和泉テクノFC選手・GM、嵯峨根望さん 開催日:2月20日(日) 配信期間:3月15日(火)~21日(月) 会場参加者:49人/定員60人 オンデマンド申込人数:21人/再生回数:87回 ②男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日:6月26日(土) 内容:映画「カノン」上映 参加人数:147人/300人定員	1	2	1 1 1	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、市民実行委員会及びモアいずみ登録団体と協働で、男女共同参画について市民へ啓発することができた。 引き続き、和泉市男女共同参画推進市民実行委員会及びモアいずみ登録団体と協働のもと、啓発活動に取り組む。	1	人権・男女参画室

施策⑨ 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上

事業番号	事業
28	市職員や連携機関の職員等に対して男女共同参画に関する研修等を充実します。 ◆男女共同参画研修 ◆男女共同参画施策推進員の研修の実施 ◆留守家庭児童会指導員研修の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
新規採用職員に対して、男女共同参画についての研修を実施した。 実施日：令和2年1月17日 研修内容：ジェンダーと人権～らしさの神話を問い直す～ 新規採用職員36人中 29人参加	新規採用職員に対して、男女共同参画についての研修を実施した。 実施日：令和3年11月8日～令和3年11月19日 研修内容：父親の子育てとジェンダー～なぜ男性育休は進まないのか～ 新規採用職員40人中13人参加	2	3	1	1	1	1	周知方法の工夫について検討が必要	3	人事課
令和2度男女共同参画推進員研修会 ①テーマ：「性の多様性と人権～LGBTQとSOGI～」令和2年8月20日開催 参加人数：48人/54人（推進員48人） ②テーマ：「いま、男女共同参画社会の実現に向けてどう取り組むか」 オンデマンド開催：視聴期間は令和3年3月12日から3月25日まで 参加人数：64人/84人（推進員35人 新規採用職員29人）	令和3度男女共同参画推進員研修会 ①テーマ：「父親の子育てとジェンダー～なぜ男性育休は進まないのか～」 オンデマンド配信：令和3年11月8日～11月26日 参加人数：68名 ②テーマ：「コロナ禍の女性の貧困」 オンデマンド配信：令和4年2月17日～3月18日 参加人数：49名	1	1	1	1	1	1	オンデマンドでの開催とし、配信期間を長く設定した結果、推進員以外の職員や新規採用職員も積極的に参加してもらうことができた。	2	人権・男女参画室
和泉市留守家庭児童会条例の主旨に基づき、児童の適切な遊び場及び生活の場を提供するため、年9回の支援員研修会を実施した。	新型コロナウイルス感染症による影響で、予定していた開催回数には至らなかったが、和泉市留守家庭児童会条例の主旨に基づき、児童の適切な遊び場及び生活の場を提供するため、年8回の支援員研修会を実施した。	2	2	1	1	1	1	支援員の資質向上のため、今後も引き続き研修を実施する	2	こども未来室

事業番号	事業
29	和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の取組を強化します。 ◆和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の開催

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
令和2年度和泉市男女共同参画施策推進本部会議 開催日：令和2年12月15日 案件： ①「第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)」及び「和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画(DV防止基本計画)」に係る令和元年度推進状況の報告について ②男女共同参画施策推進本部研修 講師：小谷美樹さん(積水ハウス株式会社 ESG経営推進本部 部長)	令和3年度和泉市男女共同参画施策推進本部会議 開催日：令和3年12月4日 案件： ①「第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)」及び「和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画(DV防止基本計画)」に係る令和2年度推進状況の報告について	1	1	1 1 1	次年度に向けて活発な意見が交わされ、男女共同参画社会について理解を深めることができた。また、各事業における評価の基準を見直すこととなった。	1	人権・男女参画室

施策⑩ 性に捉われない人権の尊重

事業番号	事業
30	男女の性差についての正しい知識の周知を図るとともに、性的マイノリティへの理解を深めるための啓発を推進します。 ◆モアいずみ通信の発行。・図書コーナー等で人権啓発ビデオの貸し出し。 ◆性的マイノリティへの理解を深めるための取組を推進

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・モアいずみ通信1月号にて、LGBTアライについて紹介し、性的マイノリティの理解を深めるための記事を掲載した。 ・男女共同参画センター図書コーナーにおいて、性的マイノリティをテーマに取り上げた図書「愛と性と存在のはなし」「きみはせかいでただひとり 親子で話す はじめてのLGBTs」やDVD「パレードへようこそ！」などの貸出を行った。	・モアいずみ通信7月号にて、アウトティングやカミングアウトについて紹介し、性的マイノリティの理解を深めるための記事を掲載した。 ・男女共同参画センター図書コーナーにおいて、性的マイノリティをテーマに取り上げた図書「あいつはゲイだって アウティングはなぜ問題か」の貸出を行い、DVDでは男女共同参画社会づくり講座「わくわくシネマ」にて、「グリーンブック」、「さよならちびる」の上映会を実施した後、貸出を行った。	1	3	1 1 1	引き続き、モアいずみ通信に関連記事を掲載し、本市ホームページで相談窓口の周知を行い、情報提供につとめる。	2	人権・男女参画室

<p>性の多様性について、学校に当事者を招き、出前講座を実施した。(池上小学・幸小学校・北池田中学校・緑ヶ丘小学校)管理職及び教職員に向けてはオンライン講座を紹介した。また、5月に行った府からの調査の結果を各校長にヒアリングで周知。今後の学校運営に生かすよう指示した。当事者が作成した性の多様性に関する書籍を全校分購入し、全学校に配付した。</p>	<p>性の多様性について、学校に当事者を招き、出前講座を実施した。(池上小学・幸小学校・和泉中学校)8月には全教職員および全児童生徒に市作成リーフレット「性の多様性を考えよう～みんなちがってみんないい～」を配付。活用についても周知した。管理職及び教職員に向けては12月に当事者を招いての講演会(人権教育研修)を実施した。また、5月に行った府からの調査の結果を各校長にヒアリングで周知。今後の学校運営に活かすよう指示した。</p>	2	2	1	1	1	<p>夏に市作成リーフレットを全校に配付し、意識の浸透をさせることができた。コロナ禍でも学校の工夫で当事者の話を聞く機会を設けることができた。今後も性的マイノリティの子どもが過ごしやすい学校環境を整備する。</p>	2	学校教育室
--	--	---	---	---	---	---	---	---	-------

施策⑩ 男女共同参画にかかると資料等の充実と積極的提供

事業番号	事業
31	<p>男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を継続的に実施します。 ◆男女共同参画に関する市民意識調査(10年に1回)</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
<p>男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を実施し、次期行動計画策定の基礎資料とする。 ※次期は、令和7年度に実施予定のため、令和2年度は実施していない。</p>	<p>男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を実施し、次期行動計画策定の基礎資料とする。 ※次期は、令和7年度に実施予定のため、令和3年度は実施していない。</p>	4	4	3	3	3	—	3	人権・男女参画室	

事業番号	事業
32	男女別統計の必要性の啓発を進め、様々な男女別統計を作成します。 ◆統計いずみにおける男女別データの公表 ◆いずみデータブックの作成

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
統計いずみ等を通じ、女性の現状を表す資料として、統計調査の男女別集計結果の公表した。 7件(人口、国勢調査、経済センサス、農林業、工業、教育、行財政)	統計いずみ等を通じ、女性の現状を表す資料として、統計調査の男女別集計結果の公表した。 7件(人口、国勢調査、経済センサス、農林業、工業、教育、行財政)	1	3	1	1	1	統計いずみ等を通じ、女性の現状を表す資料として、男女共同参画の視点に立って統計調査の男女別集計結果の公表することができた。引き続き、取り組んでいく。	2	総務管財室
結婚と出生(出生数推移等)、政策・方針決定(審議会等の女性委員割合推移等)、教育(男女別学校種類別進学率の推移等)、労働(男女の賃金格差推移等)、女性に対する暴力(配偶者間における犯罪件数等)、国際比較(GII(ジェンダー不平等指数等)を集約した「いずみデータブック2021版」を作成した。	結婚と出生(出生数推移等)、政策・方針決定(審議会等の女性委員割合推移等)、教育(男女別学校種類別進学率の推移等)、労働(男女の賃金格差推移等)、女性に対する暴力(配偶者間における犯罪件数等)、国際比較(GII(ジェンダー不平等指数等)を集約した「いずみデータブック2022版」を作成した。	1	2	1	1	1	男女共同参画にかかわるデータを収集し、本市における施策の進行管理に活かす。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
33	男女共同参画に関する図書や資料の収集と提供を充実します。 ◆男女共同参画に関する資料収集 ◆男女共同参画に関する資料提供 ◆図書コーナーにおける男女共同参画に関する資料の収集

- 【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。
 5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない 4. 評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーを充実させるため、男女共同参画に関する資料を購入した。 「競争を回避する女性」他、計39点	シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーを充実させるため、男女共同参画に関する資料を購入した。	1	1	2	2	2	目標を上回る点数の資料が購入できた。 来年度も資料の充実をしていく。	2	生涯学習推進室
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーの棚において、本の表紙を見せて展示するなど、手にとってもらいやすいように工夫した。新型コロナウイルス感染予防のための休館により、例年に比べて資料の貸出数は減少した。	シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーの棚において、本の表紙を見せて展示するなど、手にとってもらいやすいように工夫した。	1	2	2	2	2	目標には到達することができなかったが、今後も新たな資料を購入し興味を持ってもらえるよう展示の仕方や企画の工夫を検討していく。	1	生涯学習推進室
モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにおける図書や資料の収集と提供を行った。	モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにおける図書や資料の収集と提供を行った。	1	1	1	1	1	今後も引き続き、収集と提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策の方向(5)人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立

施策⑫ 市の刊行物等の表現の配慮

事業番号	事業
34	<p>市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等は、内閣府男女共同参画局発行の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」に基づいて、男女共同参画の視点を入れ、制作します。</p> <p>◆市政情報発信事業 ◆掲示適正な表現であるかの確認</p> <p>◆庁内の掲示ポスター、広報紙、ホームページ等を男女共同参画の視点で点検</p> <p>◆広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等の作成 ◆発信する刊行物等を男女共同参画の視点で製作・点検</p> <p>◆広報・ホームページ</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
男女共同参画を視野(デザイン色に関して、男の子は青、女の子は赤などと決め付けず、男女とも共有色である緑色や黄色などの配色に心がけやイラストを使う際、お母さんが赤ちゃんを抱っこしているのではなくお父さんが抱っこしているイラストや女性が料理するイラストではなく男性が料理をするイラストを用いるなど)に入れ、広報いずみやホームページ・Twitter・Facebook・LINE@・いずみメールを制作した。	男女共同参画を視野(デザイン色に関して、男の子は青、女の子は赤などと決め付けず、男女とも共有色である緑色や黄色などの配色に心がけやイラストを使う際、お母さんが赤ちゃんを抱っこしているのではなくお父さんが抱っこしているイラストや女性が料理するイラストではなく男性が料理をするイラストを用いるなど)に入れ、広報いずみやホームページ・Twitter・Facebook・LINE@・いずみメールを制作した。	2	2	1	1	1	引き続き男女共同参画の視点から広報紙を作成します。	2	広報・協働推進室
庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、掲示の前に本施策の視点に立って適正な表現であるかを確認した。	各課から依頼があったデジタルサイネージコンテンツについて、本施策の趣旨に則った表現であるかを確認し、掲載の判断を行った。	2	3	1	1	1	今年度、本施策の視点に反するデジタルサイネージ等の掲載依頼はなかった。今後も引き続き庁内において掲示依頼のあるコンテンツについて、本施策の視点に立って適正な表現であるかを確認する。	2	総務管財室

<p>男女共同参画に視点からの公的広報の手引き」に基づいて、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ、ホームページを随時点検し、男女共同参画の視点の欠けたものを発見した場合は、速やかに担当課と協議し、改善の要望を行った。</p>	<p>男女共同参画に視点からの公的広報の手引き」に基づいて、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ、ホームページを随時点検し、男女共同参画の視点の欠けたものを発見した場合は、速やかに担当課と協議し、改善の要望を行った。</p>	1	2	2	1	1	<p>男女共同参画に視点からの市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシの作成について、引き続き男女共同参画の視点について周知を行っていくと共に、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシを随時点検する。</p>	2	<p>人権・男女参画室</p>
<p>広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等を作成する場合には、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を参考にし配慮した。</p>	<p>広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等を作成する場合には、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を参考にし配慮した。</p>	2	3	2	2	2	<p>男女共同参画の視点を持ちながら、広報誌・刊行誌・ポスター・チラシ等を作成することができた。今後も引き続き視点を持ちながら取り組む。</p>	2	<p>子育て支援室</p>
<p>学校教育室で作成する刊行物、冊子等の内容や表現について男女共同参画の視点で製作・点検した。「性の多様性」についてのリーフレットに関しては当事者の方から意見をもらいながら人権に配慮した製作をすすめた。</p>	<p>学校教育室で作成する刊行物、冊子等の内容や表現について男女共同参画の視点で製作・点検した。「性の多様性についてのリーフレット」に関しては当事者の方から意見を参考にして、内容や表現について検討し、製作した。</p>	2	2	1	1	1	<p>引き続き、男女共同参画の視点について配慮する。</p>	2	<p>学校教育室</p>
<p>高齢介護室の多様な福祉サービスや教室、相談窓口を広報やホームページ等で周知する。</p>	<p>高齢介護室の多様な福祉サービスや教室、相談窓口を広報やホームページ等で周知する。</p>	2	2	3	1	1	<p>利用できる福祉サービスや地域の社会資源を高齢者が活用できるように、広報・いずみメール等で情報提供する。</p>	2	<p>高齢介護室</p>

施策⑬ メディア・リテラシーの向上

事業番号	事業
35	メディア・リテラシーの向上のための学習機会を提供します。 ◆学校における「情報モラル教育」の実施 ◆メディア・リテラシーに関する資料展示 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
ICTコンピュータネットワークの整備に伴い、インターネットのフィルタリングについての研修をはじめ、情報モラル教育について、資料や研修講師などの情報を各学校に提供し、各校での子ども対象の学習会を推進させた。	ICTコンピュータネットワークの整備に伴い、インターネットのフィルタリングについての研修をはじめ、情報モラル教育について、資料や研修講師などの情報を各学校に提供し、各校での子ども対象の学習会を推進させた。	2	2	1 1 1	スマホやケータイの子どもたちへの普及が急速に進み、ネットトラブルについての学習をする機会を、小学校低学年向けにも拡充した。今後もさらに学習機会の拡充を進める。	2	学校教育室
シティプラザ図書館において、男女共同参画期間に伴い、男女共同参画関連図書のコーナーを設置した。	シティプラザ図書館において、男女共同参画期間に伴い、男女共同参画関連図書のコーナーを設置した。	2	3	2 2 2	図書館の利用者に情報を得る機会を持つてもらえるようコーナーの設置に取り組んだ。来年度も引き続き取り組んでいく。	2	生涯学習推進室
【モアいずみ塾 4回目講座】 「女性トップジャーナリストに聴く！メディアの読み解き方/報道のうら・おもて」 開催日：2月5日(金) 参加人数：23人/定員：30人	●メディアにおける表現を学ぶ講座 (1)「メディアの情報のホントとウソ～テレビ、新聞、SNSの裏側を探る～」 ※新型コロナ対策により、当初予定の会場開催よりオンデマンド配信に切替 配信期間：7月2日(金)～18日(日) オンデマンド申込人数：14人/再生回数：24回 (2)「ワークショップで学ぶ、イラスト表現と多様性」 参加人数：8人/20人定員 ●【モアいずみ塾 3回目講座】 「雑誌・広告を読み解く」 開催日：11月17日(水) 参加人数：22人/定員：20人	1	3	1 1 1	「女性の人権」を切り口に、資料と映像を使ってメディア情報の読み解き方や、発信者側が選択する写真やイラスト表現、また雑誌や広告から見える女性像、ファッション、化粧などについてジェンダーの視点での読み解きを学ぶことで、市民のメディアリテラシーの向上のための学習機会を提供することができた。引き続き、講座を企画・実施し、メディア・リテラシーの向上を図る。	3	人権・男女参画室

事業番号	事業
36	性的感情、暴力性を助長するような有害図書・ビデオ及び喫煙・飲酒・薬物乱用等悪影響を及ぼすことについて大阪府と連携し、環境の改善を図ります。 ◆全小学校区での定期的な巡回パトロールの実施 ◆「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強化月間」の取組

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
青少年指導員協議会に対し、校区ごとに巡回パトロールの強化を依頼した。	青少年指導員協議会に対し、校区ごとに巡回パトロールの強化を依頼した。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を実施する。	2	生涯学習推進室
毎年7月の青少年の非行・被害防止全国強化月間にあわせ、青少年を非行から守る市民大会を開催し、啓発に取り組む予定をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。	毎年7月の青少年の非行・被害防止全国強化月間にあわせ、青少年を非行から守る市民大会を開催し、啓発に取り組む予定をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。	5	4	2	2	2	青少年の非行防止のため、今後も引き続き事業を行う。	2	生涯学習推進室

基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する 施策の方向 (6) 意思決定の場への女性の参画の推進

施策⑭ ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方

事業番号	事業
37	市民・事業者・行政等のあらゆる分野にポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方を導入し、男女共同参画を推進します。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方についての啓発 ◆町会等への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 189名(うち女性36名)	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 194名(うち女性39名)	1	1	1	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績(36名)を上回った。	1	人事課

<p>女性活躍推進法や男女雇用機会均等法について、大阪府のパンフレット等を配架し、周知を図った。</p>	<p>女性活躍推進法や男女雇用機会均等法について情報提供できるよう、関係機関が発行するパンフレット等を用意した。</p>	1	3	3	1	1	<p>女性活躍推進法や男女雇用機会均等法について関係機関が発行するパンフレット等を用意し、必要があれば情報提供を行う。</p>	2	<p>くらしサポート課</p>
<p>市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載を行い女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。庁内においては、審議会等委員選考前の各部署との「事前協議」にてポジティブ・アクションの考え方についての推進の強化を行った。</p>	<p>市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載を行い女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。庁内においては、審議会等委員選考前の各部署との「事前協議」にてポジティブ・アクションの考え方についての推進の強化を行った。</p>	1	2	1	1	1	<p>引き続き、あらゆる分野にポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方を導入することの重要性について啓発していく。</p>	2	<p>人権・男女参画室</p>
<p>毎年、校区長会議で「モアいずみフォーラム」の掲示について協力依頼しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から人権・男女参画室からの依頼は無かった。町会連合会に属する町会長 198人(うち女性 12人 男性186人)</p>	<p>12月17日に開催された校区長会議にて「モアいずみフォーラム」の掲示について各町会・自治会に対して協力依頼を行った。町会連合会に属する町会長 200人(うち女性22人 男性178人)</p>	2	3	2	2	2	<p>校区会長会議棟を通じ男女共同参画を啓発していく。</p>	2	<p>広報・協働推進室</p>
<p>社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な女性の登用に向けた説明を行った。(再掲Ⅱ-6-14-37) 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性7人、男性20人)計27人 和泉市青少年指導員協議会(女性0人、男性26人)計26人 和泉市子ども会育成連絡協議会(女性3人、男性12人)計15人 和泉市文化協会(女性20人、男性22人)計42人</p>	<p>社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な女性の登用に向けた説明を行った。(再掲Ⅱ-6-14-37) 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性7人、男性20人)計27人 和泉市青少年指導員協議会(女性0人、男性26人)計26人 和泉市子ども会育成連絡協議会(女性3人、男性12人)計15人 和泉市文化協会(女性20人、男性22人)計42人</p>	2	3	2	2	2	<p>今後も引き続き、各種団体に積極的な女性登用を啓発する。</p>	2	<p>生涯学習推進室</p>

施策⑮ 審議会等への女性の参画の推進

事業番号	事業
38	市の審議会等の附属機関や行政委員会等の女性委員の比率を、平成36(2024)年までのできるだけ早い時期に40%の達成をめざします。 ◆女性委員の参画率

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
①女性委員の登用についての庁内周知 令和2年4月に全庁に向け、女性委員の登用について通知を行った。(通知回数1回) ②事前協議の強化 和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について、事前協議を6か月前に行うよう期限を設け、一部改正を行うことにより、事前協議の強化を図った。(平成31年4月から実施) ③登用率40%以下の機関について登用率向上の強化を図るため委員選定経過報告書を作成し、それを基に協議を行った。	①女性委員の登用についての庁内周知 令和3年4月と11月に全庁に向け、女性委員の登用について通知を行った。(通知回数2回) ②事前協議の強化 和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について、事前協議を6か月前に行うよう期限を設け、一部改正を行うことにより、事前協議の強化を図った。(平成31年4月から実施) ③登用率40%以下の機関について登用率向上の強化を図るため委員選定経過報告書を作成し、それを基に協議を行った。	1	2	1 1 1	昨年より女性の登用率1.7%上昇した。引き続き、関係各課(室)へ働きかけを行い、目標を達成するよう協議強化に努める。 来年度は、女性委員の参画率が低い附属機関に対して、委員選定について報告書の提出を求め強化を図る。	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
39	女性委員がいない審議会等に対しては、『0から1』への働きかけを行い、女性委員のいない審議会等の解消をめざします。 ◆事前協議の強化

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
女性委員0人の審議会等は4件あった。事前協議の強化及び個別ヒアリングを実施し、次期の委員改選時には、委員選定時の基準の見直し等改善を促し、女性委員0人の解消を目指した。(参考令和元年度は3件)	女性委員0人の審議会等は4件あった。事前協議の強化及び個別ヒアリングを実施し、次期の委員改選時には、委員選定時の基準の見直し等改善を促し、女性委員0人の解消を目指した。また、人材情報提供サービスの案内も行った。	1	3	1 1 1	担当職員に対し、女性委員登用の趣旨を十分に理解してもらえよう年2回庁内通知をし、また事前協議の手法を検討していく。	3	人権・男女参画室

事業番号	事業
40	意思決定過程への女性の参画を推進するため、審議会等における委員の選出方法の見直しを進めます。 ◆先行市の取組研究

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
政策企画室と連携し、包括連携協定を締結する大学(桃山学院大学・大阪市立大学)への審議会等の委員委嘱手続きにおける「連携・交流申込書」に女性委員の登用について追記を行い、女性委員の登用促進を行った。	政策企画室と連携し、包括連携協定を締結する大学などへの審議会等の委員委嘱手続きにおける「連携・交流申込書」に女性委員の登用について追記を行い、女性委員の登用促進を行った。	1	3	1 1 1	桃山学院大学等との連携強化に努めることができ、女性委員の登用促進の趣旨を周知することができた。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
41	審議会委員等の委員の改選時は、男女共同参画所管部長との事前協議を行います。 ◆事前協議

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
審議会等の委員改選時には、事前協議にて女性委員の参画率40%をめざし協議を行った。また、登用率40%以下の機関について登用率向上の強化を図るため委員選定経過報告書を作成し、それを基に協議を行った。委員選出依頼文に、市の職員を選定する際の基準についての見直し、女性委員登用の主旨の記載をするよう依頼、また、充て職等委員構成の見直し依頼などを行った。 令和2年4月1日現在 登用率30.2%	審議会等の委員改選時には、事前協議にて女性委員の参画率40%をめざし協議を行った。また、登用率40%以下の機関について登用率向上の強化を図るため委員選定経過報告書を作成し、それを基に協議を行った。委員選出依頼文に、市の職員を選定する際の基準についての見直し、女性委員登用の主旨の記載をするよう依頼、また、充て職等委員構成の見直し依頼などを行った。 令和3年4月1日現在 登用率31.9%	1	2	1 1 1	登用率が低い附属機関に対し個別にヒアリングを実施し、人材提供サービスの案内をした。引き続き登用率向上に向け強化を図る。	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
42	女性が政治や政策・方針決定の場への参加・参画することの重要性について、市民に啓発します。 ◆市民啓発

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
和泉市男女共同参画推進市民実行委員会議及びネットワーク会議において、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発し、公募市民委員の応募促進を図った。 モアいずみ通信(令和2年9月発行)及び広報いずみ令和2年4月号及び令和3年1月号にて意思決定の場への女性の参画推進について市民に啓発を行った。	和泉市男女共同参画推進市民実行委員会議及びネットワーク会議において、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発し、公募市民委員の応募促進を図った。 モアいずみ通信(令和3年9月発行)及び広報いずみ令和3年6月号及び令和3年8月号にて意思決定の場への女性の参画推進について市民に啓発を行った。	1	2	1 1 1	引き続き、意思決定の場への女性の参画推進について啓発を行う。	1	人権・男女参画室

施策⑯ 女性職員・女性教員の管理職への登用

事業番号	事業
43	女性職員・教員の職務内容の見直しと職域の拡大を図ります。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆残業の見直し、サポート体制の整備 ◆人材育成、管理職候補者の育成についてヒアリングを行う。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において提案した。 管理的地位にある職員数 189名(うち女性36名)(再掲Ⅱ-6-14-37)	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において提案した。 管理的地位にある職員数 194名(うち女性39名)(再掲Ⅱ-6-14-37)	1	1	1 1 1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において提案することにより、前年度実績(36名)を上回った。	2	人事課

<p>長時間労働の是正など、仕事と家庭生活を両立しやすい職場づくりを進めるため、OJT研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図った。時間外勤務が多い部課の状況を定期的に確認し、削減に向けた働きかけを行った。</p> <p>・OJT研修(職階別研修) 対象 主任昇格対象者 参加人数 36人(男性11人 女性24人)</p>	<p>長時間労働の是正など、仕事と家庭生活を両立しやすい職場づくりを進めるため、OJT研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図った。時間外勤務が多い部課の状況を定期的に確認し、削減に向けた働きかけを行った。</p> <p>・OJT研修(職階別研修) 対象 主任昇格対象者 参加人数:24人(男性11人・女性13人)</p>	1	3	1	1	1	<p>OJT研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図ったほか、時間外勤務については昨年度と同程度の削減に成功した。</p>	3	人事課
<p>各校において、女性教職員が校務の中心となり、積極的に学校運営等に参画できる組織づくりと人材育成について取組むよう校長会等で指示した。 また、人事ヒアリングを通して女性管理職候補者の掘り起こしと育成について状況を把握し、必要に応じて指導・助言を行った。</p>	<p>各校において、女性教職員が校務の中心となり、積極的に学校運営等に参画できる組織づくりと人材育成について取組むよう校長会等で指示した。 また、人事ヒアリングを通して女性管理職候補者の掘り起こしと育成について状況を把握し、必要に応じて指導・助言を行った。</p>	2	3	1	1	1	<p>次年度の中学校の校長職において女性校長1名を配置することができた。また、首席・指導教諭についても少しずつ女性教員の割合が増えつつある。今後も女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルの、イメージをつかみやすくするため、引き続き女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。</p>	2	学校教育室

事業番号	事業								
44	<p>女性職員・教員及び管理職に対する研修(教育訓練)を充実します。 ◆女性リーダー養成のための研修 ◆係長級昇任試験の受験者数向上 ◆学校におけるミドルリーダー研修の実施</p>								

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
<p>女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、階層別研修に参加を促し、女性職員の意識改革やリーダーを育てる力の向上を図った。 ①テーマ:組織マネジメントについて学ぶ。 対象:管理職の職員264人(うち女性職員61名) 参加人数:190人(男女別未把握) ②テーマ:結果を出す組織を作るために、コミュニケーション力でリーダーシップを発揮し、また後輩育成に必要なOJT指導スキルを学ぶ。 対象:主任昇格対象者(39人(男性13人・女性26人) 参加人数:33人(男性11人・女性22人)</p>	<p>女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、階層別研修に参加を促し、女性職員の意識改革やリーダーを育てる力の向上を図った。 ①テーマ:管理職に必要な能力や知識について学ぶ。 対象:管理職の職員268人(うち女性職員63名) 参加人数:171人(男女別未把握) ②テーマ:結果を出す組織を作るために、コミュニケーション力でリーダーシップを発揮し、また後輩育成に必要なOJT指導スキルを学ぶ。 対象:主任昇格対象者(31人(男性14人・女性17人) うち参加人数:24人(男性11人・女性13人)</p>	1	3	1	1	1	<p>職階毎にマネジメントやリーダーシップなどにおいて必要な能力の取得を促すことで、施策の推進に寄与した</p>	3	人事課

<p>係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験ハードルを下げるために、試験内容に即したe-ラーニング(地方自治法・地方公務員法)の貸出を行った。</p> <p>令和2年度対象者 216名(うち女性職員 129名) 受験者 58名(うち女性職員 13名) 受験率 26.9%(うち女性職員 10.1%)</p>	<p>係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験ハードルを下げるために、試験内容に即したe-ラーニング(地方自治法・地方公務員法)の貸出を行った。</p> <p>令和3年度対象者 221名(うち女性職員 130名) 受験者 64名(うち女性職員 16名) 受験率 29.0%(うち女性職員 12.3%)</p>	1	2	1	1	<p>今後の対応として、係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように、合格者(男女各1名)の体験談を取り入れた説明会を開催し、受験ハードルを下げるために、試験内容に即したe-ラーニング(地方自治法・地方公務員法)の貸出、参考問題集等の紹介を行う。</p>	1	人事課
<p>女性教員の管理職選考の受験者を増やすため、校長会や学校訪問時および人事ヒアリング等を通じて、呼びかけを行った。</p> <p>昨年度は、「ミドルリーダー研修」の一環として、学校教育室内他部署と連携し「学年主任研修」を実施した。複数の女性教員の参加があった。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を見送らざるを得なかった。</p>	<p>女性教員の管理職選考の受験者を増やすため、校長会や学校訪問時および人事ヒアリング等を通じて、呼びかけを行った。</p> <p>「ミドルリーダー研修」については、今年度は実施できなかった。</p>	5	4	1	1	<p>本研修については新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し実施できなかった。次年度も、新型コロナウイルス感染状況を踏まえつつ、各学校の校内研修や修学旅行等の学校行事と重なりにくい2学期後半に複数日設定し、参加しやすいような配慮を行う予定である。今後も女性教員の参加率の向上に向け、ミドルリーダーとしての自覚を育てよう校長会等で周知する。</p>	2	学校教育室

事業番号	事業
45	<p>管理職への女性職員・教員の登用比率を高めるため、数値目標を掲げ、その達成をめざします。 ◆女性職員の管理職登用 ◆女性教職員の管理職任用を積極的推進</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	成果・課題・今後の対応	担当課	
<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。</p> <p>管理的地位にある職員数 189名(うち女性36名)(再掲Ⅱ-6-14-37)</p>	<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。</p> <p>管理的地位にある職員数 194名(うち女性39名)(再掲Ⅱ-6-14-37)</p>	1	1	1	1	<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績(36名)を上回った。</p>	2	人事課

<p>和泉市立学校教職員人事基本方針の中に「女性教職員の管理職任用を積極的に推進する」と明記していることを踏まえて、校長会等において積極的に働きかけを行い推進を図った。</p> <p>また、学校訪問時に女性教員の積極的な学校運営への参加を促し、管理職への意識づけを行うことを指示した。</p> <p>さらに、教育長による校長面談に、OJTや「教職員の評価・育成システム」等を活用して女性教員の計画的な育成を指示した。</p> <p>R2年度 女性校長(小:1名 中:0名) 女性教頭(小:8名 中:1名)</p>	<p>和泉市立学校教職員人事基本方針の中に「女性教職員の管理職任用を積極的に推進する」と明記していることを踏まえて、校長会等において積極的に働きかけを行い推進を図った。</p> <p>また、学校訪問時に女性教員の積極的な学校運営への参加を促し、管理職への意識づけを行うことを指示した。</p> <p>さらに、教育長による校長面談に、OJTや「教職員の評価・育成システム」等を活用して女性教員の計画的な育成を指示した。</p> <p>R3年度 女性校長(小:3名 中:0名) 女性教頭(小:6名 中:1名)</p>	2	3	1	1	1	<p>女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルの、イメージをつませる。そのため引き続き女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。</p> <p>また、力量のある若い女性教員については、主任等の主要なポストに充てるなどし、意識づけを行う。</p> <p>加えて、学校訪問の際は、女性管理職候補者について学校長と情報共有を密にする。</p>	3 学校教育室
--	--	---	---	---	---	---	--	---------

施策⑩ 事業所や地域における意思決定の場への女性の参画促進

事業番号	事業
46	<p>事業者等に対し、女性の活力があってこそその経済成長であるとの認識に立って、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の導入等、女性の採用・管理職の登用の重要性について啓発します。</p> <p>◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知</p> <p>◆事業者への積極的な情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>女性の採用・管理職の登用等、大阪府のパンフレット等を配架し、周知を図った。</p>	<p>女性の採用・管理職の登用等について情報提供できるよう、関係機関が発行するパンフレット等を用意した。</p>	2	3	3	1	1	<p>女性の採用・管理職の登用等について関係機関が発行するパンフレット等を用意し、必要があれば情報提供を行う。</p>	2	くらしサポート課	
<p>事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、双方から情報を発信した。 市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載し、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。</p>	<p>事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、双方から情報を発信した。 市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載し、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。</p>	1	3	3	1	1	<p>引き続き情報収集に努める。連携しながら発信する。</p>	2	人権・男女参画室	

事業 番号	事 業
47	<p>地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。</p> <p>◆町会等への働きかけ(Ⅱ-6-14-37再掲) ◆老人クラブ連合会への働きかけ</p> <p>◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発する。</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>毎年、校区長会議で「モアいずみフォーラム」の掲示について協力依頼しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から人権・男女参画室からの依頼は無かった。</p> <p>町会連合会に属する町会長 198人(うち女性 12人 男性186人) (再掲Ⅱ-6-14-37)</p>	<p>12月17日に開催された校区長会議にて「モアいずみフォーラム」の掲示について各町会・自治会に対して協力依頼を行った。</p> <p>町会連合会に属する町会長 200人(うち女性22人 男性178人)</p>	2	3	2	2	2	<p>校区会長会議棟を通じ男女共同参画を啓発していく。</p>	2	広報・協働推進室
<p>老人クラブの若手会員を対象とする、高齢者の健康等生きがいづくりを推進するリーダーを育成を目的とするシニアクラブ大阪健康づくり大学校講座に参加した。</p> <p>男性1名、女性1名</p> <p>令和2年度老人クラブ連合会役員数:男性31名、女性5名、計36名</p>	<p>老人クラブの若手会員を対象とする、高齢者の健康等生きがいづくりを推進するリーダーを育成を目的とするシニアクラブ大阪健康づくり大学校講座に参加した。</p> <p>男性1名、女性1名</p> <p>令和3年度老人クラブ連合会役員数:男性28名、女性5名、計33名</p>	2	2	1	1	1	<p>引き続き啓発及び研修の機会を提供していく。</p>	2	高齢介護室
<p>社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な女性の登用にに向けた説明を行った。</p> <p>(再掲Ⅱ-6-14-37)</p> <p>【役員人数】</p> <p>和泉市PTA協議会(女性7人、男性20人)計27人</p> <p>和泉市青少年指導員協議会(女性0人、男性26人)計26人</p> <p>和泉市子ども会育成連絡協議会(女性3人、男性12人)計15人</p> <p>和泉市文化協会(女性20人、男性22人)計42人</p>	<p>社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な女性の登用にに向けた説明を行った。</p> <p>(再掲Ⅱ-6-14-37)</p> <p>【役員人数】</p> <p>和泉市PTA協議会(女性7人、男性20人)計27人</p> <p>和泉市青少年指導員協議会(女性0人、男性26人)計26人</p> <p>和泉市子ども会育成連絡協議会(女性3人、男性12人)計15人</p> <p>和泉市文化協会(女性20人、男性22人)計42人</p>	2	3	2	2	2	<p>今後も引き続き、各種団体に積極的な女性登用を啓発する。</p>	2	生涯学習推進室

施策⑩ 女性の人材育成

事業番号	事業
48	行政や地域で活躍できるよう人材を育成します。 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課			
男女共同参画の視点で社会のさまざまな課題やトピックスについて、テーマ別で講師をお迎えし、地域や職場等、あらゆる場面に参画できるリーダー的役割を担い、社会のニーズに応じたさまざまな課題解決につながる人材育成を目的として、和泉市男女共同参画推進市民実行委員会とモアいずみの共催で下記の内容で実施 モアいずみ塾 『『Go To モアいずみ！！』覗いてみよう！身近な問題・知らない世界！(連続5回シリーズ)』 開催日：1月15日(金)、1月23日(土)、1月29日(金)、2月5日(金)、2月12日(金) 定員30人/申込人数 33人/参加者数 30人/延べ参加人数124人	男女共同参画の視点で社会のさまざまな課題やトピックスについて、テーマ別で講師をお迎えし、地域や職場等、あらゆる場面に参画できるリーダー的役割を担い、社会のニーズに応じたさまざまな課題解決につながる人材育成を目的として、和泉市男女共同参画推進市民実行委員会とモアいずみの共催で下記の内容で実施 モアいずみ塾 『『Go To モアいずみ Part2』覗いてみよう！身近な問題・知らない世界！(連続5回)』 開催日：11月7日(日)、11月11日(木)、11月17日(水)、12月11日(土)、12月19日(日) 定員 20人/申込人数 21人/延べ参加人数89人	1	1	1	1	1	1	今年度はグループワークを取り入れながら、より多くの市民を対象に地域で活躍できる人材を育成するために、男女共同参画推進市民実行委員会とともに、様々な内容を企画し、モアいずみ塾として実施した。来年度も引き続き、上記の形を継承しつつ実施していく。	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
49	女性のさらなるエンパワメントをめざす講座を実施します。 ◆モアいずみ(男女共同参画センター)で講座・講演会等の実施

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課			
心を元気にするアンガーマネジメント 開催日：①12月2日(水)、②12月16日(水) ①「イライラ、ムカッの正体を知ろう」 参加人数：18人/20人定員 ②「失敗しない怒りの伝え方を知ろう」 参加人数：14人/20人定員	●自分でできるココロのメンテナンス～私が見つかる大切なわたし～【オンライン講座】開始日：①6月5日(土)、②6月12日(土)、6月19日(土) ①自己尊重感を高めるってどういこと？ 参加人数：4人/20人定員 ②ココロのメンテナンス体感ワークショップ 参加人数：6人/20人定員 ③私が見つかる、大切な「わたし」のこと 参加人数：6人/20人定員 ●自分でできるココロのメンテナンス～春に向けて心を整えよう～ 開始日：①2月17日(木)、②2月24日(木)、3月3日(木)①私が見つかる大切なわたし 参加人数：15人/20人定員②わたしの思いを伝えるさわやかな表現 参加人数：19人/20人定員③わたしを守る10の言葉 参加人数：17人/20人定員 ●働く女性のセルフケア講座 カラダほぐしココロほぐし 開始日：①7月7日(水)、②7月16日(金)、7月28日(水)①めぐりヨガ 参加人数：10人/12人定員②ここに効くツボ～東洋医学でセルフケア～ 参加人数：12人/12人定員③アロマセラピー・呼吸法・ウォーキング 参加人数：11人/12人定員 ●ワークショップ 女性のためのライター講座～人の輪ひろがるフリーペーパーづくり～ 開催日：①7月8日(木)、②7月15日(木)①「フリーペーパーづくり体験」参加人数：11人/20人定員②「インタビュー(取材)をやってみよう！」参加人数：9人/20人定員 ●毎日がちよっと楽になる 女性のための話し方講座 開催日：①8月25日(水)、②9月8日(水)①「自分も相手も大切にしたい自己表現～アサーショントレーニング～」参加人数：19人/20人定員 ②「わたしを素敵にする声磨き」参加人数：14人/20人定員	1	1	1	1	1	1	自らの視点を持ち、表現・発信する力を身につけたり、働く女性が心身ともに健康で長く働き続けるためのセルフケアを学ぶことで、女性に対するエンパワメントができた。引き続き、エンパワメント講座を実施する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
50	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の修了生や男女共同参画センター登録団体が、地域活動で活躍している状況等を通して、女性リーダーを発掘し、審議会委員等として活躍してもらえるように働きかけます。 ◆審議会等の市民委員への応募の働きかけ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)で開催されるネットワーク会議(書面開催)でモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)登録団体に対し、随時審議会等の市民公募委員等に募集するよう働きかけを行った。	モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)で開催されるネットワーク会議でモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)登録団体に対し、随時審議会等の市民公募委員等に募集するよう働きかけを行った。	1	3	1 1 1	意思決定の場への参画推進についての意識醸成に努め、引き続き働きかけを行う。	2	人権・男女参画室

施策の方向(7) 男女共同参画で進める就労支援

施策⑱ 男女が共に働きやすい職場づくりのための支援

事業番号	事業
51	男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の紹介をします。 ◆事業者の事例紹介

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
下記の内容で1事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があったが、自社で研修の資料を用意したため派遣事業は中止 研修会等の名称: 職員の資料回覧による研修 研修会等のテーマ及び分野: パワーハラスメント・セクシャルハラスメント	下記の内容で2事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があり、講師を派遣した。 ①7月27日(火) 研修会等の名称: ハラスメント学習会 研修会等のテーマ及び分野: 各種ハラスメントについて ②11月16日(火) 研修会等の名称: 働きやすい職場作り～ハラスメントをしないために～ 研修会等のテーマ及び分野: 2020年6月の労働施策総合推進法の改正施行により、策定されたガイドライン(パワハラ)の具体的な定義、雇用管理上の措置の具体的な内容)等各種ハラスメントについて 和泉市男女共同参画推進講師派遣事業について商工会議所等と連携して「いずみ会議所だより」にて周知を行った。 また、くらしサポート課労働政策係とも連携し、「企業人権協議会ニュース」でも周知を行った。	1	2	1 1 1	引き続き、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」を利用し、より多くの事業者が研修会を実施できるよう支援する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
52	市の「男女共同参画推進事業者等事業助成制度」や国の「両立支援等助成金」の周知を積極的に行います。本市の事業助成について、推進事業のための支援をします。 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>下記の内容で1事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があったが、自社で研修の資料を用意したため派遣事業は中止 研修会等の名称:職員の資料回覧による研修 研修会等のテーマ及び分野:パワーハラスメント・セクシャルハラスメント (再掲Ⅱ-7-19-51)</p>	<p>下記の内容で2事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があり、講師を派遣した。 ①7月27日(火) 研修会等の名称:ハラスメント学習会 研修会等のテーマ及び分野:各種ハラスメントについて ②11月16日(火) 研修会等の名称:働きやすい職場作り～ハラスメントをしないために～ 研修会等のテーマ及び分野:2020年6月の労働施策総合推進法の改正施行により、策定されたガイドライン(パワハラ)の具体的な定義、雇用管理上の措置の具体的な内容)等各種ハラスメントについて</p> <p>和泉市男女共同参画推進講師派遣事業について商工会議所等と連携して「いずみ会議所だより」にて周知を行った。 また、くらしサポート課労働政策係とも連携し、「企業人権協議会ニュース」でも周知を行った。 (再掲Ⅱ-7-19-51)</p>	1	2	1	1	1	<p>引き続き、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」を利用し、より多くの事業者が研修会を実施できるよう支援する。</p>	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
53	<p>男女雇用機会均等法や労働基準法、育児・介護休業法等、労働に関する法律や制度に関する情報の周知を図ります。</p> <p>◆法律や制度に関する情報の周知 ◆事業者への積極的な情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった				
男女雇用機会均等法や労働基準法、労働に関する法律や制度について、大阪府のパンフレット等を配架し周知を図り、適切な窓口への案内等も行った。	男女雇用機会均等法や労働基準法、労働に関する法律や制度について、関係機関が発行するパンフレット等を用意し、適切な窓口への案内等も行った。	1	3	3	1	1	男女雇用機会均等法や労働基準法、労働に関する法律や制度について、関係機関が発行するパンフレット等を用意し、適切な窓口への案内等を行う。	2	くらしサポート課	
事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、双方から情報を発信した。市ホームページでは、女性活躍「見える化」サイトの掲載や、大阪府女性活躍推進月間(9月)に加え、ワーク・ライフ・バランスについても掲載し、啓発を行った。また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」をホームページに掲載し、労働に関する法律や制度性の情報の周知を行った。	事業者に対する国・府からの情報については、くらしサポート課労働政策係と連携し、双方から情報を発信した。市ホームページでは、女性活躍「見える化」サイトの掲載や、大阪府女性活躍推進月間(9月)に加え、ワーク・ライフ・バランスについても掲載し、啓発を行った。また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」をホームページに掲載し、労働に関する法律や制度性の情報の周知を行った。	1	3	1	1	1	引き続き、国や府からの情報収集に努め、くらしサポート課労働政策係と連携しながら発信していく。	2	人権・男女参画室	

事業番号	事業
54	男女雇用機会均等法の定着を図る中で、企業・団体等においてセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止の研修の重要性を働きかけます。 ◆セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止研修会の実施 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課	
関係機関が実施する各種ハラスメント・女性活躍・ワークライフ・バランスなどについての出前講座情報を企業・団体等へ提供した。	関係機関が実施する各種ハラスメント・女性活躍・ワークライフ・バランスなどについての講座情報を企業・団体等へ提供した。	1	3	3	1	3	2	くらしサポート課
人権・男女参画室及びモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)でセクシュアル・ハラスメント等のDVDや書籍の貸出を行ったが、貸出件数は2件だった。	人権・男女参画室及びモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)でセクシュアル・ハラスメント等のDVDや書籍の貸出を行ったが、貸出件数は2件だった。	1	3	1	1	1	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
55	男女の均等な雇用の機会と待遇確保が実現されるよう「男女雇用機会均等月間」等の周知に努めます。 ◆「男女雇用機会均等月間」等の周知 ◆「男女雇用機会均等月間」等についての周知

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課	
男女雇用機会均等月間等について大阪府のパンフレット等を配架し、周知を行った。	男女雇用機会均等月間等について情報提供できるよう、関係機関が発行するパンフレット等を用意した。	1	3	3	1	3	2	くらしサポート課

商工労働室と連携し、情報提供する。 モアいずみの掲示板に男女雇用機会均等法等の情報を掲示し、周知を行った。	くらしサポート課と連携し、情報提供する。 モアいずみの掲示板に男女雇用機会均等法等の情報を掲示し、周知を行った。	1	3	2	1	1	令和2年度はホームページに掲載できなかった。来年度は啓発ページを作成し周知に努める。	2	人権・男女参画室
--	---	---	---	---	---	---	--	---	----------

事業番号	事業
56	様々な媒体を通じて、仕事と育児・介護の両立支援制度や女性の管理職を増やすポジティブ・アクション(積極的改善措置)等、女性の就労継続のための情報を提供します。 ◆女性の就労継続のための情報提供

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課		
【再就職チャレンジ支援講座】 「女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) 開催日：①12月3日(木)、②12月10日(木)、③12月17日(木) ①「withコロナで変える？変わる？私の働き方」 参加人数：22人/20人定員 ②「103万・130万・150万円の壁を知ろう ～知らないと損する扶養・保険・税金・年金の話～」 参加人数：21人/20人定員 ③「就職準備セミナー～今、できること～」 参加人数：16人/20人定員 また、モアいずみ通信6月号で「ポジティブ・アクション(積極的改善措置)」についての記事を掲載した。	【再就職チャレンジ支援講座】 ●「アラフォー&アラフィフのためのお仕事応援セミナー」 開催日：①4月14日(水)、②4月21日(水) ①「自分を後回しにしない！ライフキャリアシートで見直すわたしの生き方」 参加人数：18人/20人定員 ②「働き方は人それぞれ、わたしにできることから始めてみよう」 参加人数：20人/20人定員 ●「20・30・40代女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) 開催日：①12月2日(木)、②12月9日(木)、③12月16日(木) ①「もう一度働く、その前に。わたしのキャリアを自己分析」 参加人数：16人/20人定員 ②「働く女性が知っておきたい 税金・年金・保険・扶養の話」 参加人数：16人/20人定員 ③「応募書類の書き方と面接対策」 参加人数：16人/20人定員 ●「転職カフェ with school 5 m m 動くと見えてくるものがある」 開催日：2月5日(土) 参加人数：8人/20人定員 モアいずみ通信10月号にて、「仕事と育児・介護の両立」に向けた国の取り組みの情報提供を行った。	1	2	1	1	1	くらしサポート課とハローワークと連携し、40,50代と20～40代女性と対象を分けて女性のための再就職支援チャレンジ講座を2回実施し、女性の就労継続のための情報提供を行った。また、20代から40代女性の働き方について考えることを目的に、さまざまな立場である受講者同士がゆるやかにつながる転職カフェを実施した。今後も引き続き、女性の就労支援に取り組む。	1	人権・男女参画室

施策⑩ 女性の就労支援

事業番号	事業
57	出産等で離職した女性や起業等をめざす女性を支援するため、講座や能力開発のための講習等を実施します。 ◆若者支援セミナー・職業能力開発事業 ◆再就職チャレンジ支援講座の実施

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。
 5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
若者支援セミナーの参加者76名のうち女性は51名。職業能力開発講習会の介護職員初任者研修講習会は参加者10名全員女性、医療事務医科講習会は参加者8名全員女性、工場作業におかかる技能講習会は参加者14名のうち女性は1名。 また、ハローワーク泉大津、男女共同参画担当と連携し、「女性のためのお仕事応援セミナー」を実施。うち労働政策担当の「103万・106万・130万円の壁を知らう～知らないと損する扶養・保険・税金の話～」には21名の女性が参加。	若者支援セミナーの参加者38名のうち女性は14名。また、ハローワーク泉大津、男女共同参画担当と連携し、「20・30・40代女性のためのお仕事応援セミナー」を実施。うち労働政策担当の「働く女性が知っておきたい扶養・保険・税金・年金の話」には21名の女性が参加。	2	1	1	2	3	女性の就職等に繋がるような講習会を調査し、実施していく。	2	くらしサポート課
【再就職チャレンジ支援講座】 「女性のためのお仕事」応援セミナー(3回) 開催日:①12月3日(木)、②12月10日(木)、③12月17日(木) ①「withコロナで変える?変わる?私の働き方」 参加人数:22人/20人定員 ②「103万・130万・150万円の壁を知らう～知らないと損する扶養・保険・税金・年金の話～」 参加人数:21人/20人定員 ③「就職準備セミナー～今、できること～」 参加人数:16人/20人定員	【再就職チャレンジ支援講座】 ●「アラフォー＆アラフィフのためのお仕事応援セミナー」 開催日:①4月14日(水)、②4月21日(水) ①「自分を後回しにしない!ライフキャリアシートで見直すわたしの生き方」 参加人数:18人/20人定員 ②「働き方は人それぞれ、わたしにできることから始めてみよう」 参加人数:20人/20人定員 ●「20・30・40代女性のためのお仕事」応援セミナー(3回) 開催日:①12月2日(木)、②12月9日(木)、③12月16日(木) ①「もう一度働く、その前に。わたしのキャリアを自己分析」 参加人数:16人/20人定員 ②「働く女性が知っておきたい 税金・年金・保険・扶養の話」 参加人数:16人/20人定員 ③「応募書類の書き方と面接対策」 参加人数:16人/20人定員 「転職カフェ with school 5 m m 動くと見えてくるものがある」 開催日:2月5日(土) 参加人数:8人/20人定員	1	3	1	1	1	くらしサポート課とハローワークと連携し、40.50代と20～40代女性と対象を分けて女性のための再就職支援チャレンジ講座を2回実施し、女性の就労継続のための情報提供を行った。また、20代から40代女性の働き方について考えることを目的に、さまざまな立場である受講者同士がゆるやかにつながる転職カフェを実施した。今後も引き続き、女性の就労支援に取り組む。	3	人権・男女参画室

事業番号	事業
58	和泉市無料職業紹介センターにおける女性に対する職業紹介や相談、情報提供を充実します。 ◆和泉市無料職業紹介センター事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
性別に関らず求職者の生活様式やニーズに添った職業紹介や情報提供を行った。相談件数1,501件のうち662人が女性で、女性の就職者数は46人であった。	性別に関らず求職者の生活様式やニーズに添った職業紹介や情報提供を行った。相談件数1,542件のうち663人が女性で、女性の就職者数は62人であった。	1	3	1 2 3	性別に関わらず、その人に合った就職ができるよう情報提供や職業紹介等を行なう。	3	くらしサポート課

事業番号	事業
59	ハローワークとの連携を図り、職業相談、紹介の情報提供を積極的に行います。 ◆就職情報フェア事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
新型コロナウイルス感染症拡大により就職情報フェアを実施せず	就職情報フェアとして、オンライン合同就職説明会を8月に実施。出展企業23社、参加登録者114人、面接件数4件、就職件数2件。	2	1	3 3 2	就職情報フェアとして合同就職面接・説明会を実施する。	1	くらしサポート課

事業番号	事業
60	<p>起業しようとしている市民に対して、セミナーや相談窓口の情報の周知を図ります。</p> <p>◆大阪地域職業訓練センター等、相談窓口の情報提供(令和2年度から)若者支援セミナー(令和元年度まで)</p> <p>◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施</p> <p>◆セミナーや相談窓口の情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
・ファイナンシャルプランナーによる保険や税金の知識等、起業に役立つセミナーを開催するとともに、起業に関するセミナー等の案内を窓口配架した。	大阪地域職業訓練センター等が実施する起業に役立つセミナーや相談窓口について情報提供できるようチラシ等を用意した。	2	3	3	2	1	大阪地域職業訓練センター等が実施する起業に役立つセミナーや相談窓口についてのパンフレット等を用意し、必要があれば情報提供を行う。	2	くらしサポート課
年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・令和2年4月1日から令和3年3月31日 相談等の総件数614件(見込)うち女性を含んだ件数83件(見込)	年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・令和3年4月1日から令和4年3月31日 相談等の総件数531件 うち女性を含んだ件数109件	2	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	産業振興室
モアいずみ(男女共同参画センター)で実施する再就職チャレンジ支援講座の受講生に対して、くらしサポート課のセミナーの情報を提供し、モアいずみが開催する再就職チャレンジ支援講座の実施についてくらしサポート課やハローワークへ情報提供を行った。	モアいずみ(男女共同参画センター)で実施する再就職チャレンジ支援講座の受講生に対して、くらしサポート課のセミナーの情報を提供し、モアいずみが開催する再就職チャレンジ支援講座の実施についてくらしサポート課やハローワークへ情報提供を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
61	<p>自営業等に従事する市民を対象に相談・指導、場所の提供等の情報提供を行います。</p> <p>◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施(Ⅱ-7-20-60再掲)</p> <p>◆女性就労のため相談・指導・情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催</p> <p>・令和2年4月1日から令和3年3月31日 相談等の総件数614件(見込) うち女性を含んだ件数83件(見込)</p>	<p>年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催</p> <p>・令和3年4月1日から令和4年3月31日 相談等の総件数531件 うち女性を含んだ件数109件</p>	2	3	1 1 1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	産業振興室
1件女性から新規就農に関する相談があった。	就農相談は何件かあったが、女性の新規就農はなかった。	2	3	1 1 1	来年度以降も引き続きつど相談に応じる。	3	産業振興室

事業番号	事業
62	<p>農業の重要な担い手として、農業女性の資質の向上を図るため、農業女性活動組織の育成・支援を行います。</p> <p>◆農業経営担い手育成事業 ◆和泉ファームステイ</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>事業案内のホームページに女性が作業している写真を掲載するなど、より女性が参加しやすいように配慮した。</p> <p>和泉農業担い手塾参加者17名(男性14:女性3)</p>	<p>大阪府から女性の講師に来ていただくなど、より女性が参加しやすいように配慮した。</p> <p>和泉農業担い手塾参加者15名(男性12:女性3)</p>	2	3	1 1 1	来年度以降も引き続き事業を行う。	3	産業振興室

事業案内のホームページに女性が作業している写真を掲載するなど、より女性が参加しやすいように配慮した。 ファームステイ参加者5名(男性4名:女1名)	ビニールハウスでの火災注意や秋の農作業安全運動など、府から案内がある農業情報を、男女問わずエコ農産物生産者に通知した。	2	3	1	1	1	来年度以降も機会があれば情報提供を続けていく。	3	産業振興室
--	---	---	---	---	---	---	-------------------------	---	-------

事業番号	事業								
63	高齢者に対する経済的自立に向けた就労の機会の拡大と、雇用の安定を企業等に働きかけます。 ◆求人開拓事業 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施								

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
高齢者に対する経済的自立に向け、対象者にあった求人情報を収集し紹介した。また、市内企業等に対して就労機会の拡大と、雇用の安定の働きかけを行なった。	高齢者の経済的自立に向け、求職者に合った求人情報を収集し紹介した。また、市内企業等に対して就労機会の拡大の働きかけを行なった。	2	1	2	3	3	高齢者向けの求人など、ニーズにあった求人情報を収集し、提供していく。	2	くらしサポート課
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。令和2年度シルバー人材センターの会員数 1,764人(うち、女性565人)	補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。	2	2	1	1	1	引き続き啓発及び研修の機会を提供していく。	1	高齢介護室

施策の方向 (8) 男女共同参画で進める地域づくり

施策⑱ 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援

事業番号	事業
64	若者、働き盛り世代、定年を迎えた世代等が地域活動に参加するきっかけをつかめるよう、学習や交流の場の充実を図るとともに、情報提供を工夫します。 ◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業 ◆成人教室の内容の充実と情報提供の工夫

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
アイ・あいロビー教室 毎月第3土曜日開催 参加者71名 普通救命講習会 毎月第1日曜日開催 参加者9名 ボランティア・市民活動ミニ交流サロン 令和2年9月15日参加者20名 ボランティア・市民活動フェスティバル代替イベント 令和2年11月15日開催、参加者60名 ボランティア・市民活動ステップアップ講座 令和3年2月13日開催 参加者15名	親子福祉体験講座 令和3年8月19日開催 参加者3名 ボランティア・市民活動入門講座 令和3年9月29日開催 参加者19名 ボランティア・アドバイザー養成講座 令和3年10月22・29日開催 参加者1名 災害ボランティア講座 令和4年1月29日開催 参加者33名 NPO・市民活動支援講座 令和4年2月5日開催 参加者22名 ボランティア・市民活動ステップアップ講座 令和4年3月5日開催 参加者29名 普通救命講習会 毎月第1日曜日開催 参加者3名 アイ・あいロビー教室 毎月第3土曜日開催 参加者98名 夏休み親子ふれあい日帰りキャンプ 令和3年8月7日開催 参加者102名 和泉ボランティア・市民活動フェスタ 令和3年11月6日開催、参加者1000名 市民ラウンドテーブル「おしゃべりカフェ」 10回開催 参加者86名 ボランティア・市民活動交流サロン 令和4年2月15日参加者65名	2	2	3	1	1	昨年度と比較し数字が伸びているのは、新型コロナウイルスの小康状態に開催できたボランティア市民活動で集客が伸びたことがある。今後も感染対策を検討しながら、男女参画社会の実現に寄与するために事業を継続する。	1	広報・協働推進室
広報いずみやホームページでの紹介のみならず、各種講座開催の際に情報の提供を行った。今年度は20代から70代まで幅広い年齢層が教室に参加した。	広報いずみやホームページでの紹介のみならず、各種講座開催の際に情報の提供を行った。今年度は10代から70代まで幅広い年齢層が教室に参加した。	2	1	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習推進室

事業 番号	事 業
65	男女が共に担う地域活動に関する支援制度の強化、充実を図ります。 ◆和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
<p>ボランティア団体やNPO法人といった市民活動団体が行う事業に対して、市民のみなさんが支援したいこれらの事業を行う団体を選択し、市へ届出をすることにより、その選択届出数に応じて市がその市民活動団体の実施する事業へ支援金を交付する。令和2年度は37団体。投票率13.2%</p> <p>市民活動団体からの様々な意見や届出率の低迷、また、支援金に比べ事務経費が高額であるなど多くの課題が見えてきたことから、制度自体の見直しを行い、和泉市市民活動推進支援事業を制定いたしました。</p>	<p>推進支援金のエントリーがあった団体について、審査会を実施した。当初、審査会ではエントリー団体が面談の出席または公開プレゼンを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染の影響により実施できず、書類審査となった。</p>	2	1	3	1	1	<p>エントリー団体の面談の出席・公開プレゼンが実施できなかったため、4年度は感染状況も考慮のうえそれらが実施できるよう図る。</p>	1	広報・協働推進室
<p>令和2年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体</p> <p>①モア21「パパと一緒に発酵食品づくり！自家製大豆で白みそを作ろう」 「お父さんと楽しむ わくわく科学実験 細胞って何だろう？<生物と細胞>の研究」 ※大阪モデルレッドステージおよび緊急事態宣言発令に伴い中止</p> <p>②NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学ぼう♪わたしと子どものための「性」講座」</p>	<p>令和3年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体</p> <p>①和泉ここあり「労協法で新しい働き方～女性視点で思いを形にしよう～」 ②NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学ぼう♪自分のための「性」講座(中学生)」「ちゃんと学ぼう♪わたしと子どものための「性」講座(一般)～自分を大切に、相手のことも大切にするために～」</p>	1	3	1	1	1	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、今年度も募集が少なかったが、初めて申請した団体もあり、事業を実施した団体は男女共同参画の視点を持って実施することができた。助成金制度については、引き続き積極的に周知し、目標達成に努める。</p>	3	人権・男女参画室

事業番号	事業
66	PTA、子ども会、自治会、地域ボランティア等の活動に、男女が共に参加・参画できるよう啓発します。 ◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業 ◆和泉市PTA協議会・子ども会育成連絡協議会への情報提供 ◆地域福祉推進事業

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
ボランティア登録数75人(女性50人:男性25人) 令和3年3月31日現在。	ボランティア(個人)登録数73名(女性53名:男性20名) 令和4年3月31日現在。	2	3	3	1	1	ボランティア(個人)登録数による、男性比率は約27%(女性比率73%)となっており、今後も目標値に向け取り組む。	3	広報・協働推進室
毎年「モアいずみフォーラム」について、各種団体へ情報提供を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から人権・男女参画室からの依頼が無かった。	毎年「モアいずみフォーラム」について、各種団体へ情報提供を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から人権・男女参画室からの依頼が無かった。	5	4	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習推進室
各地域の福祉課題について話し合い、課題解決に向けての検討を行いました。10校区で合計23回協議の場を開催した。【黒鳥(1回)、芦部(3回)、南池田(1回)、南松尾はつが野(2回)、信太(1回)、鶴山台南(1回)、鶴山台北(1回)、緑ヶ丘(7回)、光明台南(3回)、南横山(3回)】	各地域の福祉課題について話し合い、課題解決に向けての検討を行った。5校区で合計13回協議の場を開催した。【緑ヶ丘(7回)、光明台南(2回)、南松尾はつが野(2回)、南池田(1回)、北松尾(1回)】	2	3	3	2	2	令和2年度に引き続きコロナ禍の影響により、協議の場の開催校区、回数が減少したが、コロナ禍でもできる活動を検討し感染症対策を講じた高齢者の声掛け見守り訓練やチャットアプリを活用した見守りを実施した。 次年度は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、コロナ禍だからすすめること、コロナ禍でもすすめていけないといけなことを整理し、福祉・災害・移動など地域からのニーズに対応できるようアプローチしていく。	3	福祉総務課

施策② 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備

事業 番号	事 業
67	子育て中の家族、高齢者、障がいのある人、在住外国人等様ざまな人々のニーズの違いを反映した防災・災害復興対策を推進するために、自主防災組織や町会・自治会等に女性の参画を促進します。 ◆市民防災啓発事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課	
出前講座の内容については、避難所運営ゲームやクロスロードゲームを通じて女性視点の重要性を講義した。特に避難所運営を実施する際には女性や子育てに配慮した避難所の開設が必要となるため、運営組織への女性参画は必要不可欠であることを盛り込んだ。 令和2年度5回開催(295人参加)	出前講座の内容については、避難所運営ゲームやクロスロードゲームを通じて女性視点の重要性を講義した。特に避難所運営を実施する際には女性や子育てに配慮した避難所の開設が必要となるため、運営組織への女性参画は必要不可欠であることを盛り込んだ。	2	3	1	1	1	多くの町会・自治会に対して自助・共助の重要性を講義することができた。今後については、自主防災組織の設立や地域での防災訓練の重要性を促していきたい。	3 危機管理課

事業 番号	事 業
68	災害・復興時の自助・共助や地域コミュニティが、重要であるという観点に立った啓発を行います。 ◆市民防災啓発事業 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課	
出前講座の内容については、避難所運営ゲームやクロスロードゲームを通じて女性視点の重要性を講義した。特に避難所運営を実施する際には女性や子育てに配慮した避難所の開設が必要となるため、運営組織への女性参画は必要不可欠であることを盛り込んだ。 令和2年度5回開催(295人参加)(Ⅱ-8-22-67再掲)	出前講座の内容については、近年の災害状況を踏まえ、「自助、共助、公助は7:2:1の割合であるとされている」など、自助と共助の重要性を講義した。また和泉市内全21校区199町会を対象としたワークショップを実施し自助・共助を行ううえで、どのような事前準備が必要であるかを盛り込んだ。 ※全20か所で実施。	2	3	1	1	1	多くの町会・自治会に対して自助・共助の重要性を講義することができた。今後については、自主防災組織の設立や地域での防災訓練の重要性を促していきたい。	3 危機管理課

<p>「地域に広げる私たちの輪～東日本大震災被災地のコミュニティビジネスから学ぶ～」 開催日：10月10日(土) 参加人数：16人/定員：20人</p>	<p>「防災×地域 今できることを考える防災セミナー」(3回) 開催日：①7月21日(水)、②7月28日(水)、③8月4日(水) ①「地域の防災は顔の見える関係づくりから～ 防災を通して和泉市で活躍しよう!～」 参加人数：12人/20人定員 ②「災害時の地域・家族等に関するさまざまな問題～福島県郡山市・女性支援 NPOより活動報告～」 参加人数：7人/20人定員 ③「防災クロスロードゲーム 女性の視点で考える災害への備え」 参加人数：7人/20人定員</p>	1	3	1	1	1	<p>行政とNPO、男女共同参画センターが連携し、地域における防災について他の地域の好事例、和泉市で活動しているボランティアなど、幅広い視点で行われているさまざまな活動を知ること、性別・年齢に関わりなく市民が主体的に参画することのできる地域づくりをめざすことができた。引き続き、男女共同参画の視点を持った防災に関する講座を実施し、啓発を行う。</p>	3	人権・男女参画室
--	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

事業番号	事業
69	<p>地域における防災リーダーとして、女性消防クラブ等の充実を図ります。 ◆和泉市女性消防クラブ連合会視察研修会 ◆和泉市ブロック別防災訓練 ◆市民防災育成事業</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
<p>和泉市女性消防クラブ連合会視察研修会を令和2年8月下旬頃に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。</p>	<p>和泉市女性消防クラブ連合会視察研修会を8月下旬頃に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。</p>	5	4	1	1	1	2 消防予防課
<p>和泉市ブロック別防災訓練を昨年11月に実施予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。</p>	<p>和泉市ブロック別防災訓練を11月に実施予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。</p>	5	4	1	1	1	2 消防予防課

地域防災力育成講座では平常時・災害時にとるべき行動や実際に体育館を活用した避難所運営のシュミレーション等を行い、より実践的な場面を想定した研修・訓練を実施した。また防災リーダーや各自主防災組織の交流を深めることもできた。	地域防災力育成講座では平常時・災害時にとるべき行動や実際に体育館を活用した避難所運営のシュミレーション等を行い、より実践的な場面を想定した研修・訓練を実施した。また防災リーダーや各自主防災組織の交流を深めることもできた。	2	1	1	1	1	地域防災力育成講座では実践的な場面を想定した研修・訓練を実施することができた。今後については、他の地域の災害時の事例等を参考に女性の参画をより一層促すプログラムの研究を行っていく。	1	危機管理課
--	--	---	---	---	---	---	--	---	-------

事業番号	事業								
70	男女共同参画の視点を取り入れた、防災計画や防災マニュアルの策定に努めます。 ◆地域防災計画事業								

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
近年発生した災害や、今年度策定した和泉市災害時受援計画の内容等を踏まえて、男女共同参画の視点を取り入れて時期改正できるよう調査・研究を行っている。	近年発生した災害や、今年度策定した和泉市災害時受援計画の内容等を踏まえて、男女共同参画の視点を取り入れて時期改正できるよう調査・研究を行っている。	2	3	1	1	1	近年発生した台風被害や他の地域での災害対応を踏まえ、次期変更に向けて、男女共同参画の視点を取り入れて改正できるよう調査・研究を行っていく。	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	2 危機管理課

施策⑭ 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり

事業番号	事業
71	<p>ひとり暮らしの高齢者に対し、生活支援をするとともに、社会的孤立を防ぎ、地域社会との交流を深めるための生きがいをづくりを推進します。</p> <p>◆街かどデイハウス ◆ふれあい食事サービス助成事業 ◆老人クラブ活動補助事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
市内8ヶ所で任意団体・NPO法人が運営し、地域高齢者が集い、交流することで地域コミュニティの形成に寄与した。うち6か所の施設にて介護予防・認知症予防の取組みを実施し、利用者の健康維持・増進を図ることができた。	市内8ヶ所で任意団体・NPO法人が運営し、地域高齢者が集い、交流することで地域コミュニティの形成に寄与した。各施設にて介護予防・認知症予防の取組みを実施し、利用者の健康維持・増進を図ることができた。	2	3	3	1	1	利用者・スタッフが高齢化しているが、双方が協力し、介護予防や引きこもり防止を図ることができた。	3	高齢介護室
地域の集会所等を利用して高齢者に対して食事サービスを提供するボランティア団体に、参加者一人一日当たり500円の助成金を交付し、市民の積極的な社会福祉活動を促し、高齢者の生きがい対策を推進した。令和2年度においては、信太校区においてふれあい食事サービスを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	令和3年度においては、信太校区において実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	5	4	3	1	1	コロナ禍による対応が課題	2	高齢介護室
老人クラブ活動の活発化を図り高齢者福祉の増進につなげた。社会福祉・地域福祉の増進を図るため助成を行った。老人クラブがあることで高齢者同士の親睦や助け合い等地域での自立生活の励みとなった。老人クラブ連合会の発展の励みとなった。令和2年度老人クラブの会員数12,660人（うち、女性7,442人）	老人クラブ活動の活発化を図り高齢者福祉の増進につなげた。社会福祉・地域福祉の増進を図るため助成を行った。老人クラブがあることで高齢者同士の親睦や助け合い等地域での自立生活の励みとなった。老人クラブ連合会の発展の励みとなった。令和3年度老人クラブの会員数12,034人（うち、女性7,042人）	2	1	1	1	1	会員の増加をめざし、活動を活性化していく。	2	高齢介護室

事業番号	事業
72	利用できる福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう、あらゆる機会を通じて市民に情報提供を行います。 ◆地域包括支援センターの実施 ◆和泉市障がい者基幹相談支援センター等での情報提供 ◆地域福祉総合相談員配置促進事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
市内4箇所の地域包括支援センターに対し、福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう地域包括支援センターの専門職や、基幹型の専門職に対して会議やヒアリングなどの場等で相談・支援を行った。 令和2年度地域包括支援センター総合相談件数4,795件	市内4箇所の地域包括支援センターに対し、福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう地域包括支援センターの専門職や、基幹型の専門職に対して会議やヒアリングなどの場等で相談・支援を行った。 令和3年度地域包括支援センター総合相談件数 5,182件	2	3	2	1	1	引き続き、相談・支援体制の構築に取り組みたい	2	高齢介護室
利用できる福祉サービス、地域の社会資源(事業所情報)等について、障がい者基幹相談支援センター等において情報提供を行った。障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計679人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,255件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が800件(延べ件数)等である。	利用できる福祉サービス、地域の社会資源(事業所情報)等について、障がい者基幹相談支援センター等において情報提供を行った。障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計460人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が1,924件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が763件(延べ件数)等である。	2	3	3	1	1	令和3年度に改訂した社会資源集を活用しながら、引き続き、利用できる福祉サービスや地域の社会資源について、情報提供を行う。	2	障がい福祉課
困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりのため、具体的には地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催したり、CSWの活動紹介や意見交換会を実施したり、日々顔の見える関係づくりに取り組んでいます。 市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者667名(男性300名、女性364名、性別不明3名)。相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。	困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりのため、地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催しています。また、CSWの活動紹介や意見交換を担当地域で実施することで、日々顔の見える関係づくりに取り組んでいます。 市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者608名(男性271名、女性333名、性別不明4名)。なお、相談者の性別は、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。	2	3	1	2	2	令和2年度に引き続きコロナ禍の影響により、地域のサロンの休止など地域活動が停滞し、地域からの相談が減少傾向にあった。また、1人に係る相談が複雑化・複合化し、長期にわたって支援が必要な相談が増加傾向にあった。そのため今後は、地域へのアプローチ方法を共有するとともに、複雑化・複合化した支援のニーズに対応する具体策を検討し、実施していく。	2	福祉総務課

事業番号	事業
73	<p>高齢者、障がいのある人、子どもが安心して暮らせるよう、バリアフリーのまちづくりを推進します。</p> <p>◆市営住宅建替事業 ◆新規事業、改修時における公園施設(園路、トイレ等)のバリアフリー化 ◆交通安全施設整備事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
和泉市富秋中学校校区等まちづくり構想における市営住宅の建替えて、住民の代表者から組織された市営住宅プロジェクトチームにおいて住宅プランを検討。	住民の代表者から組織された市営住宅プロジェクトチームとともに住宅プランを検討し、「災害時にも安全・安心で、高齢者に優しいバリアフリー住宅」、「隣近所での互いの見守り合いや、日常における出会いによりつながりが生まれる住宅」などを基本方針とした市営住宅の集約建替えに係る基本計画を策定した。	2	1	2	2	2	市営住宅の集約建替えに係る基本計画を策定したので、今後この基本計画を基に要求水準書案を作成する。	2	建築住宅室
新規事業の芦洗公園の整備について、地元の子ども会や老人会の意見を反映しながら、バリアフリーの視点で実施設計を行った。	新規事業の芦洗公園において、前年度の実施設計に基づき、バリアフリーに配慮した整備を行った。点字ブロックや、視覚障がい者に向けた触知案内板等の設置を行った。	2	1	3	3	1	予定通り令和3年度中に事業を完了することができた。今後においては、機能を損なわないよう適正に維持管理する。	2	都市整備室
誰もが安全に安心して通行できるよう、歩道のバリアフリー工事を実施し、1路線の整備が完了。光明池駅周辺地区の特定経路について、計画路線すべての整備を完了することができた。	和泉中央駅前広場において、バリアフリーに配慮し、点字ブロックの再配置を行った。また、視覚障がい者に向けた音声触知案内板の設置を行った。天候にかかわらず、すべての人が円滑に移動できるよう歩道上に屋根の増設を行った。	2	1	3	3	2	予定通り、令和3年度中に事業を完了することができた。	2	都市整備室

事業番号	事業
74	日本語学習が外国人にとって地域社会で生きていくための基盤となるよう、教室活動そのものが日常生活における対等な人間関係や地域でのネットワークの構築につながっていくよう、「日本語サロン」(和泉市国際交流協会)と連携します。 ◆日本語サロン

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1) (2) (3)		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
外国人市民の日本語学習をサポートするため、市内2カ所で日本語サロンを実施し、サロン生・日本語ボランティア共に、互いの文化に触れて相互理解を深めた。 フューエル和泉 年間29開催 和泉シティプラザ 年間30回開催	外国人市民の日本語学習をサポートするため、市内2カ所で日本語サロンを実施し、サロン生・日本語ボランティア共に、互いの文化に触れて相互理解を深めた。 フューエル和泉 年間30開催 和泉シティプラザ 年間29回開催	2	3	2 2 2	新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、今後も引き続き実施する。	2	生涯学習推進室

事業番号	事業
75	内閣府「定住外国人施策ポータルサイト」等の情報提供を積極的に進めます。 ◆外国人情報コーナー(市ウェブページに掲載)

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1) (2) (3)		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
市のウェブページ内に多言語版新型コロナウイルス対策情報を掲載するなど、時宜に応じた情報を掲載するよう努めた。	市のウェブページ内に多言語版新型コロナウイルス対策情報を掲載するなど、時宜に応じた情報を掲載するよう努めた。	2	3	2 2 2	情報は日々更新されるので情報収集に努め、他課との連携や情報発信を強化する。	2	生涯学習推進室

基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる 施策の方向 (9) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援

施策⑳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進

事業番号	事業
76	市民や事業者に向けてワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意義や働き方を見直す必要性等についての情報提供を行います。 ◆和泉市企業人権協議会等への情報提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆広報紙、ホームページ、モアいずみ通信での情報提供 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の情報提供

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
和泉市企業人権協議会の会員事業所にワーク・ライフ・バランスについての情報提供や各種研修への参加を促すとともに、くらしサポート課の窓口にリーフレットを置き、来庁者に対しても周知を図った。	和泉市企業人権協議会の会員事業所にワーク・ライフ・バランスについての情報提供や各種研修への参加を促した。	2	3	3	2	3	和泉市企業人権協議会の会員事業所にワーク・ライフ・バランスについての情報提供や各種研修への参加を促す。	2	くらしサポート課
【働く女性応援講座】 わが家のちょうどいいを見つけて、こちよい毎日に 開催日:①3月6日(土)、②3月13日(土) ①「子育ても仕事もあなたらしく ～マザーネット代表 上田理恵子さんが働くママに伝えたいこと～」 参加人数:9人/20人定員 ②「ひとりではがんばらない整理整頓!～家族の暮らす・働く・学ぶ空間を整える～」 参加人数:15人/20人定員	●「20・30・40代女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) 開催日:①12月2日(木)、②12月9日(木)、③12月16日(木) ①「もう一度働く、その前に。わたしのキャリアを自己分析」 参加人数:16人/20人定員 ②「働く女性が知っておきたい 税金・年金・保険・扶養の話」 参加人数:16人/20人定員 ③「応募書類の書き方と面接対策」 参加人数:16人/20人定員 ●「転職カフェ with school 5 m m 動くと見えてくるものがある」 開催日:2月5日(土) 参加人数:8人/20人定員	1	2	1	1	1	20代から40代女性の働き方について考えることを目的に、くらしサポート課とハローワークと連携し女性のための再就職支援チャレンジ講座や、さまざまな立場である受講者同士がゆるやかにつながる転職カフェを実施し、ワーク・ライフ・バランスの意義や働き方を見直す機会を提供できた。今後も引き続き、より多くの市民や事業者が参加できる研修会の実施に努める。	1	人権・男女参画室

<p>市内事業者向けに和泉市男女共同参画推進講師派遣事業を実施し、下記の内容で1事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があったが、自社で研修の資料を用意したため派遣事業は中止 研修会等の名称:職員の資料回覧による研修 研修会等のテーマ及び分野:パワーハラスメント・セクシャルハラスメント</p> <p>和泉市男女共同参画推進講師派遣事業について商工会議所等と連携して「いずみ会議所だより」にて周知を行った。 また、くらしサポート課労働政策係とも連携し、「企業人権協議会ニュース」でも周知を行った。</p>	<p>市内事業者向けに和泉市男女共同参画推進講師派遣事業を実施し、下記の内容で1事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があったが、自社で研修の資料を用意したため派遣事業は中止 研修会等の名称:職員の資料回覧による研修 研修会等のテーマ及び分野:パワーハラスメント・セクシャルハラスメント</p> <p>和泉市男女共同参画推進講師派遣事業について商工会議所等と連携して「いずみ会議所だより」にて周知を行った。 また、くらしサポート課労働政策係とも連携し、「企業人権協議会ニュース」でも周知を行った。</p>	1	2	1	1	1	<p>引き続き和泉市男女共同参画推進講師派遣事業をより多くの事業者に対し周知し、事業者向けの研修会を実施していく。</p>	2	人権・男女参画室
<p>市内事業者向けに和泉市男女共同参画推進講師派遣事業を実施し、下記の内容で1事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があったが、自社で研修の資料を用意したため派遣事業は中止 研修会等の名称:職員の資料回覧による研修 研修会等のテーマ及び分野:パワーハラスメント・セクシャルハラスメント</p> <p>和泉市男女共同参画推進講師派遣事業について商工会議所等と連携して「いずみ会議所だより」にて周知を行った。 また、くらしサポート課労働政策係とも連携し、「企業人権協議会ニュース」でも周知を行った。</p>	<p>下記の内容で2事業者より、「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」の申請があり、講師を派遣した。 ①7月27日(火) 研修会等の名称:ハラスメント学習会 研修会等のテーマ及び分野:各種ハラスメントについて ②11月16日(火) 研修会等の名称:働きやすい職場作り～ハラスメントをしないために～ 研修会等のテーマ及び分野:2020年6月の労働施策総合推進法の改正施行により、策定されたガイドライン(パワハラ)の具体的な定義、雇用管理上の措置の具体的内容)等各種ハラスメントについて</p> <p>和泉市男女共同参画推進講師派遣事業について商工会議所等と連携して「いずみ会議所だより」にて周知を行った。 また、くらしサポート課労働政策係とも連携し、「企業人権協議会ニュース」でも周知を行った。</p>	1	2	1	1	1	<p>引き続き和泉市男女共同参画推進講師派遣事業をより多くの事業者に対し周知し、事業者向けの研修会を実施していく。</p>	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
77	男性向けに働き方見直しセミナーを実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆男性学講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
【男性学講座】 「パパとレクリエーションゲームをしよう！～親子の時間を楽しもう～」 開催日：3月27日(土) 参加人数：3組(8人)/定員：8組	①【子育て応援講座】 春の子育て応援セミナー 開催日(1)3月2日(水)、(2)3月9日(水) (1)「思春期の子との向き合い方」 参加人数：3人/定員：20人 (2)「小学生の子を持つママとパパへ～子育てを楽しむヒント～」 参加人数：3人/定員：20人 ②【男性学講座】 「野外活動のプロに教わるパパごはん～夏の鶏肉料理と炊き込みご飯～」 開催日：7月10日(土) 参加人数：8人/定員：12人	1	3	1	1	1	1	子育て世代を対象に、新入学・新学期を迎える子どもの変化を親がどのように受け止めたらいいか、またコロナ禍で人気が高まっているアウトドア料理の作り方を学び、家事育児の参加への機会を提供ができた。引き続き、男性が仕事中心のライフスタイルから子育てに参加するきっかけ作りを提供する。	3	人権・男女参画室	
【男性学講座】 「パパとレクリエーションゲームをしよう！～親子の時間を楽しもう～」 開催日：3月27日(土) 参加人数：3組(8人)/定員：8組	【男性学講座】 ●「野外活動のプロに教わるパパごはん～夏の鶏肉料理と炊き込みご飯～」 開催日：7月10日(土) 参加人数：8人/定員：12人 ●「人生100年時代をしなやかに生きる定年男性応援セミナー」 開催日：6月24日(木)、29日(火) (1)「定年不調、男性更年期、パートナー(妻)との関係・・・定年後の新生活、まずは不安を「見える化」しましょう！」 参加人数：15人/20人定員 (2)「まだまだ働きたい、でもそろそろ社会貢献も・・・地域デビューは自分のペースで始めましょう！」 参加人数：9人/20人定員	1	2	1	1	1	1	子育て世代の男性向けにコロナ禍で人気が高まっているアウトドア料理の作り方を学び、家事育児の参加への機会を提供ができた。また、定年男性向けに定年前後の男性が仕事中心の生き方を振りかえり、家庭や地域に参画する機会を提供ができた。引き続き、男性が仕事中心のライフスタイルから子育てに参加するきっかけ作りを提供する。	1	人権・男女参画室	

施策⑤ 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備

事業番号	事業
78	次世代育成支援対策推進法に基づく、事業者としての行動計画策定を支援します。 ◆次世代育成支援対策推進法における事業所行動計画策定にかかる助言 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
平成27年3月に「和泉市子ども・子育て応援プラン」が策定され、相談があれば受け入れる体制はとっていたが、相談はなかった。	平成27年3月に「和泉市子ども・子育て応援プラン」が策定され、相談があれば受け入れる体制はとっていたが、相談はなかった。	2	3	2 2 2	引き続き相談体制の充実を図る。	2	子育て支援室
事業者が行動計画を策定するにあたり問い合わせや相談があった場合は、子ども未来室と連携し、情報提供に努める等の支援を行う体制をとっていたが、相談件数が0件であった。	事業者が行動計画を策定するにあたり問い合わせや相談があった場合は、子ども未来室と連携し、情報提供に努める等の支援を行う体制をとった。	1	3	2 2 2	引き続き、子ども未来室と連携し、情報提供に努める等の支援を行う体制を維持する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
79	「和泉市子ども・子育て応援プラン」に基づいて、妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた子育て支援の充実をめざします。 ◆病児・病後児保育事業 ◆一時預かり、障がい児保育、延長保育、休日保育、夜間保育 ◆親子(母子)健康手帳交付、乳幼児健康診査 ◆留守家庭児童会の充実

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
【令和2年度実施箇所数】 病児保育事業1か所、病後児保育事業1か所、訪問型病児病後児保育事業1か所 合計3か所	【令和3年度実施箇所数】 病児保育事業1か所、病後児保育事業1か所、訪問型病児病後児保育事業1か所 合計3か所	2	3	2 2 2	参加者に対しておおむね支援を行うことができた。今後も引き続き支援体制を図る。	4	子育て支援室

<p>令和2年度 一時預かり17か所、障がい児保育28か所、延長保育30か所、休日保育1か所、夜間保育1か所 合計77か所</p>	<p>令和3年度 一時預かり18か所、障がい児保育33か所、延長保育35か所、休日保育1か所、夜間保育1か所 合計88か所</p>	2	1	1	1	1	<p>障がい児保育について、受入可能施設でも職員の配置次第で受入不可とならざるをえない場合がある。民間施設においても受け入れ態勢を可能な限り整えてもらうよう継続して求めていく。</p>	2	こども未来室
<p>母子健康手帳発行数1,253人。発行時、育児休業給付金や働きながら母親になる人向けのパンフレット配布。また、夫向けの父子健康手帳も配布し、男性にも妊娠出産をきっかけに育児仕事の両立について考えるきっかけを作っている。 4か月健康診査受診者数1,249人(受診率95.9%)、1歳6か月児健康診査受診者数1,440人(受診率96.5%)、3歳6か月児健康診査受診者数1,481人(受診率93.9%)。健診時、家庭の育児の協力状況などを確認し、必要時、保育園申請や育児支援サービスなどの情報提供を実施。</p>	<p>母子健康手帳発行数1,160人。発行時、育児休業給付金や働きながら母親になる人向けのパンフレット配布。また、夫向けの父子健康手帳も配布し、男性にも妊娠出産をきっかけに育児仕事の両立について考えるきっかけを作っている。 4か月健康診査受診者数1,206人(受診率95.6%)、1歳6か月児健康診査受診者数1,308人(受診率97.5%)、3歳6か月児健康診査受診者数1,294人(受診率94.9%)。健診時、家庭の育児の協力状況などを確認し、必要時、保育園申請や育児支援サービスなどの情報提供を実施。</p>	2	3	1	1	1	<p>引き続き、妊娠中からの情報提供を実施する。国の動向で変更される事業等あれば、積極的に最新の情報を届けられるように取り組む。必要な対象には継続的に個別で相談対応や一緒に課題を考えて対応等を考えた。</p>	2	健康づくり推進室
<p>保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校(義務教育学校前期課程)の児童に対して、適切な居場所を提供するため、市内19校に留守家庭児童会(仲よしクラブ)を設置し、保育環境の充実を図る。 【令和2年5月1日現在の在籍児童数】 1年生:660人、2年生:610人、3年生:512人、4年生:275人、5年生:120人、6年生:45人 計2,222人</p>	<p>保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校(義務教育学校前期課程)の児童に対して、適切な居場所を提供するため、市内19校に留守家庭児童会(仲よしクラブ)を設置し、保育環境の充実を図る。 【令和3年5月1日現在の在籍児童数】 1年生:664人、2年生:570人、3年生:463人、4年生:271人、5年生:89人、6年生:41人 計2,098人</p>	2	3	3	1	1	<p>現在、待機児童は発生していない。今後も待機児童ゼロを継続するため、教室の確保に努める。</p>	2	こども未来室

事業 番号	事 業
80	<p>事業者や男性労働者に対して、男性の育児・介護休業の取得促進に向け情報提供及び支援を行います。</p> <p>◆男性の育児・介護休業の取得促進に向けた情報提供</p> <p>◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
各種リーフレットをくらしサポート課前に配置することで周知を図った。	男性の育児・介護休業取得について情報提供できるよう、関係機関が発行するパンフレット等を用意した。	2	3	3	2	1	男性の育児・介護休業取得について関係機関が発行するパンフレット等を用意し、必要があれば情報提供を行う。	2	くらしサポート課	
広報いずみ6月号にて、ワーク・ライフ・バランスについて掲載し、情報提供を行った。 市ホームページにてワーク・ライフ・バランスのページの周知を行った。 「カエル！ ジャパン」、「ポジティブ・アクション」「イクメンプロジェクト」「女性の活躍・両立支援」についても掲載しており、ワーク・ライフ・バランス実現のための情報提供を行った。 また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、労働に関する法律や制度等の情報周知を行った。	広報いずみ1月号及びモアいずみ通信10月号にて、ワーク・ライフ・バランスについて掲載し、情報提供を行った。 市ホームページにてワーク・ライフ・バランスのページの周知を行った。 「カエル！ ジャパン」、「ポジティブ・アクション」「イクメンプロジェクト」「女性の活躍・両立支援」についても掲載しており、ワーク・ライフ・バランス実現のための情報提供を行った。 また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、労働に関する法律や制度等の情報周知を行った。	1	3	2	1	1	今後も情報を収集し、情報提供を行う。	2	人権・男女参画室	

事業 番号	事業
81	<p>男性が父親としての自覚を持ち、積極的に子育てに関われるよう、知識や技術を習得することを支援します。</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆半日保育参加の呼びかけ</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
<p>【男性学講座】 「パパとレクリエーションゲームをしよう！～親子の時間を楽しもう～」 開催日：3月27日(土) 参加人数：3組(8人)/定員：8組</p>	<p>①【子育て応援講座】 春の子育て応援セミナー 開催日(1)3月2日(水)、(2)3月9日(水) (1)「思春期の子との向き合い方」 参加人数：3人/定員：20人 (2)「小学生の子を持つママとパパへ～子育てを楽しむヒント～」 参加人数：3人/定員：20人 ②【男性学講座】 「野外活動のプロに教わるパパごはん～夏の鶏肉料理と炊き込みご飯～」 開催日：7月10日(土) 参加人数：8人/定員：12人</p>	1	3	1	1	1	<p>子育て世代を対象に、新入学・新学期を迎える子どもの変化を親がどのように受け止めたらいいか、またコロナ禍で人気が高まっているアウトドア料理の作り方を学び、家事育児の参加への機会を提供ができた。引き続き、男性が仕事中心のライフスタイルから子育てに参加するきっかけ作りを提供する。</p>	3	人権・男女参画室
<p>半日保育を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の為、半日保育参加は実施できず、送迎時に父親へも積極的に子どもの様子や子育てについての話をし、相談に乗ったりアドバイスをしたり園と共に子育てをできるようにした。</p>	2	2	1	1	1	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため半日保育参加は実施できなかった。日常の保護者対応で父親として積極的に子育てにかかわれるよう、意識して対応した。</p>	2	こども未来室

事業番号	事業									
82	男性が、主体的に家族介護の担い手となるよう、知識や技術を習得することを支援します。 ◆地域出張型在宅医療介護セミナー(H27年度まで 入退院支援家族教室)									

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計1回開催の開催となった。 テーマ「かかりつけ薬剤師について」 参加者は令和2年度では14名。(男性1人、女性13人)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計2回開催の開催となった。 テーマ「リハビリテーションについて」 参加者は令和3年度では37名。(男性2人、女性35人)	2	2	1	1	1	今後もより多くの住民に聞いてもらい、「ご近所さん」同士で学ぶことによって、男女共同参画の視点をもちながら地域の風土を形成していく必要がある。	1	高齢介護室

事業番号	事業									
83	特定事業主行動計画に基づき推進します。 ◆職員が子育てや介護しやすい勤務環境を整備する									

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
男性職員も育児休業が取得可能であることやワークライフバランスの確保の必要性を周知し、取得しやすい環境づくりを行った。 男性育児休業の取得者:3名 参考:令和2年度新規取得対象者 39名	男性職員も育児休業が取得可能であることやワークライフバランスの確保の必要性を周知し、取得しやすい環境づくりを行った。 男性育児休業の取得者:4名 参考:令和3年度新規取得対象者 29名	1	1	1	1	1	男性の育児休業取得が3名あった。	1	人事課

施策の方向(10) 自立した暮らしのための支援

施策⑨ ひとり親家庭への支援

事業番号	事業
84	ひとり親家庭が抱える、様々な悩みや問題を解消するための相談体制を充実します。 ◆母子・父子自立支援員による相談業務

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
ひとり親家庭や離婚を考えている方が抱える様々な悩みや問題を解消するために電話や来所による相談支援を行った。 離婚前父相談: 1件(経済的支援1件) 離婚前母相談: 100件(家庭内もめ事64件、就労8件、経済的支援19件、児童1件、生活8件) 離婚後父相談: 3件(就労1件、生活1件、経済的支援1件) 離婚後母相談: 216件(経済的支援86件、家庭内もめ事12件、就労82件、児童5件、生活31件)	ひとり親家庭や離婚を考えている方が抱える様々な悩みや問題を解消するために電話や来所による相談支援を行った。(310件) 離婚前父相談: 1件(家庭内もめ事1件) 離婚前母相談: 86件(家庭内もめ事37件、就労5件、経済的支援38件、児童3件、生活3件) 離婚後父相談: 5件(経済的支援5件) 離婚後母相談: 218件(経済的支援93件、家庭内もめ事9件、就労86件、児童4件、生活26件)	2	3	1	1	1	相談者に寄り添いながら支援を行うことができた。また、必要に応じて関係機関と連携して支援を行った。今後も引き続き関係機関と連携しながら支援を行う。	2	子育て支援室

事業番号	事業
85	ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立できるように、母子家庭自立支援給付金(自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業)の周知を図ります。 ◆ひとり親家庭自立支援給付金事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立を推進するために自立支援教育訓練給付金制度の周知を図った。 高等職業訓練促進給付金の支給: 20名(全て母) 教育訓練給付金の支給: 5名(全て母)	ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立を推進するために自立支援教育訓練給付金制度の周知を図った。 高等職業訓練促進給付金の支給: 22名(全て母) 教育訓練給付金の支給: 4名(全て母)	2	3	1	1	1	相談業務において、自立支援給付金制度の周知を図れた。今後も引き続き自立支援給付金制度の周知を図りながら支援を行う。	2	子育て支援室

事業番号	事業
86	ハローワーク等と連携し、就労支援を行います。 ◆ひとり親家庭等就労支援事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
母子・父子自立支援員を配置し、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行った。プログラム策定事業申込: 35件 ケース会議参加 33件 策定事業による就職 17件	母子・父子自立支援員を配置し、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行った。プログラム策定事業申込: 25件 ケース会議参加 24件 策定事業による就職 18件	2	3	1	1	1	関係機関と連携をとりながら支援を行った。今後も引き続き、関係機関と連携しながら支援を行う。	2	子育て支援室

事業番号	事業
87	ひとり親家庭に支給される児童扶養手当や、ひとり親家庭に支援される医療費助成の周知を図ります。 ◆児童扶養手当支給事業、ひとり親家庭医療助成事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
児童扶養手当支給者数: 延べ 21,065人 ひとり親家庭医療費助成件数: 延べ44,500件	児童扶養手当支給者数: 延べ 20,273人 ひとり親家庭医療費助成件数: 延べ44,644件	2	3	2	2	2	今後も引き続き周知を行っていく。	2	子育て支援室

施策⑦ 困難を抱える人々が安心して生活できるための支援

事業番号	事業
88	<p>高齢者や障がいのある人に対する、経済的自立に向けた就労の機会の拡大と雇用の安定について事業所に働きかけます。</p> <p>◆シルバー人材センター運営補助事業の実施</p> <p>◆一般就労や福祉的就労に向けた訓練等の機会の提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
<p>補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。令和2年度シルバー人材センターの会員数 1,764人</p>	<p>補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。</p>	2	2	2	1	1	引き続き、紹介の機会を増やす必要がある	1	高齢介護室
<p>就労継続支援(A型・B型)事業所、就労移行支援事業所を利用するために、支給決定(受給者証発行)を行った。また、相談内容に応じて、公共職業安定所(ハローワーク)や障害者就業・生活支援センターを紹介した。令和2年度末時点で、就労移行支援53名、就労継続支援A型88名、就労継続支援B型506名が利用中である。</p>	<p>就労継続支援(A型・B型)事業所、就労移行支援事業所を利用するために、支給決定(受給者証発行)を行った。また、相談内容に応じて、公共職業安定所(ハローワーク)や障害者就業・生活支援センターを紹介した。令和3年度末時点で、就労移行支援54名、就労継続支援A型100名、就労継続支援B型539名が利用中である。</p>	2	3	3	1	1	引き続き、障がい者が就労継続支援(A型・B型)事業所、就労移行支援事業所の利用を希望する場合は、支給決定(受給者証発行)を行う。	2	障がい福祉課

事業 番号	事業
89	高齢者が要介護状態とならないよう、また、介護予防を図るために、自立した生活を確保するための生活支援サービスの充実を図ります。 ◆介護予防普及啓発事業

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
「おためいきいきいずみ体操」を実施し、22名が参加した。地域出張型の教室を2箇所で開催し、コロナ禍であったが、地域でのいきいきいずみ体操の自主グループは新規で4か所立ち上がった。活動団体79団体については、コロナ禍での自主グループ運営について相談や助言を行い、専門職による指導や体側測定を行うなど支援を実施し、活動が絶えないよう支援した。	「おためいきいきいずみ体操」を実施し、23名が参加した。地域出張型の教室を4箇所で開催し、コロナ禍であったが、地域でのいきいきいずみ体操の自主グループは新規で2か所立ち上がった。活動団体については、コロナ禍での自主グループ運営について相談や助言を行い、専門職による指導や体側測定を行うなど支援を実施し、活動が絶えないよう支援した。	2	2	2	1	1	今後も、教室や地域で介護予防の取り組みを男女で共同で取り組んでいけるように継続的に支援を行っていく。	2	高齢介護室

事業 番号	事業
90	支援を必要としている人々が適切に福祉サービス等を利用し、地域での生活が継続できるよう、情報提供や相談等の支援を進めます。 ◆和泉市高齢者福祉サービス ◆成年後見審判市長申立事業 ◆障がい者基幹相談支援センター事業の実施 ◆障がい者相談支援センター事業の実施 ◆成年後見審判申立事業の実施 ◆日常生活自立支援事業の情報提供 ◆地域福祉総合相談員配置促進事業 ◆生活困窮者自立支援

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
紙おむつの給付・緊急通報装置の貸与・訪問理美容サービス・介護予防住まい改修・認知症高齢者安全確保事業・認知症高齢者家族やすらぎ支援事業を実施している。在宅を望む高齢者が安心して暮らせるように地域包括支援センターやその他の関係機関と連携し、情報提供している。高齢者一人ひとりにあった適切なサービスや介護者の負担を軽減するために紙おむつや福祉用具の給付や緊急通報装置の貸与を行っている。	紙おむつの給付・緊急通報装置の貸与・訪問理美容サービス・介護予防住まい改修・認知症高齢者安全確保事業・認知症高齢者家族やすらぎ支援事業を実施している。在宅を望む高齢者が安心して暮らせるように地域包括支援センターやその他の関係機関と連携し、情報提供している。高齢者一人ひとりにあった適切なサービスや介護者の負担を軽減するために紙おむつや福祉用具の給付や緊急通報装置の貸与を行っている。	2	2	2	1	1	広報やホームページ、出前講座やパンフレットなどを通じ高齢者福祉サービスの情報提供や相談等を行い、地域での生活が継続できるように支援する。	2	高齢介護室

<p>65歳以上の一人暮らし又は高齢者世帯で調理が困難な方に対して月～金の夕食を週5回まで1食450円で配達し、食の提供をしている。対象者が疾患に合った食事内容を選択し、栄養バランスのとれた配食を行っている。配達時安否確認も兼ねており、独居や家族の方が安心して在宅で生活できるように努めている。(令和2年度配食人数245人)</p>	<p>65歳以上の一人暮らし又は高齢者世帯で調理が困難な方に対して月～金の夕食を週5回まで1食450円で配達し、食の提供をしている。対象者が疾患に合った食事内容を選択し、栄養バランスのとれた配食を行っている。配達時安否確認も兼ねており、独居や家族の方が安心して在宅で生活できるように努めている。(令和3年度配食人数253人)</p>	2	2	2	1	1	<p>支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域の中で安心して暮らしていることができるように継続してサービスを実施する。</p>	2	高齢介護室
<p>利用者が地域で自立した生活を継続していくために、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の財産管理、法律行為の援助が必要な場合、市長が本人、配偶者、四親等内の親族に代わって家庭裁判所に成年後見審判の申立を行う。 令和2年度市長申立件数:0件</p>	<p>利用者が地域で自立した生活を継続していくために、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の財産管理、法律行為の援助が必要な場合、市長が本人、配偶者、四親等内の親族に代わって家庭裁判所に成年後見審判の申立を行う。 令和3年度市長申立件数:2件</p>	2	2	2	1	1	<p>成年後見制度の周知・啓発を地域包括支援センターと協働して実施。自身の意思を反映できない後見相当ではなく、保佐・補助相当から利用できるよう、また任意後見も含めて、より周知啓発が必要。</p>	2	高齢介護室
<p>基幹相談支援センター事業及び相談支援事業等の実施により、障がい者等からの様々な相談に対応した。障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計679人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,255件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が800件(延べ件数)等である。</p>	<p>基幹相談支援センター事業及び相談支援事業等の実施により、障がい者等からの様々な相談に対応した。障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計460人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が1,924件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が763件(延べ件数)等である。</p>	2	3	3	1	1	<p>引き続き、特定相談支援事業所等の相談支援専門員の質の向上に取組み、障がい者が自立した生活を送れるよう、また地域で長く生活ができるよう、ニーズに応じた適切な支援を行う。</p>	2	障がい福祉課
<p>令和2年度は申し立て実績は1件。</p>	<p>令和3年度は申し立て実績は0件だが、申し立てに向けての手続き中が2件ある。</p>	2	3	3	1	1	<p>障がい者基幹相談支援センターにおいて、個別ケース対応の中で、特定相談支援事業所の相談支援専門員に対して、成年後見審判申立事業の活用について助言を行い、市長申立ての手続きを行った。今後も引き続き、成年後見審判申立に関する支援を行う。</p>	2	障がい福祉課

<p>日常生活自立支援事業について、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターから情報提供し、支援ができるように、社会福祉協議会へつなぎを行った。</p>	<p>日常生活自立支援事業について、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターから情報提供し、支援ができるように、社会福祉協議会へつなぎを行った。</p>	2	3	3	1	1	<p>引き続き、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターから情報提供し、支援ができるように、社会福祉協議会へつなぎを行う。</p>	2	障がい福祉課
<p>困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりのため、具体的には地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催したり、CSWの活動紹介や意見交換会を実施したり、日々顔の見える関係づくりに取り組んでいます。市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者667名(男性300名、女性364名、性別不明3名)。相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。</p>	<p>困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりのため、地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催しています。また、CSWの活動紹介や意見交換を担当地域で実施することで、日々顔の見える関係づくりに取り組んでいます。市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者608名(男性271名、女性333名、性別不明4名)。なお、相談者の性別は、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。</p>	2	1	1	2	2	<p>令和2年度に引き続きコロナ禍の影響により、地域のサロンの休止など地域活動が停滞し、地域からの相談が減少傾向にあった。また、1人に係る相談が複雑化・複合化し、長期にわたって支援が必要な相談が増加傾向にあった。そのため今後は、地域へのアプローチ方法を共有するとともに、複雑化・複合化した支援のニーズに対応する具体策を検討し、実施していく。</p>	2	福祉総務課
<p>生活困窮者が経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため自立支援計画を策定し本人の状態に応じた包括的なかつ継続的な相談支援を実施した。 相談件数2276件(男1468件、女781件、不明27件) 自立支援計画策定件数120件 達成件数(就労者数)65件 (令和3年2月末時点)</p>	<p>生活困窮者が経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため自立支援計画を策定し本人の状態に応じた包括的なかつ継続的な相談支援を実施した。 相談件数2072件(男1219件、女842件、不明11件) 自立支援計画策定件数134件 達成件数(就労者数)38件 (令和4年3月末時点)</p>	2	2	1	1	1	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、相談件数が激増した昨年度よりは相談件数が落ち着いたものの、引き続きコロナ禍前の5倍程度の水準となっている。相談件数が減少したことから、一件あたりの支援に時間をかけることができ、自立支援計画策定件数は微増となる。今後も制度周知の強化及び各課、関係機関と連携を強化していく。</p>	1	くらしサポート課

施策の方向11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援

施策⑳ 生涯を通じた心身の健康保持・増進

事業番号	事業
91	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方に基づいて健康・保健施策が進められるよう、啓発や情報提供を行います。 ◆両親教室(妊婦教室) ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。会場での実施に加え、オンラインでも受講できるようにした。 受講者数 延273人、夫受講者数 延93人	保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。会場での実施に加え、オンラインでも受講できるようにした。 受講者数 延276人、夫受講者数 延92人	2	3	1	1	1	安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。日曜日については、オンラインでも受講できる形を継続する。	1 強化・充実 2 継続 3 改善・見直し 4 縮小 5 廃止	2 健康づくり推進室
【女性の健康週間】 女性の健康を考える！～心もからだもしなやかに～ 開催日：①3月4日(木)、②3月11日(木) ①「私の健康を知りたい！～女性のからだをライフステージから学ぶ～」 参加人数：18人/20人定員 ②「ものづくりを楽しんで、心をほぐしませんか？～デコパージュで心の旅～」 参加人数：18人/20人定員	【女性の健康週間】 「女性の健康講座～ココロもカラダもしなやかに、もっといきいきわたしらしく！～」 開催日：①3月5日(土)、②3月12日(土) ①「カラダ編「知っておきたい、女性のからだとライフサイクル」」 参加人数：19人/20人定員 ②「ココロ編「女性のための心理学レッスン～ストレスと上手につきあう～」」 参加人数：20人/20人定員	1	2	1	1	1	女性が健康に関する情報を得て、その認識を深めるとともに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の考え方について学習する機会を提供できた。引き続き、生涯を通じた女性の健康保持に関する講座を実施する。	1 強化・充実 2 継続 3 改善・見直し 4 縮小 5 廃止	1 人権・男女参画室

事業番号	事業
92	<p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供します。</p> <p>◆両親教室(妊婦教室) ◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p> <p>◆健康教育におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方の普及</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
<p>保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。</p> <p>受講者数 延273人、夫受講者数 延93人 (再掲Ⅲ-11-28-91)</p>	<p>保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。</p> <p>受講者数 延276人、夫受講者数 延92人 (再掲Ⅲ-11-28-91)</p>	2	3	1	1	1	<p>安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。日曜日については、オンラインでも受講できる形を継続する。</p>	2	健康づくり推進室
<p>【女性の健康週間】 女性の健康を考える！～心もからだもしなやかに～ 開催日：①3月4日(木)、②3月11日(木)</p> <p>①「私の健康を知りたい！～女性のからだをライフステージから学ぶ～」 参加人数：18人/20人定員</p> <p>②「ものづくりを楽しんで、心をほぐしませんか？～デコパージュで心の旅～」 参加人数：18人/20人定員 (再掲Ⅲ-11-28-91)</p>	<p>【女性の健康週間】 「女性の健康講座～ココロもカラダもしなやかに、もっといきいきわたしらしく！～」 開催日：①3月5日(土)、②3月12日(土)</p> <p>①「カラダ編「知っておきたい、女性のからだとライフサイクル」」 参加人数：19人/20人定員</p> <p>②「ココロ編「女性のための心理学レッスン～ストレスと上手につきあう～」」 参加人数：20人/20人定員</p>	1	2	1	1	1	<p>女性が健康に関する情報を得て、その認識を深めるとともに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の考え方について学習する機会を提供できた。引き続き、生涯を通じた女性の健康保持に関する講座を実施する。</p>	1	人権・男女参画室
<p>学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じ、保健や総合的な学習の時間等でリプロダクティブヘルス/ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供するよう指示した。</p>	<p>学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じ、保健体育や総合的な学習の時間等でリプロダクティブヘルス/ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供するよう指示した。</p>	2	3	1	2	2	<p>リプロダクティブヘルス/ライツの考え方について、教職員への研修を進めていく。</p>	2	学校教育室

事業 番号	事業
93	年代に応じた健康管理を支援するため、健康相談や健康診査・検診等の充実を図ります。 ◆各種検診(健診)、健康教育・相談事業

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>健康管理に向けた各種検診(健診)の実施及び受診勧奨、生活習慣病予防のための健康教育・相談事業を実施した。 各種健康診査及びがん検診、胃がんリスク検査、歯周疾患検診等の実施。 また、受診率向上を目指し無料クーポン券や受診券の発行、40歳到達者及び受診に繋がりがやすい対象者に個別勧奨通知を実施した。 健康教育・相談事業については、市民が生活の中で健康づくりを実践できるよう、生活習慣病予防のための教育や保健指導を実施した。</p> <p>乳がん検診 対象者数 19,259人 受診者数 4,886人 子宮がん検診 対象者数 22,792人 受診者数 6,887人</p>	<p>健康管理に向けた各種検診(健診)の実施及び受診勧奨、生活習慣病予防のための健康教育・相談事業を実施した。 各種健康診査及びがん検診、胃がんリスク検査、歯周疾患検診等の実施。 また、受診率向上を目指し無料クーポン券や受診券の発行、40歳到達者及び受診に繋がりがやすい対象者に個別勧奨通知を実施した。 健康教育・相談事業については、市民が生活の中で健康づくりを実践できるよう、生活習慣病予防のための教育や保健指導を実施した。</p> <p>乳がん検診 対象者数 19,025人 受診者数 5,509人 子宮がん検診 対象者数 22,041人 受診者数 6,615人</p>	2	3	1	1	1	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響はあるものの、各健診において受診率は上昇傾向。 今後も各種検診の充実を図るとともに、対象者へ効果的な方法で個別勧奨通知や媒体の配付等を実施し、受診率向上をめざす。また、地域での健康教育や普及啓発活動を継続実施する。	3	健康づくり推進室

事業 番号	事業
94	学校と連携し、健康をおびやかす問題についての対策を推進します。 ◆「薬物乱用防止教室」の実施 ◆各校で学校保健委員会の開催

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>例年薬剤師会や警察とも連携して、薬物乱用防止教室を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ほとんどの学校で講師等の依頼や集合形式での実施を控え、養護教諭や担任が実施した。薬剤師会による実施は、和気小学校5年生102人2月24日(水)のみ実施。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、薬剤師会や警察とも連携して、薬物乱用防止教室を実施したり、養護教諭等の教員が実施したりした。薬剤師会による実施は、11校で実施。</p>	2	3	2	2	2	今年度は、実施時期や実施方法を検討し、可能な限り薬剤師会や警察とも連携した薬物乱用教室を概ね当初の計画どおり実施できた発達段階に応じた薬物の正しい知識を指導することができた。今後も継続して実施していきたい。	2	学校教育室

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催や書面開催等実施形態を検討しての開催となった。また計画していた時期によっては、中止した学校もある。	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催や書面開催等実施形態を検討しての開催となった。また計画していた時期によっては、中止した学校もある。	2	3	2	2	2	各校が子どもたちの実態から見た課題をふまえ、その課題解決に向けた学校保健委員会を実施方法や時期を検討し、開催することができた。来年度も、それぞれの実態を見ながら充実した学校保健委員会を実施する。	2	学校教育室
---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

事業番号	事業								
95	性差に留意し、自殺予防のための相談支援や心の健康保持増進に努めます。 ◆自殺予防対策事業								

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策行動計画の進捗管理や庁内ネットワークづくりを目的に和泉市自殺対策連絡会議を3回実施。 ・9月、3月の自殺予防週間・強化月間で、ポスター掲示、広報、相談窓口記載のティッシュを庁内外関係課窓口配布にて啓発。 ・「こころの体温計」については市のラインや子育てアプリを活用し、周知を強化。 ・消防職員を含む職員向けゲートキーパー研修を6回実施し179名が参加。 ・市民向けゲートキーパー研修を6回実施し109名が参加。 ・こころのリフレッシュ相談会を毎月実施し30名の相談を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策行動計画の進捗管理や庁内ネットワークづくりを目的に和泉市自殺対策連絡会議を3回実施。新たに事例検討部会を立ち上げ、未遂事例をもとに事例検討を実施。 ・9月、3月の自殺予防週間・強化月間で、ポスター掲示、広報、相談窓口記載のティッシュを庁内外関係課窓口配布にて啓発。 ・「こころの体温計」については市のラインや子育てアプリを活用し、周知を強化。 ・消防職員を含む職員向けゲートキーパー研修を4回実施し114名が参加。新たに中級編を2回実施し62名が参加。 ・コロナ禍で壮年期女性の自殺者数が増加していたこともあり、保育所でポスターを掲示してもらったり、保育士等向けのゲートキーパー研修を新たに企画。18名が参加。 ・市民向けゲートキーパー研修を4回実施し74名が参加(12月末実績)。 ・こころのリフレッシュ相談会を毎月実施し19名(12月末実績)の相談を受ける。(オンライン利用なし) 	2	2	1	1	1	未遂事例をもとに関係課で事例検討を実施したことで、ハイリスク者をキャッチするための相談スキルの向上につながったと考える。 また、コロナ禍における自殺者の傾向を踏まえ、周知啓発や人材育成における対象を拡げることができた。	1	健康づくり推進室

事業 番号	事 業
96	<p>妊娠、出産期における健康保持のための支援をします。</p> <p>◆両親教室(妊婦教室)</p> <p>◆妊婦健康診査</p> <p>◆母子健康相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。受講者数 延273人、夫受講者数 延93人 (再掲Ⅲ-11-28-91)	保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。受講者数 延276人、夫受講者数 延92人 (再掲Ⅲ-11-28-91)	2	3	1	1	1	安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。日曜日については、オンラインでも受講できる形を継続する。	2	健康づくり推進室
健全な妊娠・出産を迎える上で、妊婦の経済的負担を軽減するために、妊娠届時に「妊婦健康診査受診券」を発行し、1人当たり合計120,000円の公費負担を行った。延14,490件の妊婦健診について公費負担を行った。また、多胎妊婦に関しては追加で受診券(5,500×5枚)を発行した。	健全な妊娠・出産を迎える上で、妊婦の経済的負担を軽減するために、妊娠届時に「妊婦健康診査受診券」を発行し、1人当たり合計120,000円の公費負担を行った。延14,776件の妊婦健診について公費負担を行った。また、多胎妊婦に関しては追加で受診券(5,500×5枚)を発行した。	2	3	1	1	1	健全な妊娠出産のため、引き続き妊婦健診の公費負担を実施する。	2	健康づくり推進室
安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、面接・電話・訪問による相談・支援を実施。特に、妊娠期の早い段階から母子の健康や子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供や助言を行った。また産後についても希望者には助産師の訪問を行った。母子保健指導 15,058人	安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、面接・電話・訪問による相談・支援を実施。特に、妊娠期の早い段階から母子の健康や子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供や助言を行った。また産後についても希望者には助産師の訪問を行った。母子保健指導 16,201人	2	3	1	1	1	安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援が提供できるよう、今後も支援を継続する。	2	健康づくり推進室

事業番号	事業
97	HIV／エイズや性感染症については、大阪府と連携し偏見を取り除き、正しい知識の普及や感染予防に努めます。 ◆HIV／エイズ等のポスター掲示等による普及活動

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
HIV予防週間は、ポスターを掲示し普及啓発を行った。	HIV予防週間は、ポスターを掲示し普及啓発を行った。	2	3	1 1 1	引き続き大阪府と連携し正しい知識の普及を行う。	2	健康づくり推進室

事業番号	事業
98	個人のプライバシーに配慮した女性のための健康に関する相談窓口を充実します。 ◆健康相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
骨密度検診、特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室で面接を実施。 電話・来所・訪問での相談に対し、健康相談を実施。 健康相談 延571人	骨密度検診、特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室で面接を実施。 電話・来所・訪問での相談に対し、健康相談を実施。 健康相談 延481人	2	3	1 1 1	健(検)診や教室等を通して健康相談を通して健康相談を実施できた。第3次健康都市いずみ21計画に添い、今後も健康課題の解決のため、引き続き実施していく。	2	健康づくり推進室

基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる 施策の方向 (12) あらゆる暴力の根絶

施策⑳ 暴力を容認しない社会風土の醸成

事業番号	事業
99	「女性に対する暴力をなくす運動」を展開し、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発や講演会等を行います。 ◆キャンペーンの実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。
 5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
・和泉シティプラザにて、啓発期間に「パープル・ライトアップ」を実施し、機運の醸成に努めた。 ・女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。 ・モアいずみ通信10～11月号にて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。 ・男女共同参画センター登録団体にパープルリボン作成の協力を依頼し、市職員に配布した。また、市民に対し市役所玄関に設置を行った。モアいずみ窓口、生涯学習センター窓口等にて、パープルリボンを配布し、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発を行った。 ・図書コーナーにDVに関する書籍を集め、特設コーナーを設置した。 ・令和2年11月号広報いずみにて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。	・和泉市役所・和泉シティプラザにて、啓発期間に「パープル・ライトアップ」を実施し、LINEやいずみメールでも情報発信を行い、機運の醸成に努めた。 ・女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。 ・モアいずみ通信11月号にて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。 ・男女共同参画センター登録団体にパープルリボン作成の協力を依頼し、市職員に配布した。また、モアいずみ窓口、生涯学習センター窓口等にて、パープルリボンを配布し、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発を行った。 ・図書コーナーにDVに関する書籍を集め、特設コーナーを設置した。 ・令和3年11月号広報いずみにて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。	1	2	1	1	1	今後も女性に対する暴力をなくす運動について周知を図り、暴力を許さない社会風土の醸成を行う。	2	人権・男女参画室
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。また今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、オンライン講義形式で実施した。 タイトル: 自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～ 開催日: 令和2年11月18日(水) 参加人数: 180人/定員: 200人(桃大生) 1人/定員 20人(一般参加者)	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。新型コロナウイルス感染予防対策のため、一般参加者にはオンラインのライブ配信形式で実施した。 タイトル: 自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～ 開催日: 令和3年11月24日(水) 参加人数: 107人/定員: 200人(桃大生) 3人/定員 20人(一般参加者)	1	3	1	1	1	昨年度に引き続き、SDGsの観点からデートDV防止に係る啓発を行うことで、より分かりやすい形で多くの学生の意識が向上してきたといえる。引き続き桃山学院大学と連携し実施していきたい。	3	人権・男女参画室

事業 番号	事業
100	<p>「男女共同参画週間」・「人権週間」等を通じて、広く意識啓発のための活動を行います。</p> <p>◆男女共同参画週間事業の実施</p> <p>◆「いのち・愛・人権」市民の集い、人権啓発講座、他</p>

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課			
<p>①広く市民に男女共同参画に対する理解を深め、その取り組みの輪を広げるために男女共同参画週間啓発事業として、ミニフォーラム(男女共同参画週間事業)を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施となった。</p> <p>②令和2年6月号広報いずみ及びモアいずみ通信5・6月号に男女共同参画週間事業を掲載。また、啓発用マグネットシートを公用車に貼り付け、和泉シティプラザ敷地内にはのぼりを設置し啓発を行った。また、今年度のキャッチフレーズ「ワクワク・ライフ・バランス」に合わせた図書の展示をモアいずみの図書コーナーで実施した。人権・男女参画室・男女共同参画センター・人権文化センターの窓口に啓発ティッシュを配架した。</p>	<p>①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日:6月26日(土) 内容:映画「カノン」上映 参加人数:147人/300人定員</p> <p>②令和3年6月号広報いずみ及びモアいずみ通信5・6月号に男女共同参画週間事業を掲載。また、啓発用マグネットシートを公用車に貼り付け、和泉シティプラザ敷地内にはのぼりを設置し啓発を行った。また、今年度のキャッチフレーズ「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」に合わせた図書の展示をモアいずみの図書コーナーで実施した。男女共同参画センター・人権文化センターの窓口に啓発ティッシュを配架した。</p>	1	2	1	1	1	1	<p>ミニフォーラム(男女共同参画週間事業)は、今を生きる女性たちの愛と葛藤を描いた家族再生の物語として映画「カノン」の上映を行い、女性が抱える様々な社会問題を市民に対し啓発することができた。今後も、広報いずみやいずみメール、チラシ、男女共同参画センターの機関誌などを活用し、市民への周知を図り、ミニフォーラムへの参加を呼び掛け目標値をめざす。</p>	1	人権・男女参画室
<p>人権週間にかかる人権啓発行事の一環として「いのち・愛・人権」市民の集いを開催。 (新型コロナウイルス緊急事態宣言発令のためオンデマンド配信のみ実施した。)</p> <p>配信期間:12月17日(木)～20日(日) 講師:東 優子氏 テーマ:「LGBTを理解する～日本社会の中でマイノリティであること～」申込人数:93名 再生回数:190回</p>	<p>人権週間にかかる人権啓発行事の一環として「いのち・愛・人権」市民の集いを開催。(会場とオンデマンド配信)</p> <p>会場開催日時:令和3年12月4日(土)午後2時～午後3時30分</p> <p>動画配信期間:令和4年1月10日(月)～16日(日)</p> <p>テーマ:自分らしく生きるヒント～性的マイノリティの理解を深める～</p> <p>講師:真道 ゴー氏(第5代WBC女子世界フライ級チャンピオン他)</p> <p>会場参加者:90名 再生回数:96回</p>	2	2	1	1	1	1	<p>市民のニーズを踏まえて、各種団体と連携しながら今後も効果的な事業を実施していく。</p>	2	人権・男女参画室

事業 番号	事業
101	<p>子ども・若者・成人と、年齢に応じて暴力によらない解決方法を身につけるための学習機会を提供します。</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆暴力によらない解決ブックレットの活用 ◆スクールカウンセラーの効果的な活用による生徒指導 ◆保育所や幼稚園での集会や日常の保育、教育の場で保育(教育)計画に基づいた指導</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
<p>「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。また今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、オンライン講義形式で実施した。</p> <p>タイトル: 自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～</p> <p>開催日: 令和2年11月18日(水)</p> <p>参加人数: 180人/定員: 200人(桃大生) 1人/定員 20人(一般参加者)</p> <p>(再掲IV-12-29-99)</p>	<p>「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。新型コロナウイルス感染予防対策のため、一般参加者にはオンラインのライブ配信形式で実施した。</p> <p>タイトル: 自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～</p> <p>開催日: 令和3年11月24日(水)</p> <p>参加人数: 107人/定員: 200人(桃大生) 3人/定員 20人(一般参加者)</p> <p>(再掲IV-12-29-99)</p>	1	3	1	1	1	<p>昨年度に引き続き、SDGsの観点からデートDV防止に係る啓発を行うことで、より分かりやすい形で多くの学生の意識が向上できたといえる。引き続き桃山学院大学と連携し実施していきたい。</p>	3	人権・男女参画室	
<p>暴力によらない解決ブックレットを活用し、問題解決力育成ワークにある、子どもと良い関係を作るワークや心を落ち着かせるワーク、表現力を育てるワークを実施するように指示した。これらに取り組むことで、子ども自身が自己の思いや考えを表現する喜びや嬉しさを知り、さらにその気持ちを相手に伝えることができるまでの行動過程を体感することで子ども自身がエンパワメントされ自己肯定感の確立につながった。</p>	<p>暴力によらない解決ブックレットを活用し、問題解決力育成ワークにある、子どもと良い関係を作るワークや心を落ち着かせるワーク、表現力を育てるワークを実施するように指示した。これらに取り組むことで、子ども自身が自己の思いや考えを表現する喜びや嬉しさを知り、さらにその気持ちを相手に伝えることができるまでの行動過程を体感することで子ども自身がエンパワメントされ自己肯定感の確立につながった。</p>	2	1	1	1	1	<p>今後もアンガーマネジメントなどの暴力によらない解決方法の学習の機会を充実させる。</p>	2	学校教育室	
<p>スクールカウンセラーの効果的な活用を指示し取組んだ。スクールカウンセラーは、小学校全20校や義務教育学校1校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。</p> <p>小学校での相談件数は2753件、相談人数4220人。中学校での相談件数は、5666人である。また、スクールカウンセラーが講師となり、子ども理解や暴力によらない解決方法の育成についての教職員研修を、のべ24回(中学校22回、小学校2回)行った。</p>	<p>スクールカウンセラーの効果的な活用を指示し取組んだ。スクールカウンセラーは、小学校全20校や義務教育学校1校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。</p> <p>小学校での相談件数は、2058件、相談人数3116人。中学校での相談件数は、4970人である。また、スクールカウンセラーが講師となり、子ども理解や暴力によらない解決方法の育成についての教職員研修を、のべ16回(中学校14回、小学校2回)行った。</p>	2	2	3	1	1	<p>スクールカウンセラー連絡会の実施を継続し、さらなる相談体制の充実を図った。</p>	1	学校教育室	

<p>・日々の保育の中で、自分の思いを出せる環境を整え、子どもたちのけんかの場面などをとらえ、人を傷つけることは良くないことであること、どのようにすれば良かったかということを、相手の気持ちにも子ども自身が気づいていけるようにした。 ・各年齢の中で、一人一人の子どもを大切にす保育を年間を通して実施した。</p>	<p>子ども同士のけんかの場面などをとらえ、子どもたちに話し合いの場を設ける。保育士等は、子どもたちが自分の気持ちを十分にさせるようにした上で、人を傷つけること、叩く、蹴るなどは良くないということを子どもたち自身が理解していけるよう話し合いを仲介する。必要に応じてクラスで話し合ったり、職員劇などで伝えたりする。各年齢の中で、一人一人の子どもを大切にす保育を年間を通して実施した。</p>	2	3	1	1	1	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事や散歩などができなくなり教室や園庭で過ごすことが多くなりコミュニケーション面での対応は増えている。今後も一人一人の保育者が意識をもって日常のかかわりを大切にしていきたい。</p>	2	こども未来室
---	--	---	---	---	---	---	--	---	--------

施策⑩ 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知

事業番号	事業
102	<p>様々な媒体を活用して、それぞれの暴力に適応した相談窓口について広く周知します。 ◆暴力等DVの相談業務 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆相談窓口の周知</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>暴力等DVについては、母子・父子自立支援員による相談を行い、関係機関と連携を取っている。 DV相談: 25件</p>	<p>暴力等DVについては、母子・父子自立支援員による相談を行い、関係機関と連携を取っている。 DV相談: 23件</p>	2	3	1	1	1	<p>被害者に寄り添いながら関係機関と連携し支援を行った。今後も引き続き関係機関との連携を図りながら支援を行う</p>	2	子育て支援室	

地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 高齢者虐待防止に関する研修回数 10件(令和2年度)。	地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 令和3年度高齢者虐待防止に関する研修回数:10件	2	2	2	1	1	虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って権利擁護支援に向けて周知啓発が必要。	2	高齢介護室
広報いずみ、モアいずみ通信に相談窓口を掲載する。 リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) 連携する関係各課(室)の相談窓口にリーフレットを設置、補充管理。 大阪母子医療センターに和泉市の女性相談窓口カードを設置。	広報いずみ、モアいずみ通信に相談窓口を掲載する。 リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) 連携する関係各課(室)の相談窓口にリーフレットを設置、補充管理。	1	1	1	3	2	場所によっては、補充頻度が多いところがあるので、補充管理をしっかり行う。 引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業								
103	性犯罪被害相談、性暴力救援センター・大阪(SACHICO)等の性犯罪専門の相談窓口を周知します。 ◆相談窓口の周知								

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター、コミュニティセンター、シティプラザ等) 連携する関係各課(室)の相談窓口にリーフレットを設置、補充管理。	リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター、コミュニティセンター、シティプラザ等) 連携する関係各課(室)の相談窓口にリーフレットを設置、補充管理。	1	3	1	1	1	引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事 業
104	性犯罪等女性や子どもへの暴力防止のため、関係団体と連携を図り犯罪防止の啓発活動、地域の安全情報の提供を推進します。 ◆地域防犯対策事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
<ul style="list-style-type: none"> ・青色防犯パトロールカーを使用して、通勤・通学路の見守り活動を実施した。 ・和泉総合防犯センター(ICPC)と連携して、不審者情報等のメール発言を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動費を補助することで、地域の青色防犯パトロール活動を支援した。 ・和泉総合防犯センター(ICPC)と連携して、不審者情報等のメール発言を実施した。 	2	1	1	1	1	防犯ボランティア団体と連携して、積極的に犯罪被害防止活動に取り組んだ結果、犯罪発生件数を減少させることができた。今後も、犯罪発生実態に即した犯罪被害の防止活動を推進する。 また、防犯灯・防犯カメラの維持管理を行い、ハード面からも犯罪の抑止に努めていく。 性犯罪、ひったくり、強盗、自動車関連：328件	1	危機管理課

事業番号	事業
105	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪やストーカー行為等、女性に対する暴力防止のため、学校を含む関係機関・関係団体との連携を基に、女性の人権侵害に関する市民の意識の向上と安全・安心のまちづくりの重要性を啓発します。 ◆地域防犯対策事業 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、関係機関との連携 ◆特別相談の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課				
					(1)	(2)	(3)				
防犯キャンペーンについて新型コロナウイルス感染防止のため実施できなかった。	防犯キャンペーンについて新型コロナウイルス感染防止のため実施できなかった。	5	4	1	1	1	1	1	新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、防犯キャンペーンの開催を再開可能か検討する。	2	危機管理課
護身術教室について新型コロナウイルス感染防止のため実施できなかった。	防犯教室について新型コロナウイルス感染防止のため実施できなかった。	5	4	1	1	1	1	1	新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、防犯教室の開催を再開可能か検討する。	2	危機管理課
和泉市配偶者からの暴力対策連絡会議への参加を行い、関係各課や関係機関と連携するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用及び子育て支援室や子ども家庭センターと連携し重要性を啓発した。スクールカウンセラーは、小学校全20校や義務教育学校1校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、2753件、相談人数4220人。中学校での相談人数は、5666人である。スクールソーシャルワーカーは、4名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	和泉市配偶者からの暴力対策連絡会議への参加を行い、関係各課や関係機関と連携するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用及び子育て支援室や子ども家庭センターと連携し重要性を啓発した。スクールカウンセラーは、小学校全20校や義務教育学校1校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、2058件、相談人数3116人。中学校での相談人数は、4970人である。スクールソーシャルワーカーは、4名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	2	2	3	1	1	1	1	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの相談体制を更に充実し、関係機関との連携を図る	1	学校教育室

女性に対する暴力をなくす運動啓発事業【特別相談】 (電話相談) 実施日:①9月30日(水)午前・午後 1件 ②10月29日(木)夜間 3件 (法律相談) 実施日:11月15日(日)午後1時~4時 1件 (カウンセリング) 実施日:11月22日(日) 3件	女性に対する暴力をなくす運動啓発事業【特別相談】 (電話相談) 実施日:①9月29日(水)午前・午後 5件 ②9月30日(木)夜間 2件 (法律相談) 実施日:11月20日(土)午後1時~4時 5件 (カウンセリング) 実施日:11月20日(土) 2件	1	3	1	1	1	女性に対する暴力をなくす運動を啓発するとともに、引き続き、特別相談の実施に取り組む。	2	人権・男女 参画室
---	--	---	---	---	---	---	--	---	--------------

施策⑩ セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進

事業 番号	事業
106	セクシュアル・ハラスメント等の相談窓口の周知を図ります。 ◆労働相談の周知 ◆女性の相談窓口の周知 ◆セクハラ防止対策相談窓口の周知

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。
- 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
広報いずみやホームページで本事業の周知を図るとともに、就労支援相談等で来庁した市民でセクシュアル・ハラスメント等の問題を抱える者に対し、本業務への誘導を行った。 令和2年度 労働相談者数実績 毎月第1日曜日 男性5人 女性6人 毎月第2金曜日 男性7人 女性1人 合計19人	広報いずみやホームページで本事業の周知を図るとともに、就労支援相談等で来庁した市民でセクシュアル・ハラスメント等の問題を抱える者に対し、本業務への誘導を行った。 令和3年度 労働相談者数実績 毎月第1日曜日 男性5人 女性6人 毎月第2金曜日 男性3人 女性3人 合計17人	2	3	1	2	2	今後も様々な媒体を活用し本業務とともに、大阪府や労働基準監督署でも相談窓口を設置していることを周知する。	2	くらしサポート課
・職場におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載した「女性の相談窓口」リーフレットを公共施設の女子トイレに設置 ・令和3年1月号広報にて全戸配布(73,000部)を行った男女共同参画カレンダーにセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載し、相談窓口の周知を図った。	・職場におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載した「女性の相談窓口」リーフレットを公共施設の女子トイレに設置 ・令和4年1月号広報にて全戸配布(73,000部)を行った男女共同参画カレンダーにセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載し、相談窓口の周知を図った。	1	3	1	1	1	引き続き、相談窓口の周知に努める。	2	人権・男女 参画室

大阪労働局の「セクシュアルハラスメントによる労災請求の相談窓口」の周知など、職員への情報提供を行うとともに、常に参照できるように市グループウェアに掲載した。	大阪労働局の「セクシュアルハラスメントによる労災請求の相談窓口」の周知など、職員への情報提供を行うとともに、常に参照できるように市グループウェアに掲載した。	2	1	1	1	1	相談窓口の周知、市グループウェアに掲載を行ったことで、職員に対して十分な周知を図ることができた。	2	人事課
--	--	---	---	---	---	---	--	---	-----

事業番号	事業
107	<p>事業主に対して、セクシュアル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置を周知します。</p> <p>◆和泉市企業人権協議会等を通じた周知</p> <p>◆セクシュアル・ハラスメント等を防止するための情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
和泉市企業人権協議会の会員事業所にセクシュアル・ハラスメント等についての相談窓口設置の情報や職場での人権研修などの参加を促した。	和泉市企業人権協議会の会員事業所にセクシュアル・ハラスメント等についての相談窓口設置の情報や職場での人権研修などの参加を促した。	2	3	3	2	2	和泉市企業人権協議会の会員事業所に相談窓口等の情報提供や研修への参加を促す。	2	くらしサポート課
セクシュアル・ハラスメント等を防止するため、くらしサポート課と双方から情報を発信した。 厚生労働省等から送付されるハラスメントに関する冊子等については、人権・男女参画室やモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)のラックに配置し、情報提供を行った。 また、昨年に引き続き、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、セクシュアルハラスメント等についての情報周知を行った。 またモアいずみ通信6月号にて、令和2年6月男女雇用機会均等法改正により、事業者の規模に関わらずセクシュアル・ハラスメント防止対策を行うことが義務づけられたことを周知した。	セクシュアル・ハラスメント等を防止するため、くらしサポート課と双方から情報を発信した。 厚生労働省等から送付されるハラスメントに関する冊子等については、人権・男女参画室やモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)のラックに配置し、情報提供を行った。 また、昨年に引き続き、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、セクシュアルハラスメント等についての情報周知を行った。 また昨年度のモアいずみ通信に引き続き、広報6月号にて、令和2年6月男女雇用機会均等法改正により、事業者の規模に関わらずセクシュアル・ハラスメント防止対策を行うことが義務づけられたことを周知した。	1	3	1	1	1	引き続き、セクシュアル・ハラスメント等防止や、相談窓口についての情報提供を行う。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事 業
108	市職員や教員に対し、事案をなくすために研修等を実施します。また、市役所や学校におけるセクシュアル・ハラスメント等に対応するための体制を充実します。 ◆各校にセクシャル・ハラスメント対策担当者を設置 ◆セクハラ防止研修 ◆研修等への参加促進 ◆職員研修への参加促進

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
各校において、複数名の担当者を置き、1名は必ず女性が担当している。令和2年度の相談件数は、1件だった。	各校において、複数名の担当者を置き、1名は必ず女性が担当している。令和3年度の相談件数は、0件であった。	2	3	1	1	1	今後も各学校に複数の担当者を置き、1名は女性が担当するように指示する。また、学校教育室にも女性担当者を置く。	2	学校教育室
セクハラへの正確な理解やモラル観を持ち、快適な職場環境の形成を図るため、啓発を実施した。 実施日：令和3年3月11～26日 研修内容：ハラスメント防止研修 受講人数：56名 【内訳】男性：44名 女性12名	セクハラへの正確な理解やモラル観を持ち、快適な職場環境の形成を図るため、啓発を実施した。 実施日：令和4年2月16日～令和4年3月4日 研修内容：ハラスメント防止研修 受講人数：71名 【内訳】男性：54名 女性17名	2	1	1	1	1	動画研修への切り替えにより、受講者数の増加を図った。	2	人事課
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためセクシュアル・ハラスメント防止研修は動画での研修となったが、視聴した職員が研修資料を各職員に配布して理解を深めた。	ハラスメントに対する知識を深め、正しい理解を身につけ快適な職場環境を形成を図るため研修、アンケートを実施した。 実施日 令和3年11月16～17日(計4回) 内容 「誰もがイキイキ働ける職場作りのために」 受講人数 80名	2	3	1	1	1	受講者の90%以上が理解できたと回答あり、より良い職場環境の形成に繋がった。今後は、女性活躍推進研修なども実施し快適な職場環境を形成する。	3	消防総務課
ハラスメント研修・LGBT研修等へ参加し、研修内容等について後日所属職員へ周知を行った。	各種研修に参加し研修内容について後日所属職員への周知を行った。	2	3	2	2	2	研修参加等を通じ正しい知識を取り入れ業務に生かしていきたい。	2	上下水道部 経営総務課

施策の方向 13 安心して相談できる相談体制の充実

施策⑳ 相談・支援体制の充実

事業番号	事業
109	<p>庁内の関係担当課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介できるようにします。</p> <p>◆関係担当課や関係機関との情報共有 ◆生活保護等事業</p> <p>◆高齢者権利擁護推進事業 ◆基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の実施</p> <p>◆市民相談事業 ◆いずみ子育てなんでも相談センター ◆教育センター相談事業 ◆青少年相談業務 ◆和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ◆人権相談 ◆総合生活相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
			1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
庁内の関係担当課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介した。	関係担当課や関係機関との連携により、的確な窓口を紹介した。	2	3	3	3	1	関係担当課や関係機関との連携により、的確な窓口を紹介する。	2	くらしサポート課
庁内の担当課及び町外の関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介することができた。生活保護等の相談については男女共同参画の視点や生活困窮者の人権を尊重し社会保障制度の充実につながる相談を行うことができた。生活福祉課での面接相談件数は、平成30年度が931件、令和元年度が917件、令和2年度が1,023件となっている。	庁内の関係課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な相談窓口を紹介することができた。生活保護の相談については男女共同参画の視点や生活困窮者の人権を尊重し社会保障制度の充実につながる相談を行うことができた。生活福祉課での面接相談件数は、令和元年度が917件、令和2年度が1,023件、令和3年度が855件となっている。	1	1	1	1	1	庁内の関係課及び庁外の関係機関との連携が重要となる。	2	生活福祉課
令和2年8月26日 高齢者虐待防止実務者会議開催 内容:令和元年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関:和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、地域包括支援センター	令和3年10月12日 高齢者虐待防止実務者会議開催 内容:令和元年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関:和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、地域包括支援センター	2	2	2	1	1	虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って権利擁護支援に向けて周知啓発が必要。	2	高齢介護室
障がい者地域自立支援協議会や各種部会(相談支援部会、就労支援部会、地域移行部会、地域生活支援拠点部会)を推進し、ネットワーク強化や質の向上に取組んだ。	障がい者地域自立支援協議会や各種部会(相談支援部会、就労支援部会、地域移行部会、地域生活支援拠点部会)を推進し、ネットワーク強化や質の向上に取組んだ。	2	3	3	1	1	今年度は、地域生活支援拠点部会において、緊急時の対応に備えた事前登録の仕組みを整備した。今年度はこの仕組みの運用を開始し、登録者数の増加に取り組む。	2	障がい福祉課

<p>生活に様々な問題を抱える市民の相談を受けて本人の状態に応じた支援を実施した。 生活困窮以外相談件数305件(内男114件、女164件、不明27件)市民からの相談を受け、相談内容に応じ必要となる部署(制度)につながるよう助言や紹介等を行った。 生活困窮者においては、経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため、住宅確保給付金事業で89件、一時生活支援事業で24件、就労準備事業で2件、就労訓練事業で0件、自立相談支援事業による就労支援を65名に実施し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。(令和3年3月末時点)</p>	<p>生活に様々な問題を抱える市民の相談を受けて本人の状態に応じた支援を実施した。 生活困窮以外相談件数177件(内男82件、女82件、不明13件)市民からの相談を受け、相談内容に応じ必要となる部署(制度)につながるよう助言や紹介等を行った。 生活困窮者においては、経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため、住宅確保給付金事業で35件、一時生活支援事業で19件、就労準備事業で6件、就労訓練事業で5件、自立相談支援事業による就労支援を38名に実施し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。(令和4年3月末時点)</p>	2	3	2	1	1	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、相談件数が激増した昨年度よりは、相談件数、事業実績は落ち着いている。しかし住居確保給付金事業、一時生活支援事業の利用者は引き続き多いことから、住居の不安定な生活困窮者が多いことが伺える。引き続き情報収集及び他課との連携を強化し、支援体制の充実を図る。</p>	2	くらしサポート課
<p>子ども家庭相談室に家庭児童相談員(5人:男1人、女4人)を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題(育児や学校に関する悩み、児童虐待等)について相談に応じた。相談内容によって、的確な窓口を紹介した。 相談件数687件</p>	<p>子ども家庭相談室に家庭児童相談員(5人:男1人、女4人)を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題(育児や学校に関する悩み、児童虐待等)について相談に応じた。相談内容によって、的確な窓口を紹介した。 相談件数636件</p>	2	3	1	1	1	<p>令和2年度から心理士を配置し相談体制を強化した。</p>	2	子育て支援室
<p>各学校に市及び府などの相談窓口について情報提供し、児童生徒・保護者への周知を依頼した。 大阪府教育委員会や教育センターの相談窓口(すこやかホットライン・チャイルドラインなど)を紹介するポスター・プリント等を配付した。</p>	<p>各学校に市及び府などの相談窓口について情報提供し、児童生徒・保護者への周知を依頼した。 大阪府教育委員会や教育センターの相談窓口(すこやかホットライン・チャイルドラインなど)を紹介するポスター・プリント等を配付した。</p>	2	3	3	3	1	<p>今後も引き続き、相談窓口の周知に努めるとともに、男女双方にとって相談しやすい丁寧な対応をこころがける。</p>	2	学校教育室
<p>青少年の健全な育成と自立支援につなげる相談、また、ニートやひきこもりなど、青少年問題に関する様々な相談に対し、その内容に沿った専門的な機関を紹介する。 相談方法：直接または電話による 対応時間：月～土曜日 午前9時～午後5時15分 ※日曜、祝日及び年末年始を除く 令和2年度相談件数：0件</p>	<p>青少年の健全な育成と自立支援につなげる相談、また、ニートやひきこもりなど、青少年問題に関する様々な相談に対し、その内容に沿った専門的な機関を紹介する。 相談方法：直接または電話による 対応時間：月～土曜日 午前9時～午後5時15分 ※日曜、祝日及び年末年始を除く 令和3年度相談件数：0件</p>	2	3	1	1	1	<p>専門職員の配置がないため、当センターから専門機関を紹介することとなります。今後も「広報いずみ」の相談案内欄に掲載し、青少年の多方面に渡る問題解決を行う専門機関を紹介していきます。</p>	2	青少年センター
<p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 令和2年度和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令のため令和2年2月書面開催(内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状報告について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④今後のスケジュールについて</p>	<p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 令和3年度和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 開催日：令和4年2月4日(担当者会議 令和3年10月6日開催)(内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状報告について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組について</p>	1	1	1	1	1	<p>関係担当課及び関係機関との連携強化を図ることができた。 引き続き、DV防止基本計画に基づき、DV被害者支援を行う。</p>	2	人権・男女参画室

<p>人権に関する相談を受ける中で、相談の内容を正確に把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応を行った。</p>	<p>人権に関する相談を受ける中で、相談の内容を正確に把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応を行った。</p>	2	3	1	1	1	<p>今後も引き続いて、広報いずみ・市ホームページ・いずみメール・ちらしにて相談事業の周知に努める。</p>	2	人権・男女参画室
<p>人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応をおこなった。また、令和2年6月より相談業務を委託（委託先：市人権協会）。専門的知識やノウハウを持つ事業者による相談業務にて事業の充実（出張相談の実施・小中高各学校に対する事業周知強化）を図った結果、進路選択に関する相談を中心に相談件数増加に繋がった。 相談件数328件 延べ件数437件</p>	<p>人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応をおこなった。また、専門的知識やノウハウを持つ事業者に相談業務を委託（委託先：市人権協会）し、事業の充実を図った結果、相談件数増加に繋がった。 相談件数443件 延べ件数531件</p>	1	3	1	1	1	<p>今後も市広報誌やホームページ、プラザだより、プラザニュース等様々な方法で市民に相談窓口の周知を図り実施していく。</p>	2	人権・男女参画室

事業番号	事業								
110	<p>在住外国人のための、仕事や生活等に関する相談窓口の整備や外国語による支援体制を充実します。</p> <p>◆外国人への相談事業 ◆総合生活相談事業 ◆女性問題総合相談事業の実施</p>								

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
<p>相談内容に応じて、その都度所管部署を定め、必要な相談が受けられる体制としている。</p>	<p>予定していた箇所の全てに音声翻訳機を導入し、外国語による支援体制を充実させた。</p>	2	1	3	1	1	<p>導入により、日本語のわからない外国人とのコミュニケーションがとりやすくなった。</p>	2	政策企画室	

<p>人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応をおこなった。また、令和2年6月より相談業務を委託(委託先:市人権協会)。専門的知識やノウハウを持つ事業者による相談業務にて事業の充実(出張相談の実施・小中高各学校に対する事業周知強化)を図った結果、進路選択に関する相談を中心に相談件数増加に繋がった。</p> <p>相談件数328件 延べ件数437件</p>	<p>人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応をおこなった。また、専門的知識やノウハウを持つ事業者による相談業務を委託(委託先:市人権協会)し、事業の充実を図った結果、相談件数増加に繋がった。</p> <p>相談件数443件 延べ件数531件</p>	1	3	1	1	1	<p>今後も市広報誌やホームページ、プラザだより、プラザニュース等様々な方法で市民に相談窓口の周知を図り実施していく。</p>	2	人権・男女 参画室
<p>DV被害者が外国人の場合、大阪府女性相談センター外国人専用電話を案内し、ニーズに応じてつなぐ。</p>	<p>DV被害者が外国人の場合、大阪府女性相談センター外国人専用電話を案内し、ニーズに応じてつなぐ。</p>	1	2	2	1	2	<p>電話相談での情報提供及び、庁内の支援体制の強化を図る等、途切れない支援ができるよう努める。</p>	2	人権・男女 参画室

施策⑬ 相談員の研修の充実

事業番号	事業
111	<p>相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。</p> <p>◆保護者支援のための研修の充実 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆研修の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
5. 予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
<p>保護者支援のための研修を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった</p>	<p>大阪大学名誉教授 小野田 正利氏「保護者との関係づくりに悩む園の先生たちへのエールメッセージ」と題し、保護者の気持ちを受け止め、背景にあるものも感じ取ることの大切さ等を学んだ。</p>	2	3	1	1	1	<p>新型コロナウイルス感染症により実施回数は少なかったが、保護者支援の研修を実施することができた。次年度も引き続きWeb等活用しながら実施していく。</p>	2	こども未来室

<p>地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 高齢者虐待防止に関する研修回数 10件(令和2年度)。 (IV-12-30-102 再掲)</p>	<p>地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 令和3年度高齢者虐待防止に関する研修回数:10件 (IV-12-30-102 再掲)</p>	2	2	2	1	1	<p>虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って権利擁護支援に向けて周知啓発が必要。</p>	2 高齢介護室
<p>電話相談員に対し相談員としての資質向上を図るため、電話相談員研修会(1回/月)を実施した。 和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象にDV防止研修会を開催。 テーマ:「DV被害者支援はどうあるべきか～大阪府の調査結果と連携のあり方～」 開催日:令和2年11月11日 対象:DV連絡会議担当者及び窓口担当職員等 参加人数:29人</p>	<p>・電話相談員に対し相談員としての資質向上を図るため、電話相談員研修会(1回/月)を実施した。 ・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象にDV防止研修会を開催。 視聴期間:令和3年12月1日～17日 対象:DV連絡会議担当者及び窓口担当職員等 テーマ:「児童虐待死事件の現場からDVを考える」 講師:中塚 久美子 さん(朝日新聞阪神支局記者) 参加人数:75人</p>	1	1	1	1	1	<p>今年度は、外部機関(包括支援センター・いきいきネット相談支援センター)にも参加を呼びかけ受講してもらった。 引き続き、職員等の資質向上に努める。</p>	2 人権・男女参画室
<p>相談業務に関わる者としての技術向上のため各種研修会に参加した。 ゲートキーパー研修(参加:人権擁護委員5名) 岸和田人権擁護委員協議会委員研修(参加:人権擁護委員7名)</p>	<p>相談業務に関わる者としての技術向上のため各種研修会に参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次年度へ延期した。</p>	5	4	1	1	1	<p>今後も引き続き相談業務に関する情報収集や対人援助技術の習得などに努める。</p>	2 人権・男女参画室

施策⑭ 人権侵害の相談・救済の充実

事業番号	事業
112	相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。 ◆法律相談 ◆人権相談

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
市民等の権利の擁護と人権の保障に関する相談に応じることを趣旨として実施しており、相談件数680件(内 男267件女413件)でした。 相談内容は離婚:男25件女106件、遺産・相続:男57件女112件、家事:男10件女16件、不動産:男42件女37件、損害賠償:男27件女40件、債権・債務:男45件女40件、倒産:男10件女3件、労働:男7件女11件、その他:男44件女48件 (令和2年3月末時点)	市民等の権利の擁護と人権の保障に関する相談に応じることを趣旨として実施しており、相談件数686件(内 男253件女433件)でした。 相談内容は離婚:男34件女86件、遺産・相続:男57件女128件、家事:男6件女21件、不動産:男46件女58件、損害賠償:男25件女28件、債権・債務:男40件女47件、倒産:男6件女2件、労働:男7件女6件、知的財産権等:男4件女1件、その他:男28件女56件 (令和4年3月末時点)	2	3	2 1 1	離婚相談においては、今後の生活について経済的なことや子育ての相談等もあることから、子育て支援室や生活福祉課につなぐケースや、子育て支援室からくらしサポートに紹介されて法律相談を受けるケースなど、他課との連携ができた。今後も、関係機関との連携を強化していく。	2	くらしサポート課
人権擁護委員による人権相談を年間23回実施(毎月第1・第3月曜日の午後1時30分～午後3時30分) 特設相談を年間3回実施(憲法週間・人権擁護委員の日・人権週間) 相談件数:5件	人権擁護委員による人権相談を年間24回実施(毎月第1・第3月曜日の午後1時30分～午後3時30分) 特設相談を年間3回実施(憲法週間・人権擁護委員の日・人権週間) 相談件数:3件	2	3	1 1 1	今後も引き続き、広報いずみ・市ホームページ・ちらしにて相談事業の周知に努める。	2	人権・男女参画室

施策⑮ DV防止対策の推進

事業番号	事業
113	DV防止基本計画に則り、総合的・計画的に推進します。

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
 5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
DV防止基本計画の事業について、関係各課(室)と連携し、被害者の支援を行った。	DV防止基本計画の事業について、関係各課(室)と連携し、被害者の支援を行った。	1	2	2 1 1	引き続き、DV防止基本計画を推進する。	2	人権・男女参画室

和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画 令和2年度及び令和3年度経年比較表

【施策及び実績報告】

施策の方向(1) DVについての正しい理解の普及

No	事業
1	DV防止法やDVについての理解を深めることができるよう、内閣府が定めた「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、暴力防止に向けて取り組みます。 ●女性に対する暴力をなくす運動啓発事業の実施

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度特別相談の実施 電話相談 10/29 午前10時～正午・午後1時～3時 10/29 午後6時～8時 法律相談 11/15 午後1時～4時 カウンセリング11/22 午後1時～4時 デートDV講演会 開催日 令和2年11月18日(木) 内容「自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～」 参加人数:210人 対象:市民、大学生及び教職員 女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。 パープルリボンを作成し、市長をはじめ、職員に配布し、全庁的に女性に対する暴力をなくす運動啓発を行うとともに、正面玄関受付にて、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発を行った。 和泉シティプラザにて、啓発期間に「パープルライトアップ」を実施し、機運の醸成に努めた。 モアいずみ図書コーナーでのDV防止に関連する図書特設コーナーの設置 令和2年11月号広報いずみ及びモアいずみ通信10～11月号にて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度特別相談の実施 電話相談 9/29 午前10時～正午・午後1時～3時 9/30 午後6時～8時 法律相談 11/20 午後1時～4時 カウンセリング11/20 午後1時～4時 デートDV講演会 開催日 令和3年11月24日(水) 内容「自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～」 参加人数:110人 対象:市民、大学生及び教職員 女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。 パープルリボンを作成し、市長をはじめ、職員に配布し、全庁的に女性に対する暴力をなくす運動啓発を行うとともに、正面玄関受付にて、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発を行った。 和泉市役所・和泉シティプラザにて、啓発期間に「パープルライトアップ」を実施し、機運の醸成に努めた。 モアいずみ図書コーナーでのDV防止に関連する図書特設コーナーの設置 令和3年11月号広報いずみ及びモアいずみ通信11月号にて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。 	1	引き続き、暴力防止に向けて取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
2	DV被害者や市民一人ひとりに届くよう、広報紙やホームページ等の様ざまな広報媒体の活用や、リーフレット等を作成し、DVの理解や相談窓口の周知のための普及啓発を充実します。 ●DVの理解や相談窓口の周知のためのリーフレット作成

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施後 討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
<p>・女性に特化したDV等相談窓口の一覧を掲載した男女共同参画カレンダーを作成し、令和3年1月号広報いずみに合わせて全戸配布することで、相談窓口の周知を図った。</p> <p>・「女性の相談窓口」(市女性総合相談、DV相談、性暴力被害相談などの女性に特化した相談先電話番号を載せたリーフレット)を関係各課の窓口及び公共施設のトイレに設置した。</p> <p>・大阪母子医療センターに和泉市の女性相談窓口カードを設置した。</p> <p>・市女性総合相談各窓口や関係相談先についてはホームページ、広報いずみ、モアいずみ通信等に掲載し、周知を図った。</p> <p>※女性総合相談事業による令和2年度のDV相談件数は法律相談8件(総数43件)カウンセリング7件(総数72件)電話相談9件(総数231件)となっている。</p> <p>※平成29年度より人権・男女参画室内に女性相談員を配置 令和2年度相談件数:192件</p> <p>・女性相談員によるDV情報提供会の実施。</p> <p>開催日:令和2年7月21日(火) 参加人数3人 令和2年10月19日(月) 参加人数4人 令和3年1月21日(木) 参加希望者が無しのため中止</p>	<p>・女性に特化したDV等相談窓口の一覧を掲載した男女共同参画カレンダーを作成し、令和4年1月号広報いずみに合わせて全戸配布することで、相談窓口の周知を図った。</p> <p>・「女性の相談窓口」(市女性総合相談、DV相談、性暴力被害相談などの女性に特化した相談先電話番号を載せたリーフレット)を関係各課の窓口及び公共施設のトイレに設置した。</p> <p>・市女性総合相談各窓口や関係相談先についてはホームページ、広報いずみ、モアいずみ通信等に掲載し、周知を図った。</p> <p>※女性総合相談事業による令和3年度のDV相談件数は法律相談7件(総数35件)カウンセリング17件(総数89件)電話相談21件(総数296件)となっている。</p> <p>※平成29年度より人権・男女参画室内に女性相談員を配置 令和3年度相談件数:232件</p> <p>・女性相談員によるDV情報提供会の実施。</p> <p>開催日:令和3年6月30日(水) 参加人数4人 令和3年9月21日(火) 参加人数1人 令和3年12月20日(月) 参加人数3人 令和4年3月24日(木) 参加人数4人</p>	1	平成30年度より新規事業として、女性相談員による「DV情報提供会」を実施。令和3年度は4回実施した。	2	人権・男女参画室

No	事業
3	緊急一時保護や保護命令申し立て等、DV被害者支援のためのしくみについて周知するための情報提供を充実します。 ●DV対応マニュアルの作成

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
平成27年度に作成した「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報にデータ更新を行い、関係担当課(室)相談窓口において相談者に対し、適切な対応ができるよう職員に周知するとともに、支援のしくみについて引き続き、認識の統一を図った。	平成27年度に作成した「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報にデータ更新を行い、関係担当課(室)相談窓口において相談者に対し、適切な対応ができるよう職員に周知するとともに、支援のしくみについて引き続き、認識の統一を図った。	1	関係担当課(室)相談窓口におけるDV被害者支援のためのしくみについての認識を維持し、引き続き、男女共同参画担当においては、DV被害者支援について情報収集を行い、強化・充実に努める。	1	人権・男女参画室

No	事業
4	DVの理解と根絶に向けた講演会等を開催します。 ●女性に対する暴力をなくす運動啓発事業

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
近年、交際相手からの暴力が注目され、特に10代の女性では40%以上にデートDVの経験があり、大きな社会的問題となっていることから、デートDVについての正しい理解を深め、デートDV防止のためには何ができるかを学び、考える機会とするため、桃山学院大学と連携し、学生及び市民に向け、デートDV講演会を実施した。 タイトル:「お互いを尊重した関係づくりのために」 参加人数:124人 対象:市民、大学生及び教職員 女性相談員によるDV情報提供会の実施。 開催日:令和2年7月21日(火) 参加人数3人 令和2年10月19日(月) 参加人数4人 令和3年1月21日(木) 参加希望者が無しのため中止	近年、交際相手からの暴力が注目され、特に10代の女性では40%以上にデートDVの経験があり、大きな社会的問題となっていることから、デートDVについての正しい理解を深め、デートDV防止のためには何ができるかを学び、考える機会とするため、桃山学院大学と連携し、学生及び市民に向け、デートDV講演会を実施した。 タイトル:「自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～」 講師:萬田久美子氏(大阪府男女共同参画推進財団嘱託職員) 参加人数:110人 対象:市民、大学生及び教職員 女性相談員によるDV情報提供会の実施。 開催日:令和3年6月30日(水) 参加人数4人 令和3年9月21日(火) 参加人数1人 令和3年12月21日(月) 参加人数3人 令和4年3月24日(木) 参加人数4人	1	デートDVが若年化の傾向に有ることから、中学校、高校でのデートDV防止に講演会開催を検討する。DV情報提供会は回数を増やし、気づきの場とし、相談につなげていく。	1	人権・男女参画室

No	事業
5	若年世代がデートDVの認識を高められるよう、学校等と連携して広報・啓発の仕方を工夫するとともに、学習機会の提供を充実します

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
<p>・市ホームページ、モアいずみ通信にて、「JKビジネス」や「AV出演強問題」を掲載したページを作成し市民に向け啓発を行った。</p> <p>・桃山学院大学と連携し、学生及び市民に向け、デートDV講演会を実施した。</p> <p>タイトル:「お互いを尊重した関係づくりのために」 参加人数:124人 対象:市民、大学生及び教職員</p>	<p>・市ホームページ、モアいずみ通信にて、「若年層に対する暴力防止啓発月間」を掲載したページを作成し市民に向け啓発を行った。</p> <p>・桃山学院大学と連携し、学生及び市民に向け、デートDV講演会を実施した。</p> <p>開催日 令和3年11月24日(水) 内容 「自分を守り、大切な人も守る～身近にひそむ暴力を見逃さないために～」 参加人数:110人 対象:市民、大学生及び教職員</p>	1	引き続き、デートDVについての啓発を行う。	2	人権・男女参画室
<p>大阪府教育庁が作成した中学生向けの「デートDV」についてのリーフレットを各中学校に配付し周知を行った。リーフレットを活用した授業を行った。また、相談窓口の周知も行った。</p>	<p>大阪府が作成した中学生向けのデートDV防止啓発リーフレットを各中学校に配付し、相談窓口の周知も行った。デートDVについて授業を行った学校も複数ある。また、3月にはドーンセンターに依頼し、デートDVについての研修動画を制作し、全校に視聴の周知を行った。</p>	1	デートDVに限らず、さまざまな性被害にあわないよう防止方法や相談窓口を周知した。デートDVについて授業を実施する学校が増加した。また、ドーンセンターに研修動画を依頼し、学校に周知したことでデートDVに対する教職員の意識が向上した。	2	学校教育室

No	事業
6	教育関係者へのDV理解促進のための情報や研修機会の提供を充実します。 ●和泉市スクールソーシャルワーカー派遣事業及び和泉市スクールカウンセラー派遣事業

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
<p>・府主催のDV研修の案内について情報提供し、研修機会の提供を行った。</p> <p>・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会を開催。</p> <p>テーマ:「DV相談支援はどうあるべきか～大阪府の調査結果と連携のあり方～」 開催日:令和2年11月11日(水) 参加人数:29人</p>	<p>・府主催のDV研修の案内について情報提供し、研修機会の提供を行った。</p> <p>・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会をオンデマンド配信で実施した。</p> <p>テーマ:「児童虐待死事件の現場からDVを考える」 視聴期間:令和3年12月1日～17日 参加人数:75人</p> <p>・デートDV予防啓発出前講座の一環として、教育委員会作成のハラスメント研修動画にてデートDV予防啓発に係る動画を作成。</p> <p>参加人数:858人 対象:和泉市の教職員 動画配信期間:令和4年4月6日～5月23日 (当初配信期間が令和4年3月15日～3月31日の予定だったが、新型コロナウイルス感染症による諸事情により延期)</p>	1	引き続き、事業を実施し啓発していく。	2	人権・男女参画室

<p>・校内、及び関係機関と連携したケース会議を実施した。DVが児童生徒にとっては、「心理的虐待」にあたるなど、教員の意識向上と事案を抱える児童生徒及び保護者への対応について、専門的な立場からの助言を行った。</p> <p>・ケース会議に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどが参加し、専門的な助言を受けながら、事案に対する適切な見立てや方策を考える機会を持った。</p>	<p>・校内、及び関係機関と連携したケース会議を実施した。DVが児童生徒にとっては、「心理的虐待」にあたるなど、教員の意識向上と事案を抱える児童生徒及び保護者への対応について、専門的な立場からの助言を行った。</p>	<p>2 新型コロナウイルスの影響で、保護者の経済力が不安定になり、「こどもの貧困」が課題となっている。子どもを取り巻く環境が多様化するなか、包括的な支援として、就学援助等の制度やいずみ希望塾への参加のはたらきかけを学校や関係課と連携して行った。今後も、課題解決に向けた取組みを実施する。</p>	<p>3 学校教育室</p>
--	--	--	----------------

No	事業
7	<p>講座や啓発物の配布等を通して、自治会やPTA、事業者等への啓発を充実します。</p> <p>●女性に対する暴力をなくす運動啓発事業</p>

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 <small>事業終了・実施検討中</small>	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
<p>女性に対する暴力をなくす運動啓発事業(特別相談・講座)についてのチラシを作成し、和泉シティプラザ、人権文化センター、和泉市役所等に配布し、女性に対する暴力をなくす運動啓発とともに特別相談を実施した。</p> <p>・令和2年度特別相談の実施 電話相談 10/29 午前10時～正午・午後1時～3時 10/29 午後6時～8時 法律相談 11/15 午後1時～4時 カウンセリング11/22 午後1時～4時</p>	<p>女性に対する暴力をなくす運動啓発事業(特別相談・講座)についてのチラシを作成し、和泉シティプラザ、人権文化センター、和泉市役所等に配布し、女性に対する暴力をなくす運動啓発とともに特別相談を実施した。</p> <p>・令和3年度特別相談の実施 電話相談 9/29 午前10時～正午・午後1時～3時 9/30 午後6時～8時 法律相談 11/20 午後1時～4時 カウンセリング11/20 午後1時～4時</p>	1	引き続き、事業を実施し啓発していく。	2	人権・男女参画室

施策の方向(2) 安心して相談できる体制の充実

No		事業			
8		広報紙やホームページ等で相談窓口の周知を強化します。 ●相談窓口の周知			
令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
・相談窓口の一覧を掲載した男女共同参画カレンダーを作成し、令和3年1月号広報いずみに合わせて全戸配布することで、相談窓口の周知を図った。 ・広報及びモアいずみ通信に相談窓口の掲載。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。 ・大阪母子医療センターに和泉市の女性相談窓口カードを設置(令和2年度相談実績) カウンセリング(毎月第2、4(火)午後1時～5時) 相談件数 72件 うちDV7件 法律相談(毎月第4(火)午後1時～4時) 相談件数 43件 うちDV8件 電話相談 毎月第1～4(水)午前10時～正午 午後1時～3時 毎月第1～4(木)午後6時～8時 相談件数231件 うちDV9件	・相談窓口の一覧を掲載した男女共同参画カレンダーを作成し、令和4年1月号広報いずみに合わせて全戸配布することで、相談窓口の周知を図った。 ・広報及びモアいずみ通信に相談窓口の掲載。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。 (令和3年度相談実績) カウンセリング(毎月第2、4(火)午後1時～5時) 相談件数 89件 うちDV17件 法律相談(毎月第4(火)午後1時～4時) 相談件数 35件 うちDV7件 電話相談 毎月第1～4(水)午前10時～正午 午後1時～3時 毎月第1～4(木)午後6時～8時 相談件数296件 うちDV21件 DV相談(月～金 午前10時～正午 午後12時45分～4時45分) 相談件数 190件	1	リーフレット等、定期的に補充管理し、周知に努める。	2	人権・男女参画室

No		事業			
9		相談機関の案内リーフレットやカードを作成し、女性が利用する施設や場所に配置します。 ●リーフレットやカードによる相談窓口の周知			
令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立病院、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・大阪母子医療センターに和泉市の女性相談窓口カードを設置	・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立病院、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・大阪母子医療センターに和泉市の女性相談窓口カードを設置	1	リーフレット等、定期的に補充管理し、周知に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
10	<p>高齢者や障がい者等様々な困難を抱えるDV被害者のニーズに応じた庁内の相談体制の連携の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相談体制の連携 ●基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の実施 ●地域包括支援センターの運営 ●高齢者権利擁護推進事業

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 <small>事業終了・実施検討中</small>		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
DV被害者のニーズに応じ、障がい福祉課や高齢介護室等と連携し対応するほか、住居設定や生活費、就業や就学関係、住民基本台帳の支援措置に係る意見付与等についての支援が必要であれば、担当課(室)担当者とも連携し対応を行った。	DV被害者のニーズに応じ、障がい福祉課や高齢介護室等と連携し対応するほか、住居設定や生活費、就業や就学関係、住民基本台帳の支援措置に係る意見付与等についての支援が必要であれば、担当課(室)担当者とも連携し対応を行った。	1	引き続き、関係各課と連携し、ワンストップの相談体制を行う。	2	人権・男女参画室
基幹相談支援センターにおいて、DV被害者に対する相談援助を行った。また、DV被害を受けた方に、相談窓口の紹介、関係機関(生活福祉課等)への同行相談、福祉サービスの導入支援等の支援を行った。基幹相談支援センターの相談人数141人(男性63人女性78人)、その支援内容の総件数は1,923件で、うち権利擁護に関する支援は184件(延べ)	基幹相談支援センターにおいて、DV被害者に対する相談援助を行った。また、DV被害を受けた方に、相談窓口の紹介、関係機関(生活福祉課等)への同行相談、福祉サービスの導入支援等の支援を行った。基幹相談支援センターの相談人数150人(男性68人女性82人)、その支援内容の総件数は1,797件で、うち権利擁護に関する支援は298件(延べ)	2	基幹相談支援センターが初動の相談援助を行った後、障がい者相談支援センターや特定相談支援事業所等と連携を図り対応できた。今後も、障がい者虐待に関するスキルアップを図ることを目的に、研修会の実施や、支援体制の強化に取り組む。	3	障がい福祉課
<p>地域包括支援センターの日々の業務の中で、総合相談業務を行っており、高齢者のさまざまな困難を抱えるDV被害者のニーズに応じた相談を行った。</p> <p>令和2年度高齢者虐待新規相談件数全59件(うち夫より19件、妻より5件)</p> <p>①和泉市社会福祉協議会 ②ピオラ和泉 ③光明荘 ④貴生会</p>	<p>地域包括支援センターの日々の業務の中で、総合相談業務を行っており、高齢者のさまざまな困難を抱えるDV被害者のニーズに応じた相談を行った。</p> <p>令和3年度高齢者虐待新規相談件数全62件(うち夫より13件、妻より2件)</p> <p>①和泉市社会福祉協議会 ②ピオラ和泉 ③光明荘 ④貴生会</p>	2	新型コロナウイルスの外出自粛が影響しているのか、虐待に居たらないまでも、家庭内の不和に関する相談が急増している。早期に兆候を察知し、把握できる体制の強化が急務である。	3	高齢介護室
<p>地域包括支援センターや関係機関と協働して支援が必要な高齢者に対してニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行うことができるよう、連携強化の会議を開催した。</p> <p>令和2年8月26日 高齢者虐待防止実務者会議開催。 内容:令和元年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関:和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、地域包括支援センター</p>	<p>地域包括支援センターや関係機関と協働して支援が必要な高齢者に対してニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行うことができるよう、連携強化の会議を開催した。</p> <p>令和3年10月12日 高齢者虐待防止実務者会議開催。 内容:令和3年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関:和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、地域包括支援センター</p>	2	新型コロナウイルスの外出自粛が影響しているのか、虐待に居たらないまでも、家庭内の不和に関する相談が急増している。早期に兆候を察知し、把握できる体制の強化が急務である。	3	高齢介護室

No	事業
11	<p>様々な相談窓口担当者や相談に携わる職員に対し、配偶者暴力防止法等関連法令や関連施設の提供、対人援助技術の習得や、問題解決に向けた適切な助言ができるとともに、被害者に対して二次的被害を与えないよう、研修を通して周知を図ります。</p> <p>●和泉市配偶者からの暴力対策連絡会議の実施</p>

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
<p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。</p> <p>・令和2年度 和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令のため令和2年2月書面開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状報告について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④今後のスケジュールについて</p> <p>・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会を開催。 テーマ:「DV相談支援はどうあるべきか～大阪府の調査結果と連携のあり方～」 開催日:令和2年11月11日(水) 参加人数:29人</p>	<p>和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。</p> <p>令和3年度和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 開催日:令和4年2月14日 (担当者会議 令和3年10月6日開催) (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状報告について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組について</p> <p>・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会を開催。 テーマ:「児童虐待死事件の現場からDVを考える」 視聴期間:令和3年12月1日～17日 講師:中塚 久美子 さん(朝日新聞阪神支局記者) 参加人数:75人</p>	<p>1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中</p>	<p>1 引き続き連携強化及び職員の意識向上に努める。</p>	<p>1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規</p>	<p>2 人権・男女参画室</p>

No	事業
12	<p>健診や育児相談、保育所・幼稚園・学校等における子どもの状態等、様々な機会を通してDVの早期発見に努めます。</p> <p>●要保護児童対策地域協議会 ●母子健康診査事業、母子健康相談事業</p>

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
<p>【年間実績】 ○要保護児童対策地域協議会代表者会議【1回】 ○要保護児童対策地域協議会実務者会議【20回】 内訳:実務検討会議【12回】 進行管理会議【8回】 ○個別事例検討会議【152回】</p>	<p>【年間実績】 ○要保護児童対策地域協議会代表者会議【1回】 ○要保護児童対策地域協議会実務者会議【20回】 内訳:実務検討会議【12回】 進行管理会議【8回】 ○個別事例検討会議【106回】</p>	<p>1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中</p>	<p>2 新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響により、代表者会議については書面開催とした。</p>	<p>1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規</p>	<p>3 子育て支援室</p>

<p>・要支援ケースとして、年間3回の進行管理会議を実施。また、月に1回の実務者会議を行い、新規ケースの対応について、検討した。学校と連携し、スクールソーシャルワーカーを中心に、モニタリングを行い、情報の収集と早期対応にむけた会議を実施した。</p>	<p>・要支援ケースとして、年間3回の進行管理会議を実施。また、月に1回の実務者会議を行い、新規ケースの対応について、検討した。学校と連携し、スクールソーシャルワーカーを中心に、モニタリングを行い、情報の収集と早期対応にむけた会議を実施した。</p>	<p>2</p> <p>子育て支援室が児童虐待防止研修会を例年実施している。今年度は2月17日に人権文化センターで実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で研修が実施できなかった。急遽実施方法を変更し、動画を録画し、配信を行う形で準備を進めた。年度内での配信はできなかったが、令和4年5月に配信する予定で準備を進めている。</p>	<p>3</p> <p>学校教育室</p>
<p>乳幼児健康診査や妊娠届出時、訪問や相談等で、情報提供や他機関を紹介するなど、相談窓口につないでいる。 相談数 延 19人</p>	<p>乳幼児健康診査や妊娠届出時、訪問や相談等で、情報提供や他機関を紹介するなど、相談窓口につないでいる。 相談数 延 23人</p>	<p>1</p> <p>DVIについての知識、理解を深め、相談時に適切に対応できるよう努める。 また、必要時は関係機関と連携を図り対応する。</p>	<p>2</p> <p>健康づくり推進室</p>

No	事業
13	外国語によるDV相談情報の提供とともに、在住外国人の被害者に応じた相談体制の整備を検討します。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
<p>DV被害者が外国人の場合、大阪府女性相談センター外国人専用電話を案内し、ニーズに応じてつなぐ。 大阪府女性相談センター外国人専用電話については、「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」に記載をし、関係各課(室)にも周知を行い、関係各課(室)窓口等で相談があった場合でも対応できるよう、情報共有をおこなった。</p>	<p>DV被害者が外国人の場合、大阪府女性相談センター外国人専用電話を案内し、ニーズに応じてつなぐ。 大阪府女性相談センター外国人専用電話については、「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」に記載をし、関係各課(室)にも周知を行い、関係各課(室)窓口等で相談があった場合でも対応できるよう、情報共有をおこなった。</p>	<p>1</p>	<p>庁内連携を図り、スムーズに対応できるよう情報収集を行い、情報共有に努める。</p>	<p>2</p>	<p>人権・男女参画室</p>

No	事業
14	男性からのDV被害の相談に対応するため、先進事例等を参考に相談体制を検討します。 ●男性の相談窓口の検討

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
人権・男女参画室に配置している女性相談員のDV相談においては、令和2年度は男性からの相談件数は3件だった。相談があった時は、傾聴したうえで、相談者のニーズに応じた相談窓口等情報提供を行うが、引き続き、男性からの相談件数、内容等を把握し、必要性については、引き続き今後の相談件数の推移や先進事例等を参考にしながら検討する。 ・大阪府が実施する「男性のための電話相談」について、市ホームページ、モアいずみ通信(毎月)に記載し、周知を行った。	人権・男女参画室に配置している女性相談員のDV相談においては、令和3年度は男性からの相談件数は1件だった。相談があった時は、傾聴したうえで、相談者のニーズに応じた相談窓口等情報提供を行うが、引き続き、男性からの相談件数、内容等を把握し、必要性については、引き続き今後の相談件数の推移や先進事例等を参考にしながら検討する。 ・大阪府が実施する「男性のための電話相談」について、市ホームページ、モアいずみ通信(毎月)に記載し、周知を行った。	1	平成28年7月より、大阪府の男性相談が実施されているので、引き続き市ホームページ及びモアいずみ通信に掲載し、周知を行いながら必要性について調査・研究していく。	2	人権・男女参画室

No	事業
15	加害者を対象とした国・大阪府等の取組に関する情報収集に努めます。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
国は、令和2年度配偶者暴力に係る加害者プログラム等に関する調査研究を実施。	国や大阪府等が行っている加害者への取組に関する情報を収集に努めた。	2	国が実施した調査研究報告書の内容も踏まえ、加害者を対照とした取組に関する課題等について、引き続き、情報収集及び調査・研究に努める。	3	人権・男女参画室

No	事業
16	緊急に被害者の保護が必要となった場合、安全で安心して保護を受けられるよう、大阪府女性相談センターや子ども家庭センター、警察等の関係機関と連携しながら、必要に応じて同行支援も行き、一時保護につなぎます。 ●一時保護

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
緊急に被害者の保護が必要となった場合、安全で安心して保護を受けられるよう、関係機関と連携しながら一時保護を行った。	緊急に被害者の保護が必要となった場合、安全で安心して保護を受けられるよう、関係機関と連携しながら一時保護を行った。	1	引き続き、被害者の相談は傾聴し、ニーズに応じた支援を行う。	2	人権・男女参画室
・関係機関と連携をし、緊急時にもすぐに対応ができるよう準備をしていた。 一時保護件数 5件	・関係機関と連携をし、緊急時にもすぐに対応ができるよう準備をしていた。 一時保護件数 0件	2	関係機関と連携を図りながら一時保護に繋いだ。今後も連携を取りながら進めていく。	3	子育て支援室

施策の方向(3) 一時保護支援と自立支援の充実

No	事業
17	夜間・休日の一時保護の対応については、大阪府や警察との連携を強化します。 ●夜間・休日の一時保護の対応

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
・緊急を要する場合において、夜間・休日の一時保護の対応については、大阪府や警察と連携し対応するため、毎年和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議を開催し、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 令和2年度「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」令和3年2月15日開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組みについて	・緊急を要する場合において、夜間・休日の一時保護の対応については、大阪府や警察と連携し対応するため、毎年和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議を開催し、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 令和3年度「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」令和4年2月14日開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組みについて	1	情報共有・共通認識を図り、庁内連携し、DV被害者のニーズにあわせ支援していく。	2	人権・男女参画室

緊急時にもすぐに対応ができるよう、大阪府や警察等と連携を図った。	緊急時にもすぐに対応ができるよう、大阪府や警察等と連携を図った。	2	警察等と連携を図り支援を行った。今後も連携を取りながら進めていく。	3	子育て支援室
----------------------------------	----------------------------------	---	-----------------------------------	---	--------

No	事業
18	ハローワーク等と連携し、就労支援を行います。

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
DV等被害者が就労支援相談等に来た場合、ハローワーク等の関係機関と連携し支援を行うことを課内で再確認した。 DV被害者の就労支援相談0件	DV等被害者が就労支援相談等に来た場合、ハローワーク等の関係機関と連携し支援を行うことを課内で再確認した。 DV被害者の就労支援相談0件		1 DV等被害者が就労支援相談等に来た場合、ハローワーク等の関係機関と連携し支援を行う。		2 暮らしサポート課
・DV被害者のハローワーク等と連携した就労支援相談:0件	・DV被害者のハローワーク等と連携した就労支援相談:2件		2 引き続き、被害者の就労支援を行っていく。		3 子育て支援室

No	事業
19	DVと児童虐待の関係について啓発するとともに、児童虐待防止のための相談や支援を行います。 ●母子・父子自立支援員による相談業務及び関係機関との連携 ●子育てなんでも相談センター ●子ども電話相談事業(チャイルドライン)

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
児童虐待に係わるケースに関しては、こども政策担当課と連携し関係機関(警察、大阪府)と連携をとりながら支援を行った。	児童虐待に係わるケースについては、こども政策担当課と連携し関係機関と連携をとりながら支援を行った。		2 引き続き連携を取りながら支援を行う。		3 子育て支援室

<p>子ども家庭相談室に、家庭児童相談員(5人:男1人、女4人)、心理士を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題(育児や学校に関する悩み、児童虐待等)について相談に応じた。相談内容によって、的確な窓口を紹介し、支援につないだ。</p> <p>相談件数 687件</p>	<p>子ども家庭相談室に、家庭児童相談員(5人:男1人、女4人)、心理士を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題(育児や学校に関する悩み、児童虐待等)について相談に応じた。相談内容によって、的確な窓口を紹介し、支援につないだ。</p> <p>相談件数 636件</p>	2	引き続き相談内容に応じた窓口の紹介、支援につないでいく。	3	子育て支援室
<p>・いずみこどもAID(ボランティア団体)による電話相談開設日は、毎週水曜日午後4時～午後8時30分で年間52回実施し、1945件の電話相談があった。(新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響にて4月3回、5月5回中止)</p> <p>・チャイルドラインカード、チラシを和泉市内小・中学校の児童・生徒全員に配布、各公共施設窓口等に設置するとともに、ポスターを各学校及び各公共施設に掲示し、18歳までの子どもに対する悩みの相談事業の啓発に努めた。</p> <p>・電話相談の受け手ボランティアの養成講座等を10回、ステップアップ研修を実施し、ボランティアの育成・スキルアップを図ることができた。</p>	<p>・いずみこどもAID(ボランティア団体)による電話相談開設日は、毎週水曜日午後4時～午後8時30分で年間60回実施し、1,985件の電話相談があった。</p> <p>・チャイルドラインカード、チラシを和泉市内小・中学校の児童・生徒全員に配布、各公共施設窓口等に設置するとともに、ポスターを各学校及び各公共施設に掲示し、18歳までの子どもに対する悩みの相談事業の啓発に努めた。</p> <p>・電話相談の受け手ボランティアの養成講座等を10回、ステップアップ研修を実施し、ボランティアの育成・スキルアップを図ることができた。</p>	2	受け手ボランティアの養成講座等を10回、ステップアップ研修を1日実施し、ボランティアの育成・スキルアップを図ることができた。 また、年間約2,000件に近い電話アクセスがあることから、子どもたちにとっての「心の居場所」としての役割を果たすことができた。 今後も啓発に努め、子どもの悩み等を受け止め、子どもの心の居場所となるよう電話相談を行っていく。	3	青少年センター

No	事業
20	<p>障害者虐待防止法に基づき、関係機関等と連携して一時保護を行うなど、障がいのある被害者支援を行います。</p> <p>●一時保護等の虐待被害者支援</p>

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
<p>虐待通報に対して、事実確認から虐待者及び被虐待者への支援を行った。虐待者はおおむね本人の養護者で、本人への支援の負担感から虐待に至ることが多く、本人の権利擁護は当然のことながら、虐待者の負担軽減にも努めた。必要に応じて事実確認を行い、虐待認定を行った後、虐待の事実無しと判断したケースも、見守りやサービス導入をする等の支援をしている。令和2年度の通報件数は、養護者虐待(DVも含む)13件、施設従事者虐待8件、使用者(雇用主)虐待1件となっている。必要に応じて事実確認を行い、虐待認定を行った後、虐待の事実無しと判断したケースも、見守りやサービス導入をする等の支援をしている。</p>	<p>虐待通報に対して、事実確認から虐待者及び被虐待者への支援を行った。虐待者はおおむね本人の養護者で、本人への支援の負担感から虐待に至ることが多く、本人の権利擁護は当然のことながら、虐待者の負担軽減にも努めた。必要に応じて事実確認を行い、虐待認定を行った後、虐待の事実無しと判断したケースも、見守りやサービス導入をする等の支援をしている。令和3年度の通報件数は、養護者虐待(DVも含む)10件、施設従事者虐待6件、使用者(雇用主)虐待0件となっている。必要に応じて事実確認を行い、虐待認定を行った後、虐待の事実無しと判断したケースも、見守りやサービス導入をする等の支援をしている。</p>	2	虐待通報に対して、内容を詳細に検討する会議を迅速に開催し、虐待者及び被虐待者への支援を行った。虐待者は本人の養護者で、本人への支援の負担感から虐待に至ることが多く、本人の権利擁護は当然のことながら、虐待者の負担軽減にも努めた。今後も同様の取組みを進める。	3	障がい福祉課

No	事業
21	<p>高齢者虐待防止法に基づき、関係機関等と連携して一時保護を行うなど、被害者の支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●介護相談員派遣事業 ●地域包括支援センターの運営 ●高齢者権利擁護推進事業 ●緊急一時保護に関する業務

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣活動は一時中止。12月に介護サービス相談員養成研修を実施し、新たに3名増員した。	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため施設にて面会制限が行われているため、活動できなかった	2	新型コロナウイルスの外出自粛が影響しているのか、虐待に居たらないまでも、家庭内の不和に関する相談が急増している。早期に兆候を察知し、把握できる体制の強化が急務である。	1	高齢介護室
<p>地域包括支援センターと協働して支援が必要な高齢者に対してニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行った。</p> <p>令和2年度高齢者虐待新規相談件数全59件(うち夫より19件、妻より5件)</p> <p>①和泉市社会福祉協議会 ②ピオラ和泉 ③光明荘 ④貴生会</p>	<p>地域包括支援センターと協働して支援が必要な高齢者に対してニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行った。</p> <p>令和3年度高齢者虐待新規相談件数全62件(うち夫より13件、妻より2件)</p> <p>①和泉市社会福祉協議会 ②ピオラ和泉 ③光明荘 ④貴生会</p>	2	新型コロナウイルスの外出自粛が影響しているのか、虐待に居たらないまでも、家庭内の不和に関する相談が急増している。早期に兆候を察知し、把握できる体制の強化が急務である。	3	高齢介護室
<p>地域包括支援センターと協働して支援が必要な高齢者に対してニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行った。</p> <p>令和2年8月26日 高齢者虐待防止実務者会議開催。 内容:平成元年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関:和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、地域包括支援センター</p> <p>令和2年度高齢者虐待新規相談件数:59件(うち夫より19件、妻より5件)</p>	<p>地域包括支援センターと協働して支援が必要な高齢者に対してニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行った。</p> <p>令和3年10月12日 高齢者虐待防止実務者会議開催。 内容:平成3年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関:和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、地域包括支援センター</p> <p>令和3年度高齢者虐待新規相談件数:59件(うち夫より19件、妻より5件)</p>	2	新型コロナウイルスの外出自粛が影響しているのか、虐待に居たらないまでも、家庭内の不和に関する相談が急増している。早期に兆候を察知し、把握できる体制の強化が急務である。	3	高齢介護室
<p>高齢者虐待事案に関して、緊急性の高い事案に関し、特別養護老人ホームや養護老人ホーム、生活支援ハウスなどに一時保護の支援を検討。その後、保健所や必要に応じて関係機関と連携し、再発防止に向けて支援を行った。</p> <p>令和2年度高齢者虐待新規相談件数全59件(うち夫より19件、妻より5件)うち、一時保護0件</p>	<p>高齢者虐待事案に関して、緊急性の高い事案に関し、特別養護老人ホームや養護老人ホーム、生活支援ハウスなどに一時保護の支援を検討。その後、保健所や必要に応じて関係機関と連携し、再発防止に向けて支援を行った。</p> <p>令和3年度高齢者虐待新規相談件数全62件(うち夫より13件、妻より2件)</p>	2	新型コロナウイルスの外出自粛が影響しているのか、虐待に居たらないまでも、家庭内の不和に関する相談が急増している。早期に兆候を察知し、把握できる体制の強化が急務である。	3	高齢介護室

No	事業
22	<p>一時保護や住民票の写し等の交付を制限する手続き等、市役所等の窓口対応は、DV被害者の立場に立って行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●職員研修及び対応マニュアルの整備 ●窓口業務における情報の共有 ●くらしサポートセンターにおける相談業務 ●高齢者権利擁護推進事業 ●小学校児童就学事業、中学校生徒就学事業 ●生活保護等事業

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
		1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	
<p>・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者として、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会を開催。 テーマ:「DV相談支援はどうあるべきか～大阪府の調査結果と連携のあり方～」 開催日:令和2年11月11日(水) 参加人数:29人 ・「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」の更新及び周知。 平成27年度に作成した「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報にデータ更新を行い、関係担当課(室)相談窓口において相談者に対し、適切な対応ができるよう職員に周知するとともに、連携を強化、情報共有・共通認識を図った。</p>	<p>・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者として、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会を開催。 テーマ:「児童虐待死事件の現場からDVを考える」 視聴期間:令和3年12月1日～17日 講師:中塚 久美子さん(朝日新聞阪神支局記者) 参加人数:75人 ・「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」の更新及び周知。 平成27年度に作成した「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報にデータ更新を行い、関係担当課(室)相談窓口において相談者に対し、適切な対応ができるよう職員に周知するとともに、連携を強化、情報共有・共通認識を図った。</p>		<p>1 情報共有・共通認識を図り、庁内連携し、DV被害者のニーズにあわせ支援していく。</p>	2	人権・男女参画室
<p>・住民基本台帳事務におけるDV支援措置担当者3名及び責任者1名を設置し、情報を共有しながら支援の申出を受付、他市からの申出通知の対応を行った。</p> <p>・和泉市ドメスティック・バイオレンス、ストーカー行為等及び児童虐待等の被害者支援に関する住民基本台帳事務を正確に行うことができるよう、対応マニュアルを整備した。</p> <p>・令和3年3月末現在、DV支援措置申出者数は和泉市受付103件うち女性95名・男性8名、他市受付を含めると215件のうち女性197名・男性18名となっている。 併せて支援を求める者を含めると総数463名うち女性338名・男性125名となっている。</p>	<p>・住民基本台帳事務におけるDV支援措置担当者3名及び責任者1名を設置し、情報を共有しながら支援の申出を受付、他市からの申出通知の対応を行った。</p> <p>・和泉市ドメスティック・バイオレンス、ストーカー行為等及び児童虐待等の被害者支援に関する住民基本台帳事務を正確に行うことができるよう、対応マニュアルを整備した。</p> <p>・総務管財室が策定している個人情報の漏洩防止に関するマニュアルに基づき、庁内連携を図るため、「DV支援措置の庁内連絡担当者会議」を開催した。</p> <p>・令和4年3月末現在、DV支援措置申出者数は和泉市受付103件うち女性94名・男性9名、他市受付を含めると233件のうち女性207名・男性26名となっている。 併せて支援を求める者を含めると総数509名うち女性359名・男性150名となっている。</p>		<p>1 支援措置申出者数が増加しており、DV業務に従事できる職員の数を増やす必要がある。各課への情報共有の方法は、現時点で問題なく経過しており今後も継続して行っていく。</p>	2	市民室
<p>児童扶養手当・児童手当・ひとり親家庭医療・こども医療については、市民室からの通知等により各システムに入力し、室内での情報を共有することにより、DV被害者の立場に立った対応を行い、個人情報漏れがないよう配慮できた。</p>	<p>児童扶養手当・児童手当・ひとり親家庭医療・こども医療については、市民室からの通知等により各システムに入力し、室内での情報を共有することにより、DV被害者の立場に立った対応を行い、個人情報漏れがないよう配慮できた。</p>		<p>2 引き続き、室内で情報を共有し、DV被害者の立場に立った対応を行い、個人情報漏れがないよう配慮する。</p>	3	子育て支援室

<p>生活困窮者が経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを實現するため、令和元年度において自立支援計画を策定し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。また、市民相談においても法律相談によりDV相談に対応を行った。</p> <p>令和3年2月末時点で相談件数2276件(男1468件、女781件、不明27件)のうち、DV等相談27件</p> <p>令和3年2月末時点で自立支援計画策定件数120件のうち、DV等相談の自立支援計画策定件数2件(※DV等は、DVと虐待とが合わせて算出されています。)</p> <p>令和3年3月末時点で法律相談680件(内 男267件女413件)。DV相談件数は不明。</p>	<p>生活困窮者が経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを實現するため、令和元年度において自立支援計画を策定し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。また、市民相談においても法律相談によりDV相談に対応を行った。</p> <p>相談件数2072件(男1219件、女842件、不明11件)のうち、DV等相談35件</p> <p>自立支援計画策定件数134件のうち、DV等相談の自立支援計画策定件数7件(※DV等は、DVと虐待とが合わせて算出されています。)</p> <p>法律相談686件(内 男253件女433件)。DV相談件数は不明。</p>		<p>1 今後も継続して支援の充実を図る。市内9ヶ所(直営1ヶ所、委託8ヶ所)にある自立相談支援機関において、生活困窮者の相談支援を行うなかでDVが見受けられる事案については、相談窓口の案内及び所管庁への連絡等、連携して対応していく。</p>		<p>2 暮らしサポート課</p>
<p>高齢者虐待事案に関して、緊急性の高い事案に関し、被虐待者の立場に立って、保健所や必要に応じて関係機関と連携し、再発防止に向けて支援を行った。</p> <p>令和2年度高齢者虐待新規相談件数全59件(うち夫より19件、妻より5件)</p> <p>うち事実確認後虐待認定件数29件(うち夫より9件)</p>	<p>高齢者虐待事案に関して、緊急性の高い事案に関し、被虐待者の立場に立って、保健所や必要に応じて関係機関と連携し、再発防止に向けて支援を行った。</p> <p>令和3年度高齢者虐待新規相談件数全62件(うち夫より13件、妻より2件)</p> <p>うち事実確認後虐待認定件数33件(うち夫より7件)</p>		<p>2 新型コロナウイルスの外出自粛が影響しているのか、虐待に居たらないまでも、家庭内の不和に関する相談が急増している。早期に兆候を察知し、把握できる体制の強化が急務である。</p>		<p>3 高齢介護室</p>

<p>DV被害者から転校の相談があった場合は、実家や親せきを頼っての避難は加害者から見つけられやすいため、すぐに転校の可否の判断をせず、まず被害者が警察や、子ども家庭センター、子育て支援室など、公的相談機関への相談を経て、安全性が確保されている所に避難できているか確認してから転校手続きを行った。</p> <p>また、必要に応じて上記相談機関や生徒指導担当指導主事と連携・相談しながら、手続きを行った。</p> <p>転校手続きをした場合は、DV被害者とその子どもに関する情報については、個人情報漏洩防止マニュアル及び平成21年7月13日付け文科省通知「配偶者からの暴力の被害者の子どもの就学について(通知)」にのっとり、被害者等の生命・安全を最優先に考え、加害者を含め外部からの問い合わせには一切対応しないよう管理を徹底した。</p> <p>また、学校に対しても、外部からの照会に対して細心の注意を払って対応するよう指導した。</p>	<p>DV被害者から転校の相談があった場合は、実家や親せきを頼っての避難は加害者から見つけられやすいため、すぐに転校の可否の判断をせず、まず被害者が警察や、子ども家庭センター、子育て支援室など、公的相談機関への相談を経て、安全性が確保されている所に避難できているか確認してから転校手続きを行った。</p> <p>また、必要に応じて上記相談機関や生徒指導担当指導主事と連携・相談しながら、手続きを行った。</p> <p>転校手続きをした場合は、DV被害者とその子どもに関する情報については、個人情報漏洩防止マニュアル及び平成21年7月13日付け文科省通知「配偶者からの暴力の被害者の子どもの就学について(通知)」にのっとり、被害者等の生命・安全を最優先に考え、加害者を含め外部からの問い合わせには一切対応しないよう管理を徹底した。</p> <p>また、学校に対しても、外部からの照会に対して細心の注意を払って対応するよう指導した。</p>		<p>2 引き続き内容(詳細)のとおり対応を実施する。</p>		<p>3 学校教育室</p>
<p>生活保護受給者についてDV等の相談があれば、担当ケースワーカー・責任者を含めた職員全体として、庁内外の関係機関と連携を図り、問題解決に取り組むことができた。</p> <p>また、男女共同参画担当が主催している研修会や会議へ参加し、得た知識を活用して事業の推進ができた。</p>	<p>生活保護受給者についてDV等の相談があれば、担当ケースワーカー・責任者を含めた職員全体として庁内外の関係機関と連携を図り、問題解決に取り組むことができた。</p> <p>また、男女共同参画担当が主催している研修会や会議へ参加し、得た知識を活用して事業の推進ができた。</p>	<p>1</p>	<p>生活保護受給者からのDV相談を適切に担当課につなぐことができた。</p> <p>今後もDV防止基本計画に則り事業推進します。</p>	<p>2</p>	<p>生活福祉課</p>

No	事業
23	<p>市民室以外の窓口業務においても、DV被害者の個人情報が加害者に知られないよう情報管理の徹底に努めます。</p> <p>●DV・ストーカー・虐待被害者の個人情報保護全庁マニュアルの適正な運用</p>

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 <small>事業終了・実施検討中</small>	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
<p>個人情報の漏洩防止に関するマニュアルについて、令和2年4月に庁内各部局に対し通知し、全庁的に周知・徹底を図った。</p>	<p>個人情報の漏洩防止に関するマニュアルについて、令和2年4月に庁内各部局に対し通知し、全庁的に周知・徹底を図った。</p>	<p>2</p>	<p>個人情報の漏洩防止に関するマニュアルの全庁への周知を引き続き行うことで、DV被害者に関する個人情報の管理意識向上に努める。</p> <p>また、マニュアルについても内容の更新を検討する。</p>	<p>3</p>	<p>総務管財室</p>

<p>・WizLIFEにてDV支援措置申出者に対して警告サインが表示されるようにしている。希望があった各課に対して、現在の支援措置対象者一覧リストを配布し、各課の独自の電算システムがある場合はそこにDV被害者の情報を反映してもらい各課内の周知を図った。また、新規申出・解除申出・内容変更などの追加・修正の情報提供を随時行い、連携を行った。</p> <p>・和泉市ドメスティック・バイオレンス、ストーカー行為等及び児童虐待等の被害者支援に関する住民基本台帳事務を正確に行うことができるよう、対応マニュアルを整備した。総務管財室が策定している個人情報の漏洩防止に関するマニュアルと共に運用基準としていく。</p> <p>・中間サーバーへのデータ入力について点検を行い、運用含めて整理を行った。</p> <p>・令和3年3月末現在、DV支援措置申出者数は和泉市受付103件うち女性95名・男性8名、他市受付を含めると215件のうち女性197名・男性18名となっている。 併せて支援を求める者を含めると総数463名うち女性338名・男性125名となっている。</p>	<p>・WizLIFEにてDV支援措置申出者に対して警告サインが表示されるようにしている。各課の独自の電算システムがある場合等、希望のあった各課においては、追加・修正の情報提供を随時行い、そこにDV被害者の情報を反映してもらい各課内の周知を図った。</p> <p>・和泉市ドメスティック・バイオレンス、ストーカー行為等及び児童虐待等の被害者支援に関する住民基本台帳事務を正確に行うことができるよう、対応マニュアルを整備した。総務管財室が策定している個人情報の漏洩防止に関するマニュアルと共に運用基準としていく。</p> <p>・総務管財室が策定している個人情報の漏洩防止に関するマニュアルに基づき、庁内連携を図るため、「DV支援措置の庁内連絡担当者会議」を開催した。</p> <p>・令和4年3月末現在、DV支援措置申出者数は和泉市受付103件うち女性94名・男性9名、他市受付を含めると233件のうち女性207名・男性26名となっている。 併せて支援をを求める者を含めると総数509名うち女性359名・男性150名となっている。</p>	1	支援措置申出者数が増加しており、DV業務に従事できる職員の数を増やす必要がある。各課への情報共有の方法は、現時点で問題なく経過しており今後も継続して行っていく。	2 市民室
---	---	---	--	-------

No	事業
24	被害者の精神的負担を軽減するため、庁内のどの窓口でも共通するよう、相談内容等を記入する「共通相談シート」の作成や被害者の安全確保の観点から庁内の窓口連携によるワンストップサービスを推進します。 ●ワンストップサービスを推進

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 <small>事業終了・実施後 討中</small>	成果・課題・今後の対応 今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
<p>・平成27年度に作成した「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報にデータ更新を行い、関係担当課(室)相談窓口において相談者に対し、適切な対応ができるよう職員に周知するとともに、支援のしくみについて引き続き、認識の統一を図った。</p> <p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 ・令和2年度 和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令のため令和2年2月書面開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状報告について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④今後のスケジュールについて</p>	<p>・平成27年度に作成した「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報にデータ更新を行い、関係担当課(室)相談窓口において相談者に対し、適切な対応ができるよう職員に周知するとともに、支援のしくみについて引き続き、認識の統一を図った。</p> <p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 令和3年度「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」 令和4年2月14日開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組みについて</p>	1	引き続き、和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議を通して連携強化を行う。	2 人権・男女参画室

施策の方向(4) 関係機関との連携・協力体制の強化

No	事業
25	「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を開催し、庁内関係各課で迅速な対応を図ります。また、相談に携わる職員に対し、配偶者暴力防止法等関連法令や関連施設の情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等の研修を行い、資質の向上を図ります。 ●「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」の開催及び職員研修

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
<p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。</p> <p>●令和2年度 和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令のため令和2年2月書面開催(内容)</p> <p>①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状報告について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④今後のスケジュールについて</p> <p>●担当者レベルの連携の更なる強化を図るため「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者会議」を令和2年度新たに開催した。 (開催日)令和2年10月7日(水) (内容)</p> <p>①和泉市におけるDV相談の件数と傾向 ②事例を使って関係機関の対応と連携に関する意見交換</p> <p>●和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会を開催。 テーマ:「DV相談支援はどうあるべきか～大阪府の調査結果と連携のあり方～」 開催日:令和2年11月11日(水) 参加人数:29人</p>	<p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。</p> <p>●令和3年度「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」令和4年2月14日開催(内容)</p> <p>①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組みについて</p> <p>●担当者レベルの連携の更なる強化を図るため「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者会議」を開催した。 (開催日)令和3年10月6日(水) (内容)</p> <p>①和泉市におけるDV相談の件数と傾向 ②事例を使って関係機関の対応と連携に関する意見交換</p> <p>●和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会をオンデマンド配信にて開催。 テーマ:「児童虐待死事件の現場からDVを考える」 視聴期間:令和3年12月1日～17日 講師:中塚 久美子 さん(朝日新聞阪神支局記者) 参加人数:75人</p>	1	引き続き、関係課(室)の担当職員等の意識向上に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
26	迅速かつ適切に対応するために、業務上のDV対応マニュアルを作成します。 ●DV対応マニュアルの作成

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度 1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	成果・課題・今後の対応	今後の方向性 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	担当課
平成27年度に作成した、「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報を収集し、データを更新を行い関係部署に配布を行った。	平成27年度に作成した、「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」について、最新の情報を収集し、データを更新を行い関係部署に配布を行った。	1	継続的にマニュアルの情報を更新し、使いやすいマニュアル作成を心がけ、庁内における連携強化・情報共有に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
27	救急業務遂行中、傷病者の症状にDVの可能性が疑われた場合において、被害者と調整のうえ、関係機関への通報等を行います。 ●救急業務事業

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
現場において身体的特徴だけを観察するのではなく、傷病者の社会的背景等も考慮し、隊全体で統一認識を持ち活動した。	活動中事案において、身体的特徴だけを観察するのではなく、傷病者の社会的背景も考慮して隊全体で統一した認識のもと活動を行った。	1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	引き続き、身体的特徴などからDVが疑われる事案の速やかな認知を目指し、社会的背景を考慮した活動を心がける。	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	3 消防警防課

No	事業
28	大阪府と府内DVに関わる機関や市町村で構成する「市町村DV相談担当者ブロック別連絡会」を通じて、情報収集に努めるとともに、大阪府や近隣の市町村との連携強化を図ります。 ●「大阪府内市町村における相談員及び相談事業関係者のためのブロック別情報交換・研修会」の実施 ●関係各課との連携

令和2年度 実施状況(事業報告)	令和3年度 実施状況(事業報告)	施策の進捗度	成果・課題・今後の対応	今後の方向性	担当課
令和2年度「大阪府内市町村における相談員及び相談事業関係者のためのブロック別情報交換・事例検討会」 令和2年10月29日(木)14:00～16:00 (案件) (1)各市町村・センターにおける女性のための相談及びDV相談の基本情報の共有 (2)「女性相談・DV相談の対応へのポイント集」活用について (3)人権研修の案内 (4)構成事例を使った事例検討 ・各市町村から対応策の発表・課題と対応策 ・SVからのスーパーバイズ 令和2年度 大阪府内市町村相談員等研修会 (府内関係機関動画配信) ～7ブロック情報交換・事例検討会構成事例から学ぶ～ 令和2年12月24日(木)14:00～16:00 (内容) (1)「和泉市の女性相談・DV相談の取組み～構成事例を使って～」 (2)「構成事例から考える女性のエンパワメントのための相談事業とは」 (3)「構成事例から見えてきた女性相談・DV相談対応の視点とヒント」	令和3年度「大阪府内市町村における相談員及び相談事業関係者のためのブロック別情報交換・事例検討会」 令和3年10月27日(水)14:00～16:00 (案件) (1)各市町村・センターにおける女性のための相談及びDV相談の基本情報の共有 (2)「女性相談・DV相談の対応へのポイント集」活用について (3)人権研修の案内 (4)構成事例を使った事例検討 ・各市町村から対応策の発表 ・課題と対応策 ・SVからのスーパーバイズ 令和3年度 大阪府内市町村相談員等研修会 (府内関係機関動画配信) ～7ブロック情報交換・事例検討会構成事例から学ぶ～ 令和4年2月21日(月)～3月11日(金)【配信期間】 (内容) (1)「構成事例から考える女性のエンパワメントのための相談事業とは」 (2)「構成事例から見えてきた女性相談・DV相談対応の視点とヒント」 (3)「阪南市 DV被害者情報漏洩事件報告」	1. 順調 2. おおむね順調 3. あまり順調でない 4. その他 事業終了・実施検討中	事例検討会を通じて意見交換を行い、大阪府や近隣の市町村との連携強化を図りながら、相談業務の充実に努める。 1 大阪府内市町村相談員等研修会では、本市の女性相談員が登壇し、事例を交えながら男女共同参画部門の立場から相談の視点とあり方を発信し、今後の相談業務の円滑な推進に寄与した。	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 新規	2 人権・男女参画室
被害者の転入、転出時に関係各課と連携し、他市と情報の共有を行い、相談業務に取り組んだ。	被害者の転入、転出時に関係各課と連携し、他市と情報の共有を行い、相談業務に取り組んだ。		引き続き、他市関係機関と連携し被害者の支援を行っていく。		3 子育て支援室